聖書入門

本講座を「聖書入門」と呼びます。本講座は聖書に関する一般的な知識や聖書の中身について学べるように作られています。講座のはじめの方では、「誰が聖書を書いたのか？」「いつ頃書かれたのか？」「どのように私達が聖書を受け取ったのか？」などという事柄を学んで行きます。各レッスンにおいては聖書の中の個々の書巻について簡潔に学んでいきます。そしてさらにより多くの聖書のそれぞれの書巻に関する知識を増やしていきたいと考えています。

本講座が聖書の入門書である以上、聖書の各節、各章をそれぞれ詳細に学ぶ性質のものではありません。受講者は聖書のそれぞれの書巻を学んでいくことになります。憶えておいていただきたいのは、この聖書入門講座は聖書概論とも呼べるという点です。

あなたが聖書研究において聖書の上手な利用の仕方と、他の人たちを聖書の学びに導くことを学んだら、本講座は成功のうちに終了することになるでしょう。

1. **この講座の名称は_____です。**

2. **最初のレッスンではどのようなことを学びますか？**

   _____,

   _____,

   _____.

3. **本講座の大部分ではどのようなことを学びますか？**

4. **聖書入門という本講座の呼び名の他にどのような名称がありますか？**

   _____.

5. **どのようになれば、本講座は成功のうちに終了したといえるでしょうか？**

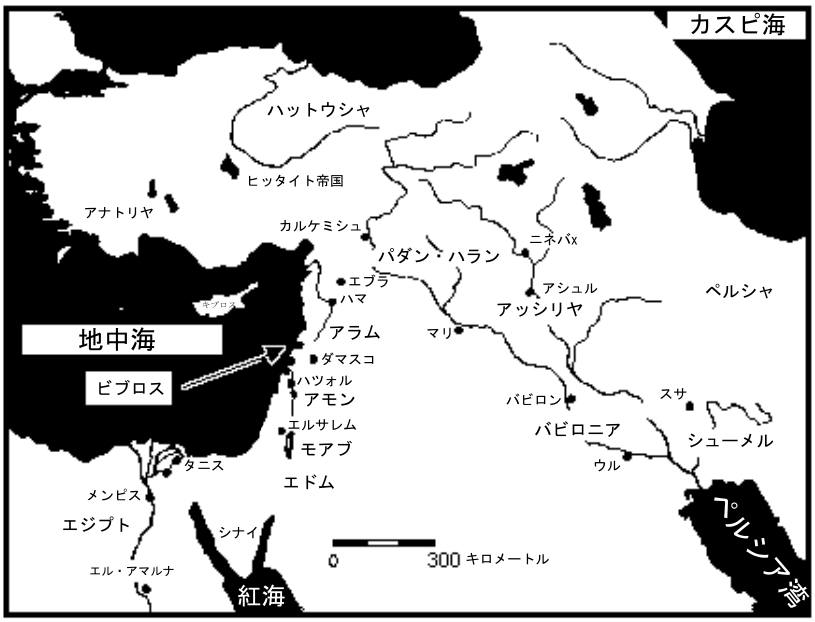
   _____

* * * * *

レッスン１　　聖書という本について

このレッスンでは聖書についてのいくつかの事実を学んで行きます。あなたがこのレッスンを注意深く学んだならば、次のような質問に簡単に答えられるでしょう。「どうして、『聖書』という名前がつけられたのか？」「聖書とは何か？」「誰が聖書を書いたのか？」「いつ頃書かれたのか？」「あるいは元々は何語で書かれていたのか？」「聖書の各巻はどのように分割できるのか？」「聖書の主要な教えとは何か？」などという質問です。

古代近東



（パートＡ）

聖書の名前について

「バイブル」（英語で聖書のこと）という言葉はもともと、地中海の古代フェニキアの都市、（現在のレバノン）ビブロスという都市の名前から来ています。都市ビブロスは古代の巻物を書くための紙を輸出していたのです。「ビブリア」というのもギリシャ語の「本」あるいは「巻物」という言葉です。こうしてギリシャ語のビブリアが英語のバイブル（聖書）になったのです。クリスチャン達は巻物を切って、頁を一緒に綴じて、本を作った最初の人々でした。そして旧約、新約聖書の巻物を本の形にしました。聖書は本当に最初に作られた本でした。ですから人々は「本」と言えば、すぐに聖書を連想しました。そして今でも聖書は「本」と呼ばれています。巻物の形から本の形まで変わって行ったのは、高価な紙の節約になり、また聖書を学ぶためにも役に立ちました。最近ある古文学者が計算したところ、本という形での聖書は、当時の値段で約２６％も下がりました。そしてもっと早く聖句を引くことが出来ました。本という形が急速に普及したことは不思議ではありません。厳密に言えば、聖書というのは一冊の書物ではなく、たくさんの書物が一冊にまとめられたもの、ということになります。 聖書には６６巻の本があります。

聖書はまた他の名前でも知られています。The Scripture（教典）または Holy Scripture（聖典）などと呼んでいます。　「Scripture」という言葉はラテン語の「書かれたもの」の意味から来ています。また、あなたは聖書のことを Holy Writ，本の中の本、あるいは神の言葉と呼ばれているのを耳にしたことがあるでしょう。

聖書とは何ですか?

聖書にはいろいろな呼び方の存在が示しているように、聖書は世界中に何百万とあるような普通の本とは全く違っています。聖書はただ一種類しかなく、たしかに本の中の本ということが言えます。そしてこのような本は他には存在しません。聖書を他に比類のないものにしているのは何でしょうか？それは神ご自身が聖書の真の著者であるという事実があるからです。聖書は神が私達に真の宗教を知らせるために神ご自身の言葉によって書かれたものだからです。

誰が聖書を書いたのですか?

私達はすでに神が聖書の真の著者であることに触れました。しかしながら、単に神が天国からポロリと落として人間に届けたわけではないのです。神は人間の書き手を使いました。聖書の旧約の部分はモーセと預言者たちによって書かれたのです。預言者とは誰かの代わりに語る人です。預言者たちは自分たちのメッセージを語るものではなく、代表された人のメッセージを語るものです。旧約聖書の預言者たちは神の言葉を語り、そして書き残しました。新約聖書は福音伝道者と使徒たちの筆によって記されました。福音伝道者とは、「イエス・キリストが私達の罪を取り去り、イエス・キリストの正義をもたらした」という良い知らせ（福音）を皆に伝えるための人たちのことです。使徒たちとは弟子たちの中から特に選ばれ、キリストから神の言葉を広め、そして特別な奇跡によって知らされ、また書いた言葉が本当に神の言葉であるということを示す人たちでした。旧約、新約を含めると、じつに４０人もの人たちが、聖書を書くために関与しているのです。

「誰が聖書を書いたのですか。」という質問をするとき、私達はじつに２つの答えを持つことになります。はじめは神が聖書を書いたと答えるでしょう。そして次に神が人間を使って聖書を書かせたと答えるでしょう。

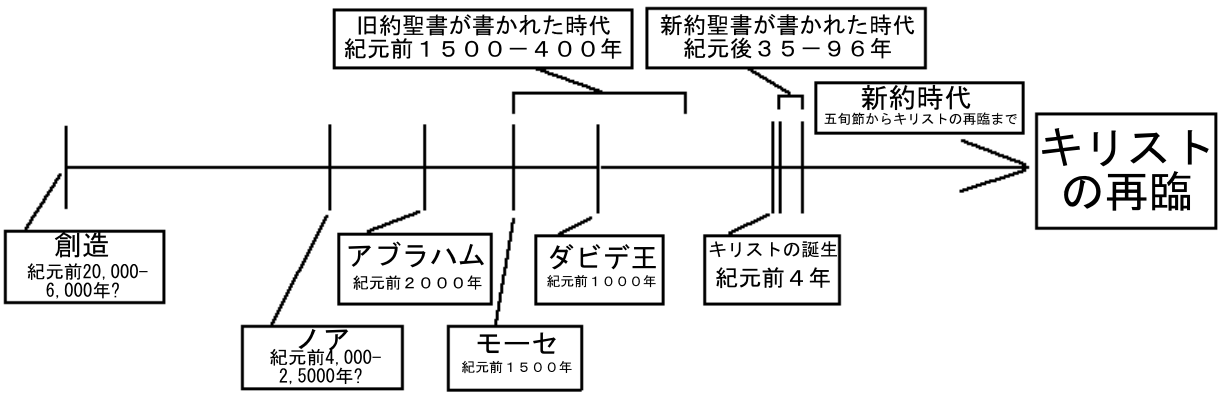
以下に示した聖書の箇所を読むと、それぞれの説は（１）神が聖書の著者である、（２）人間が聖書の著者である（３）神と人間の両方が聖書の著者であるということを示しています。それですから、それぞれ何番に当てはまるか、書いて下さい。

２テモテ 3:16 ____　第２ペテロ 1:21 ____　第１テサロニケ 2:13 ____　第２ペテロ 3:15-16 ____

マルコ 7:10 ____　マルコ 7:13 ____　第２サムエル記 23:1-2 ____　ダニエル書 9:2 ____

聖書はいつ書かれたのですか？

モーセが聖書の最初の巻の人間としての著者です。創世記といいます。モーセはキリストが生まれる約１５００年前に生きた人でした。使徒ヨハネが新約聖書の最後の巻を書いたのは紀元９６年のことです。一般的に言えば、聖書の巻は紀元前約１５００年から紀元１００年までの間に書かれたのです。これは何を意味するかというと、１６００年にわたって聖書は書かれたということです。それは紀元４００年から現在に至るまでの時間と同じ時を要したということです。しかも聖書のメッセージは終始一貫して矛盾が無いという点を明記しておかなくてはなりません。これは聖書が神聖なる著者によって書かれたという明確な証拠に他ならないからです。



他の書物をも聖書に加えて神の言葉として教えるべきだ、という人もいます。ローマカトリック教会では聖書に「外典」（がいてん）といわれる書物を加えています。モルモン教では「モルモン教典」という書物を加えています。しかし聖書は、神から永遠の命と私たちへの日常生活に対する神の御心について、神が私た

ちに知って欲しいことのすべてが含まれています。イエスは決して外典を神からのものとして受け入れることはありませんでした。モルモン教典に至っては明らかに人間による創作です。（イザヤ書 8:19-20、ガラテヤ 1:8、第 2 コリント 11:14）神は私たちに対して、聖書にある聖典以外の書物を聖書に加えるということは約束されていないのです。それどころか神は古今にわたり聖書を通して魂の救いを導いてくださっているのです。１６００年を経て、神から与えられた聖なる書物は聖書として完成したのです。（黙 22:18-19）

聖書はどのように分けられているのですか。

旧約と新約というのが聖書における２つの大きなくくりとなっています。旧約は３９巻からなっており、モーセの時代（ＢＣ約１５００）からマラキの時代（ＢＣ約４００）の間に書かれました。

新約聖書は２７巻からなっており、キリストの誕生から紀元１００年の間に書かれました。４００年の”沈黙の時”が旧約と新約との間にあったことに気付いたでしょうか。（３頁の図参照）神は約束された救い主が来るのを待つために、すべての必要なことをもう言われたからです。旧約、新約聖書の書物を合わせると６６巻になります。今日（こんにち）、私達はイエス・キリストの再臨を待つためのすべての必要な情報を手にしました。

聖書の言語

聖書の旧約の部は元来、ヘブル語で書かれていました。この言語は今日のイスラエルの国で話されているものと同一の言語です。それから旧約聖書のほんの一部分ですがアラム語で書かれているものもあります。アラム語は言語的にはヘブル語に非常に似ているものですから、旧約時代のイスラエル地方ではヘブル語とアラム語は基本的には理解し合えたのです。以下は創世記１章１節のヘブル語の見本です。

`#rah' tae yhla/arB' tyrib.

新約聖書はもともとギリシャ語で書かれていました。アラム語の単語が新約聖書にも見受けられますが、それはとても珍しい例です。イエスの時代のイスラエル地方ではギリシャ語とアラム語は一般には通じ合っていました。ギリシャ語はイエスの時代のローマ帝国時代まで通じていました。以下はヨハネ３章１６節のギリシャ語の見本です。

Outwj gar hgaphsen o`qeoj ton kosmon( wste ton uiòn ton monogenh/edwken( iJna paj o`pisteuwn eijv auvton mh. apolhtai alla Vech zwhn aiwnionÅ

旧約や新約が書かれた時代の多くの人々は、ヘブル語とギリシャ語の両方ともをそれぞれの時代において理解していたことになります。ということは神が世界の救い主の知らせをより通じやすくするために、皆が理解しうる言語を用いたのだと言えるでしょう。

以下の質問に答えて下さい。

１．本来の「バイブル」という名はどこから来ましたか？

＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

２．聖書とは何かを簡潔に述べなさい。

＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

３．すべての聖書の著者は誰ですか？ ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

４．旧約聖書の人間の著者は誰でしょう？ ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

新約聖書は ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

５．聖書はどのくらいの年月をかけて書かれたのですか？＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

６．どうして私たちは神からさらに聖典を受け取ることを望んではいけないのですか。

７．聖書の代表的な２つの言語とは何でしょう？　新約＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

旧約＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

（パートＢ）

旧約聖書を分類するため、以下のような分類が分かりやすいでしょう。

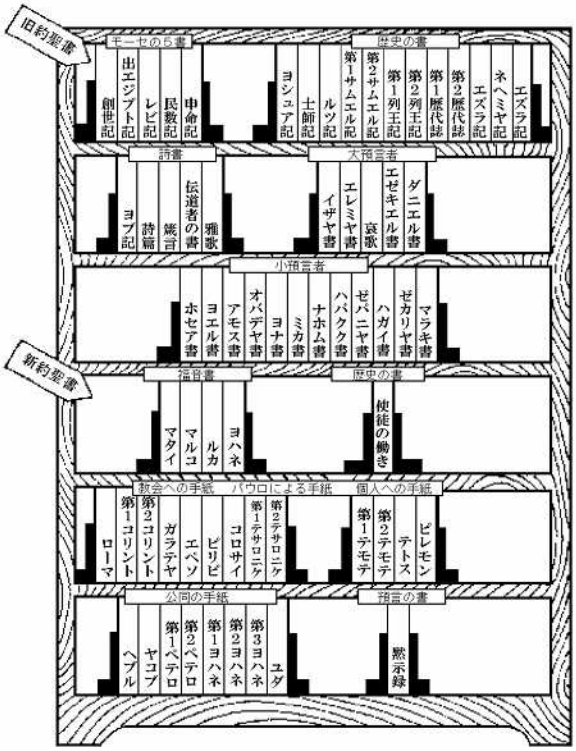
５ 律　法
- 創世記
- 出エジプト記
- レビ記
- 民数記
- 申命記

５ 詩　書
- ヨブ記
- 詩　篇
- 箴　言
- 伝道者の書
- 雅　歌

１２ 歴史書
- ヨシュア記
- 士師記
- ルツ記
- 第１・第２サムエル記
- 第１・第２列王記
- 第１・第２歴代誌
- エズラ記
- ネヘミヤ記
- エステル記

５ 大預言書
- イザヤ書
- エレミヤ書
- 哀歌
- エゼキエル書
- ダニエル書

１２ 小預言書
- ホセア書
- ヨエル書
- アモス書
- オバデヤ書
- ヨナ書
- ミカ書
- ナホム書
- ハバクク書
- ゼパニア書
- ハガイ書
- ゼカリア書
- マラキ書



新約聖書の分類は以下の通りです。

４伝記
- マタイによる福音書
- マルコによる福音書
- ルカによる福音書
- ヨハネによる福音書

１歴史書：使徒の働き

１３　使徒パウロの書簡

教会への手紙
- ローマ人への手紙
- 第１コリント人への手紙
- 第２コリント人への手紙
- ガラテヤ人への手紙
- エペソ人への手紙

個人への手紙
- 第１テモテへの手紙
- 第２テモテへの手紙
- テトスへの手紙
- ピレモンへの手紙

公同の手紙
- ピリピ人への手紙第
- コロサイ人への手紙
- 第１テサロニケ人への手紙
- 第２テサロニケ人への手紙

- ヘブル人への手紙
- ヤコブの手紙
- 第１ペテロの手紙
- 第２ペテロの手紙
- 第１ヨハネの手紙
- 第２ヨハネの手紙
- 第３ヨハネの手紙

１預言書：黙示録

ユダの手紙

章　と　節

聖書はもともと章にも節にも分けられていませんでした。聖書を最初に各章に分けたのは、ステファンラントン・カンタベリー大司教です。（1228 年没）現在の節の分け方はロベルトステファヌス（1551 完成）というパリの印刷技師の手によるものです。

聖書の二大教義

聖書の中で２つの山の頂上のように立っている教義があります。それは律法と福音です。

律法は神が人間に対してすべき事と、してはならないこと、また人としてどうあるべきかを示した聖書の一部分です。律法の第一の目的は、私達に罪の意識を起こさせるためのものです。（ロ-マ 3:19-20、7:7）律法は、旧約、新約両方の聖書に含まれています。

福音というのは、イエス・キリストによる救いの良き知らせのことです。「ゴスペル」（福音）という単語は古い英語で「良い知らせ」という意味です。福音の目的は、私達の救い主を示し、キリストの信仰に導き、私達をその信仰にとどめておくためのものです。（ルカ 2:10-11、ヨハネ 3:16、コロサイ 2:13-14）福音は、旧約、新約両方の聖書に含まれています。（ルカ 24:27,44）

律　法：　私達がしなければならない事、してはいけない事、どうあるべきか、私達の罪を示し、私達が犯した罪のゆえに神の永遠の罰を受けるはず、ということを示しています。

福　音：　救い主イエス・キリストの良き知らせ、無償の救いをもたらし、私達を信仰にとどめ、神からの無条件の愛を受け、安らぎをもたらします。

問いに答えて下さい。

１．旧約聖書には_____巻の本があり、新約聖書には_____巻があります。聖書全体では_____巻があります。

２．旧約聖書を五つに分類してください。

３．新約聖書を五つに分類してください。

> さて、そこでイエスは言われた。「わたしがまだあなたがたといっしょにいたころ、あなたがたに話したことばはこうです。わたしについてモーセの律法と預言者と詩篇とに書いてあることは、必ず全部成就するということでした。
> （ルカ２４：４４）

４．聖書を章と節に分けた人は誰ですか？　それぞれについて答えてください。

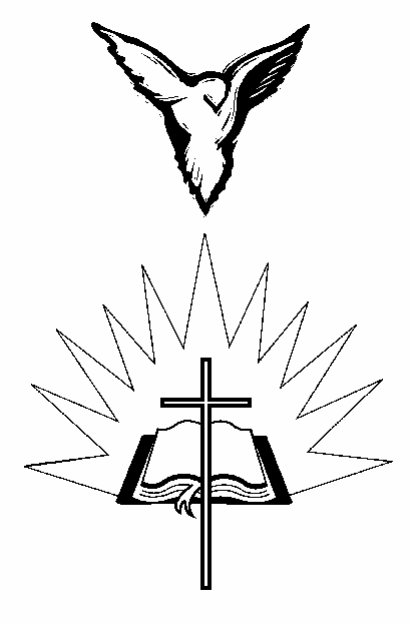
５．律法と福音の定義を簡潔に書いてください。

律法とは：

福音とは：

課題：旧約聖書の書物の名前、創世記からエステル記までを暗唱し、書けるようにしましょう。

レッスン２　聖書は神から人間に与えられた。



このレッスンでは、神ご自身の言葉を記した聖書を神が特別な方法で人間に与えられたということを学んで行きます。このレッスンを良く学習すれば、あなたは「聖書の霊感」や「逐語的な霊感」という言葉が意味する事を知ることができるでしょう。そしてまた神が私達に聖書を与えて下さった目的がはっきりするでしょう。

レッスンの後半では、聖書のさまざまな翻訳版を学んで行きます。また、このレッスンには聖書研究を助ける材料も含んでいます。索引、聖書辞典、聖書ハンドブック、聖書地図や聖書解説などの使い方が学べることと思います。

（パートＡ）

聖書の霊感

「霊感」(inspiration)という言葉の意味は「吹き込む」という意味です。神はある人たちに神自身の言葉と考えを吹き込んだのです。彼ら人間が書いたものは神の言葉であり、人間の考えや言葉ではなかったのです。第２テモテ 3 章 16 節には「聖書はすべて神の息吹による」と書かれており、新改訳聖書では「聖書はすべて、神の霊感によるもので」と書かれています。「神の息吹による」と「神の霊感による」とは同じ意味です。

第２テモテ 3 章 16 節に書かれているように、聖書は神の息吹を吹き込んだものなのです。第 2 テモテ 3 章 16 節に書いてある「聖書」という言葉は「書かれたもの」という意味です。聖書の中に書いてある言葉すべては神の言葉というわけです。それはただ単に預言者の「書こうと思うこと」また「預言者の考えや瞑想」が神の息吹を受けたというものではないのです。もっと言えば、彼らが聖書に書いた言葉は、まさに神ご自身が彼らに吹き込んだものなのです。（ガラテヤ 3 章 16 節）聖書の言葉はまさに神ご自身の霊感を受けたものなのですから、聖書を逐語的な霊感という言い方をします。逐語というのは考えだけではなく、言葉一語一語が神様によって導かれた意味です。

霊感について明確に書かれた聖書の他の重要部分を挙げておきます。神が特別な方法で私達に下さった言葉について書かれたものです。

第２ペテロ１章２１節
「なぜなら、預言は決して人間の意志によってもたらされたのでなく、聖霊に動かされた人たちが、神からのことばを語ったのだからです。」

第１コリント２章１３節
「この賜物について話すには、人の知恵に教えられたことばを用いず、聖霊に教えられたことばを用います。」

ガラテヤ１章１１－１２節
「兄弟たちよ。私はあなたがたに知らせましょう。私が宣べ伝えた福音は、人間によるものではありません。私はそれを人間からは受けなかったし、また教えられもしませんでした。ただイエス・キリストの啓示によって受けたのです。」

ガラテヤ３章１６節
「ところで、約束は、アブラハムとそのひとりの子孫に告げられました。神は『子孫たちに』といって、多数をさすことはせず、ひとりをさして、『あなたの子孫に』と言っておられます。その方はキリストです。

質　　問

１.三位一体のうちの誰が霊感のわざを為(な)したと思いますか？＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

２．第２ペテロ１章２１節で、神の言葉を書き、話した人々に起きたことを言葉にすると、どのような言葉が当てはまりますか？

＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

３．第１コリント２章１３節で、逐語霊感として私たちに語られた言葉とは何でしょう？

＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

４．パウロの言ったすべての言葉は神の霊感を受けたものですか？（　）　○ か X

要約すると、霊感は神が私たちに神の言葉を与える特別な方法であったということです。神は聖書の書き手たちに、彼らに書かせたいことを正確に吹き込んだのでした。逐語的な霊感とは聖書の書き手たちに、神が書いて欲しい言葉そのものを吹き込んだのでした。

聖書の権威

　聖書は神からのものであるということを神ご自身が語っています。そこに書かれていることは私たちが信頼するに十分なものです。聖書の中に誤りがあるなどという心配は全く必要ありません。何故なら、聖書は神がくださったものだからです。聖書は神の霊感によって書かれたので、誤りはありませんし、誤りが含まれている可能性もありません。聖書は全く信頼すべき権威があります。神が聖書の著者だからです。神は嘘をつきません。それゆえに神の言葉に偽りはありません。イエスは父なる神の言葉に対し「あなたの御言葉は真理です。」（ヨハネ 17 章 17 節）と明言しています。

その他の聖典といわれるもの

私達は他の宗教の教典といわれるもの、例えばイスラム教のコーランなどをどのように考えたら良いのでしょうか？ある人はこういう風に言うでしょう、「他の教典が聖書の教えに従うならばそれらは必要ないし、もし聖書の教えに合わないのなら、それらを拒絶するべきだ。」 いわゆるコーランのような本は明らかに人間の造ったものです。そこには何の神聖な権威もありません。信仰と生活について信頼すべきものではありません。聖書だけが唯一、神聖な権威を持っているのです。

霊感によって書かれた書物はどのように広まったのか

イエスの時代、旧約聖書の３９巻は神の選ばれたユダヤ人たちに広く受け入れられていました。イエスは旧約聖書の３９巻は私たちのために書かれた神の言葉であると明言しています。（ルカ 24 章 44-45 節）旧約聖書が神の言葉だというイエスの証は私たちにとって確かに十分です。イエスは旧約聖書についてこのように述べられています。「聖書のことばは、すたることがあり得ない」（ヨハネ 10 章 35 節）イエスの説教ではしばしば神聖な権威をもつ旧約聖書の言葉が引用されています。（マタイ 12 章 40, 42 節、マルコ 2 章 25 節、マタイ 19 章 4-6 節）

福音伝道者や使徒たちの書いたものが新約聖書に現れた時、使徒たちは聖霊の導きにより共に集りました。（第１テサロニケ 2 章 13 節、5 章 27 節、コロサイ 4 章 16 節） そしてそれらの書物は神の言葉であると認めていると確めたのです。例えば、イエスがルカ１０章７節で言われた「働くものが報酬を受けるのは当然だからである。」という言葉を、パウロは第１テモテの５章１８節で引用しており、またその言葉を聖書（Scripture）というふうに呼んでいます。使徒たちは信者たちに使徒の書いた書物（マルコやルカの書いたもの）を旧約聖書と同様に神の霊感を受けたものであると教えました。（第 2 ペテロ 3 章 2、エペソ 2 章 20 節）新約聖書には次のような教えが含まれています。それは人間の知恵で書かれたのではなく、聖霊なる神の言葉であるということです。（第１コリント 2 章 13 節）また新約聖書の大部分は、イエスの大切な言葉と、たくさんの旧約聖書からの引用が用いられていることを、憶えておいてください。旧約、新約ともお互いに完全な調和で書かれました。なぜなら両方とも同じ聖霊によって書かれたからです。

聖霊は、聖書の言葉によって聖書がまさしく神の言葉だということを私たちに確信させます。ヘブル人への手紙４章１２節が示す通り、神の言葉は生きており、力を発揮しているのです。イエスが語られた言葉すべてを弟子たちに思い出させた、真理の聖霊は（ヨハネ 14 章 26 節）神の霊感を受けた言葉によって、私達のために集められた聖書の６６巻の書物と同じ聖霊なのです。

聖書の目的

神は私達にイエス・キリストが唯一の罪からの救い主であることを示すために聖書をお与えになりました。聖書の中にある律法は、私たちが犯した罪の故に私たちには罪の救い主が必要であると書かれています。また、福音は私たちの救い主を示して、救い主のゆえに、私たちが神からの永遠の命を持つと語っています。ヨハネ２０章３１節には聖書の中心的な目的が書かれています。「これらのことが書かれたのは、あなたがたが、イエスは神の子メシアであると信じるためであり、また、信じてイエスの

名により命を受けるためである。」聖書は、イエスが救い主であるという信仰を与えるためだけに書かれたのではなく、生涯を通して、その信仰を持ち続けるためにも書かれたのです。ヨハネはまた第１ヨハネ１５章１３節にこう書いています。「神の子の名を信じているあなたがたに、これらのことを書き送るのは、永遠の命を得ていることを悟らせたいからです。」ペテロは、私たちがその信仰を生活で実践するについて書いてから、このように説明しています。「こうして、私たちの主、救い主イエス・キリストの永遠の御国に確かに入ることができるようになります。」イエス・キリストが人々のために代償を払ったということをひとたび知り、彼らを永遠の死より救い出し、永遠の命という賜物を与えられたことを知れば、彼らは自然に神の望む生き方に応えるようになるのです。聖書にある福音を読むことによって、神のために生きる力が私達に与えられています。私たちは聖書を読めば読むほど、信仰において強められます。

Ⅱテモテ３章１６節を読んで、そこに書かれている聖書の目的を挙げなさい。

_____　_____　_____　_____

質問に答えなさい。

１．神が聖書に霊感を与えたということは、神が_____

２．逐語的な霊感とはまさに神が聖書の言葉_____を啓示したのです。

３．空白を埋めなさい。
Ⅱペテロ１章２１節「預言は決して人間の意志によってもたらされたのではなく、_____に動かされた人たちが、神からの_____を語ったのだからです。」

４．聖書には誤りが含まれるのは不可能なことですから、私たちは聖書を_____と呼んでいます。

５．私達はなぜ、イスラム教のコーランに書かれているようなことは信頼出来ないのでしょうか？　_____

６．_____が神の言葉であるということを私達が確信できたのは_____の働きによるものです。

７.聖書の中心的な目的は_____です。

（パートＢ）

聖書の写本と翻訳版　現在、私達は手書きの署名入りの聖書原本を持ちません。しかしながら、それらを写した多数の写本が時代を経て、存在しています。ユダヤの筆写官たちは、旧約聖書を実に丁寧に写し取りました。新約聖書を写した人たちにも同じ事が言えると思います。

それではここに、ユダヤ人の筆写官がどのくらい念入りだったのか、ここに彼らの規則を挙げておきます。

１．ユダヤ教会で使用される巻物は清浄な（宗教的に清められた）動物の皮に書かれていなくてはならない。

２．この皮紙はユダヤ会堂（旧約時代の教会）の用のために、ユダヤ人がそれを準備しなければならない。

３．すべての皮紙は決められた数の囲み欄が作られており、すべての巻物に同一の囲み欄を使用していた。

４．欄内は４８行以下でも６８行以上でもいけない。

５．字数は一行あたり３０字である。

６．すべての写本は初めに罫線を引かなくてはならず、３語が行からはみ出た場合は破棄された。

７．インクは黒色に限る。赤、緑、あるいはその他のどんな色であってもならず、しかもそのインクは特別な処方で作られたものである。

８．筆写官は、巻物が本物と証明されない限りは筆写することができない。また一字たりとも原本を逸脱することは許されない。

９．どんな文字や単語も、ヨッド（一番小さなヘブライ文字）に至るまで、記憶に頼って書いてはいけない。筆写官は、いつも必ず巻物を目の前にして、それを写さなくてはならない。（ヨッドの様相は「 y 」です。）

10．子音字と子音字の間は糸、もしくは髪の毛ほどの間隔を空けなくてはならない。

11．一部分と一部分の間は子音字９字分を空けなくてはならない。

12．巻と巻の間は３行空けなくてはならない。

13．申命記については最後の行で終わらなくてはならず、その他はそうする必要はない。

14．筆写官はユダヤの正装でなくてはならない。

15．筆写官は作業を始める前に、全身を洗い清めなくてはならない。

16．筆写官は、インクを付けたばかりのペンで神の名を書いてはならない。

17．たとえ王様が、筆写官が神の名を記している時に話しかけても、筆写官はそれに答えてはいけない。

以上のような規則は、神の言葉が書かれたものや、書くのに使われた物が単に形式上のものでなく、誤りを起こさない為の方法であったのです。このような服装や沐浴の規則は筆写官に細心の注意を払わせるために行なわれたのです。加えて、筆写が完了した時には、それらの手書きの写本を念入りに脱字などがないか分析されました。ヘブル語の「筆写官」（英語で「scribe」）という単語の意味は、「数える」という動詞から来ています。彼らは原本の節や単語、文字数を数えておき写本の正確さをチェッ

クするために使いました。彼らは書物の初めから数えはじめて、そして終わりから反対に数えて行き、それで真ん中の文字を見つけるのです。ある目的の文字が正しい位置になければ、写本を破棄して、そして最初からやり直すのです！

1940 年の終わり頃に発見された死海写本（紀元前２００年から１００年の間に書かれたとされる)と AD980 年に写した一番古い旧約聖書の写本との間には、それほどの違いはありませんでした。以上のことは、ユダヤ人たちが旧約聖書を写していたことを明らかにするものです。例えば、イザヤ書５３章にある１６６語は、１語も間違っていません。しかし、本文の横にある他の一語が書かれていたのと、本文中には書かれていなかったのとがあったことです。グリーソン･アーチャーは、クムラン宗団のイザヤ書の写本と私たちのヘブル語の聖書とを１語１語突き合わせていくと、９５％以上は同一のものであり、残り５％については主としてペンのすべりや綴り方の違いによるものである、と述べています。

旧約聖書と新約聖書の両方とも、とても早い時期に他の言語に翻訳されていました。ヘブル語の旧約聖書は紀元前２５０年～１５０年頃にギリシャ語に翻訳されました。このギリシャ語版旧約聖書は七十人訳聖書「Septuagint - LXX」として知られています。「七十人訳聖書」とはギリシャ語で７０を意味します。７０人あまりの人たちが翻訳に関係したことからこう呼ばれています。ギリシャ語を話す人たちが、自分たちの言葉で旧約聖書を読めるようになったのです。

ギリシャ語の新約聖書がラテン語とシリア語に訳されたのは AD１５０年頃で、アフリカ北部で話されていたコプト語版は AD２００年頃でした。その後になって、すべての聖書は数百の言語に翻訳されています。

現在では、聖書はその全部分、あるいはその一部分を約２千の言語に翻訳されているのです。（２００６年末で２４２６言語に翻訳されています。それによって世界人口の９５％が聖書を読むことができます。）その作業は、現在でも続けられています。最近の例では、現代の人が、アフリカのバンツー語に翻訳する作業に従事しています。

日本語版の聖書

日本で最初の日本語の部分訳聖書は、フランシスコ・ザビエルによって（1506-52）もたらされました。それは１５４９年にヤジロウという日本人によって訳されたマタイによる福音書であったのです。ザビエルに同行したフェルナンデス（1525-68）は、四福音書全部の翻訳をしようとした人物です。しかしながら、彼が翻訳を完了したかどうかは定かではありません。不運にもフェルナンデスの訳したものは、彼が働いていた教会の火事で焼失してしまいました。１５８０年のことです。英国国教会の信徒のある船長は、１６１３年に京都に寄港した際に、ローマカトリック教会がその当時、日本語版の聖書を発刊している、と航海日誌に記しています。このことはローマカトリック教会でも記録されていました。しかし今日では、それらの聖書は残っていません。その当時、日本には２０万～７５万人のキリスト教徒がいたと思われますが、徳川家康はキリスト教徒の迫害をますます推し進めていたのです。１６１６年に家康が没したのちも、聖書が刊行されないように迫害は続きました。九州で起きた島原の乱では３万７千人以上の農民（そのほとんどがキリスト教徒）が江戸幕府に対してほう起したのです。その一揆の失敗ののち、ペリー提督が幕府に鎖国を解くように働きかけた１８５３年まで、日本は外の世界から隔離されていたのです。神はこの時期に備えていろいろと準備をしていたでしょう。

１８３４年のこと１隻の貿易船が航路を外れて、北アメリカの西海岸で難破しまし

た。乗組員３人が原住民インディアンに捕らえられ、その後ハドソン貿易社の支配人に救助されて日本に帰国する途中、英国に寄った時のことです。３人は英国ではオランダ伝道協会の宣教師である**カール・ギュツラフ**と共に過ごしました。３人はカールに、自分たちの国の言葉で聖書を読みたいと毎日懇願しました。カールはアメリカ聖書協会に「これらの日本人に会えたのは、またとないチャンスである。」との手紙を書きました。同協会は、年間７２ドルの送金を翻訳作業のために援助したのです。
約１年後、ついにカールはヨハネ伝の翻訳を完成させたのです。しかしながら、この訳本は２３年後の１８５９年になるまで、日本の地を踏むことはありませんでした。それだけではなく、すべてカタカナで書かれており、しかもアメリカ聖書協会によって出版には値せずと判断され、わずか１６９０部を刷ったのみで印刷は終了しました。

１８４６年に、**ベッテルハイム**は那覇（現・那覇市）において、翻訳作業を開始したのです。のちに彼は翻訳を完了し、香港においてそれを刊行しました。１８７５年にベッテルハイムはそれぞれルカ伝、ヨハネ伝、ローマ人への手紙の翻訳を完了しました。１８７５年になると、スコットランド聖書協会が日本での活動を開始します。その翌年には米国聖書協会と英国聖書協会が、日本での活動を開始したのです。
１９０４年になると、米国聖書協会が東日本で、英国及びスコットランド聖書協会が西日本での活動に専念することにしたのです。１８７８年には、日本で最初の聖書協会らしき組織が見られます。１２人の外国人と３人の日本人によって設立されたものでした。１８７４年には、新たな翻訳作業が開始され、１８８７年（明治 20 年）に完了します。これは「**文語訳聖書**」と呼ばれています。しかしながらこの時期、日本語は 劇的に変化していましたので、文語訳は現代日本語の初期のものであると位置づけられています。１９５０年になり、新しい翻訳が開始され、５５年に完了しました。これを「**口語訳聖書**」といいます。しかしこれも、より現代的な訳の必要性があり、また別の訳の聖書が１９７３年に完成しました。これを「**新改訳聖書**」といいます。
１９７０年になると、プロテスタント教会とカトリック教会が共同して共通の聖書を作ろうと、作業を始めました。これを「**共同訳聖書**」といいます。この共同訳の新約部分は改訂され、旧約聖書と同時に翻訳を終えたのです。この結果、「**新共同訳 聖書**」は１９８７年に世に出ました。この１００年の間にさまざまな種類の翻訳が出版されました。そこにはリヴィングバイブルのような意訳のものも含まれています。しかし、**口語訳**、**新改訳**、**新共同訳**はすべてギリシャ語とヘブル語から日本語に直された聖書です。**口語訳**の日本語は、時代遅れの感があり、若い世代の人たちには理解するのが困難なようです。どんな翻訳の精度も完璧ではないので、それぞれの翻訳は基づいた言語の意味を忠実に言い表したかどうかということによって評価しなければなりません。

聖書の学びの助けとなるもの

聖書の学びに良き助けとなる書籍がたくさんあります。あなたの牧師はそれぞれの以下の本について、どこで手に入るのか、どのように活用するのかを教えてくださるでしょう。あなたのノートにそれぞれの特色を書いておきましょう。

聖書語句索引（Concordance to the Bible）

聖書辞典　　（Bible Dictionary）

聖書ハンドブック（Handbook to the Bible)

聖書図鑑　　(Bible Atlas)

聖書解説　　(Bible Commentary)

＊＊＊＊＊＊＊＊

以下の質問に答えなさい。

１．初期のギリシャ語訳の旧約聖書を何と呼びますか？　＿＿＿＿＿＿＿＿

２．AD200 年頃、アフリカ北部で新約聖書が翻訳された時の言葉は何語ですか？

３．聖書はこれまでにいくつの言語に翻訳されていますか？

４．日本で最初に聖書の一部を翻訳した人は誰ですか？
　　またそれは何年のことでしょう？

５．日本語による聖書の翻訳を３つ挙げてください。

６．あなたはどの翻訳版を読んだことがありますか？

聖書に関する参考書の説明です。

聖書語句索引 (Concordance to the Bible)

聖書中の語句の出ている章や節をアルファベット順、五十音順に載せてあります。例えば、あなたが「小船」という語句の出てくる箇所を探しているとします。すると聖書中に「小船」と出てくるすべての箇所が示されるのです。この索引は、あなたが聖書の箇所を探すのに、１つか２つの語句しか憶えてないときに有効です。

聖書辞典 (Bible Dictionary)

聖書に関する、人物、場所、出来事、等の簡潔な説明が載っています。

聖書ハンドブック (Handbook to the Bible)

今あなたが学んでいる「聖書入門」のような本です。このハンドブックは、聖書に関する物品や、聖書のそれぞれの巻に関する簡単な説明がつけられています。またたいがいは地図や図、聖書に関する論説などが載せられています。

聖書図鑑 (Bible Atlas)

聖書のさまざまな年代の地図が載っています。

聖書解説 (Bible Commentary)

聖書に出てくる語句の説明がなされています。

霊感に関する聖書の他の箇所です。

そこで、私は言った。「ああ、神、主よ。ご覧の通り、私はまだ若くて、どう語っていいかわかりません。」すると、主は私に仰せられた。「まだ若い、と言うな。わたしがあなたを遣わすどんな所へでも行き、わたしがあなたに命じるすべての事を語れ。(9) そのとき、主は御手を伸ばして、私の口に触れ、主は私に仰せられた。（エレミヤ１章６－７、９節）

すなわち、その治世の第一年に、私、ダニエルは、預言者エレミヤにあった主のことばによって、エルサレムの荒廃が終わるまでの年数が七十年であることを、文章によって悟った。（ダニエル９章２節）

また、私たちの主の忍耐は救いであると考えなさい。それは、私たちの愛する兄弟パウロも、その与えられた知恵に従って、あなたがたに書き送ったとおりです。そのなかで、ほかのすべての手紙でもそうなのですが、このことについて語っています。

その手紙の中には理解しにくいところもあります。無知な、心の定まらない人たちは、聖書の他の箇所の場合もそうするのですが、それらの手紙を曲解し、自分自身に滅びを招いています。　（２ペテロ３：１５-１６節）

　しかし、助け主、すなわち、父がわたしの名によってお遣わしになる聖霊は、あなたがたにすべてのことを教え、また、わたしがあなたがたに話したすべてのことを思い起こさせてくださいます。　（ヨハネ 14 章 26 節）

　あなたは、聖霊によって、あなたのしもべであり私たちの先祖であるダビデの口を通して、こう言われました。『なぜ異邦人たちは騒ぎ立ち、もろもろの民はむなしいことを計るのか。』　（使徒 4 章 25 節）

　こうして、彼らは、お互いの意見が一致せずに帰りかけたので、パウロは一言、次のように言った。「聖霊が預言者イザヤを通してあなたがたの先祖に語られたことは、まさにそのとおりでした。　（使徒 28 章 25 節）

　神は、むかし先祖たちに、預言者たちを通して、多くの部分にわけ、また、いろいろな方法で語られましたが、　（ヘブル 1 章 1 節）

　神の福音のために選び分けられ、使徒として召されたキリスト・イエスのしもべパウロ、(2) ・・この福音は、神がその預言者たちを通して、聖書において前から約束されたもので、（ローマ 1 章 1-2 節）

兄弟たちよ。私はあなたがたに知らせましょう。私が宣べ伝えた福音は、人間によるものではありません。(12) 私はそれを人間からは受けなかったし、また教えられもしませんでした。ただイエス・キリストの啓示によって受けたのです。
（ガラテヤ 1 章 11-12 節）

　イスラエルの神、主はこう仰せられる。「私があなたに語ったことばをみな、書物に書をしるせ。　（エレミヤ 30 章 2 節）

主の霊は、私を通して語り、そのことばは、私の舌の上にある。
（第２サムエル記 23 章 2 節）

では、ユダヤ人のすぐれたところは、いったい何ですか。割礼にどんな益があるのですか。(2) それは、あらゆる点から見て、大いにあります。第一に、彼らは神のいろいろなおことばをゆだねられています。（ローマ 3 章 1-2 節）

　この賜物について話すには、人の知恵に教えられたことばを用いず、御霊に教えられたことばを用います。その御霊のことばをもって御霊のことを解くのです。
（１コリント 2 章 13 節）

　こういうわけで、私たちとしてもまた、絶えず神に感謝しています。あなたがたは、私たちから神の使信のことばを受けたとき、それを人間のことばとしてではなく、事実どおりに神のことばとして受け入れてくれたからです。この神のことばは、信じているあなたがたのうちに働いているのです。　（１テサロニケ 2 章 13 節）

聖書はすべて、神の霊感によるもので、教えと戒めと矯正と義の訓練とのために有益です。(17)それは、神の人が、すべての良い働きのためにふさわしい十分に整えられた者となるためです。　（２テモテ 3 章 16-17 節）

あなたは巻き物を取り、わたしがあなたに語った日、すなわちヨシヤの時代から今日まで、私がイスラエルとユダとすべての国々について、あなたに語ったことばをみな、それに書しるせ。　　（エレミヤ 36 章 2 節）

2 あなたがたのためにと私がいただいた、神の恵みによる私の努めについて、あなたがたはすでに聞いたことでしょう。(3) 先に簡単に書いたとおり、この奥義は、啓示によって私に知らされたのです。(4) それを読めば、私がキリストの奥義をどう理解しているかがよくわかるはずです。(5) この奥義は、今は、御霊によって、キリストの聖なる使徒たちと預言者たちに啓示されていますが、前の時代には、今と同じようには人々に知らされていませんでした。　　（エペソ 3 章 2-5 節）

それは、聖なる預言者たちによって前もって語られたみことばと、あなたがたの使徒たちが語った、主であり救い主である方の命令とを思い起こさせるためなのです。
（２ペテロ 3 章 2 節）

「主はこう仰せられる」(hwhy rma hk) は２９３回も旧約聖書に出て来ます。何度も何度も神は預言者によって語っておられるということを主張しています。新約聖書にもその主張が何回も出て来ます。教会は「使徒と預言者という土台の上に建てられており、キリスト・イエスご自身がその礎石です。」（エペソ２章２０節）

レッスン３　旧約聖書のはじめの五書

Rev 7-24-2008

聖書の初めの５つの書物を総称して、何と呼んでいるでしょう。それらは誰が書いたのでしょうか。誰がそれらの書物を書いたのかどうすれば分かるのでしょう。その５つの書物には何が書かれているのでしょう。このレッスンを注意深く学び、読み返せば、先のような質問に明確に答えられるでしょう。

はじめの５巻の名称は

旧約聖書のはじめの５巻の名称は、いく通りかあります。時としてそれらを「**五書**」、(Pentateuch) と呼んだりします。つまり「５冊」あるいは「５巻」という意味のギリシャ語２語から来ています。これらの五書（創世記、出エジプト記、レビ記、民数記、申命記）は又、「**律法の書**」とも呼ばれています。ヘブル語では「**トーラー**」(Torah) と言います。これはヘブル語で「律法」を表わします。別の呼び方としては「**モーセの律法の書**」とか「**モーセ五書**」といったものがあります。

五書を書いたのは誰？

五書の人間の著者はモーセです。五書には直接このことは示されていませんが、以下のような証拠があり、それは明らかにモーセが五書の著者だと指し示しているのです。

１．五書の中に出て来る証拠
　神がモーセに命じて五書を書かせたことは、五書の中に多く出て来ます。それらの箇所を見てみましょう。

　出エジプト記 24 章 4 節、出エジプト記 34 章 27 節、民数記 33 章 1-2 節、申命記 31 章 9 節

２．五書以外の旧約聖書に出て来る証拠
　五書以外の旧約の巻の中でも、モーセが五書の著者であることを示した個所があります。それらの箇所を見てみましょう。

　ヨシュア 8 章 31 節、Ⅱ列王記 14 章 6 節、Ⅱ歴代誌 35 章 6 節、ネヘミヤ 9 章 13-14 節、マラキ 4 章 4 節

　モーセが五書を記したという話は、旧約聖書の中に多数出て来ます。

３．新約聖書に出て来る証拠。とくにイエスの説教を取り上げました。それらの箇所を見てみましょう。

　マタイ 19 章 7-8 節、マタイ 8 章 4 節、ルカ 24 章 27 と 44 節、ヨハネ 5 章 47 節、使徒 3 章 22 節

　上記のような聖書の箇所は、イエスや新約聖書の書き手らにモーセが五書を書いたのだと信じるに十分なものだったのです。

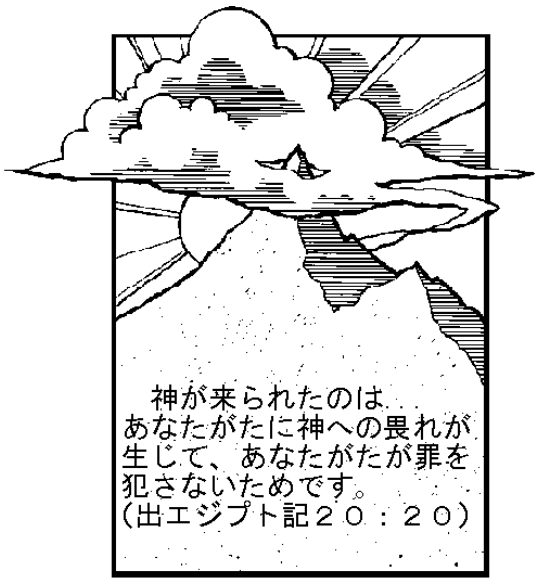
私たちが、五書の著者はモーセであると指摘しておいたのは、これと違った見解を持つ人もいるからです。彼らは「モーセが五書を書いたのではない」と主張します。これらの本は、口伝えの伝承をモーセの時代の数世紀ののちに、書かれたのだというのです。彼らは五書が人間によって書かれており、その文体は必ずしも一致していないと主張しています。しかし、イエスの証しは、それを裏付けるのに十分であると思います。イエスはモーセが五書の人間の著者であると確信しており、また神の権威を持ったモーセが書いた書物という言い方をされています。

五書の内容について

五書の内容は、天地創造からモーセの死まで、つまりヨシュアの指導で約束の地カナンに侵入するBC１４０６年の前年までのことが書かれています。という事は、五書は数千年にもわたる出来事をモーセが書いていたということです。

ここで簡単にモーセの五書がどんな内容を網羅しているのかを挙げておきます。

創世記は天地創造から始まります。神がアダムとエバを創られ、世界を彼らの手にゆだねます。しかし、犯した罪のために２人は聖なる心を失います。神は救い主を約束して下さいました。人間たちは堕落してしまったので、神は一家族をのぞいて洪水で人類を滅ぼすことにしました。ノアとその家族だけが助かったのです。神は全人類の救いの計画を実行するために、アブラハム（BC2166-1991年） をお選びになりました。創世記12章～50章は族長たち、つまりアブラハム、イサク、ヤコブの生涯と、それらの出来事が書かれています。この家系は、神が約束された「子孫」を通じて地上の人すべてが神によって祝福されることを示しています。ヤコブの息子たちの一人つまりヨセフは37章～50章に出てきます。



出エジプト１章～19章では、イスラエルの子（ヤコブ）が３ヶ月（出エジ19章１節）をかけてエジプトを出発し、シナイ山に向かったことが記されています。出エジプト記19章から民数記10章では、シナイ山での宿営が記されており、そこで律法が授けられたのです。民数記10～21章は、荒野をさまようイスラエルの民の約38年間を記したものです。民数記22章～申命記34章は、イスラエルの民がカナンの地に入る前の宿営を記したものです。申命記でモーセはその死を前にして、最後の祝福の言葉を述べています。彼らがエジプトを出て、約束の地カナンに入るまで、実に40年もの歳月が経ったのです。(申命記8:1-4)

これら五書全体のなかには２つの重要な構成要素が含まれています。１番目は**歴史**です。それは単なる古代世界の歴史やイスラエルの歴史を意味しているのではなく、それはむしろ、救いの歴史、神の王国の歴史と言えるでしょう。

２番目の要素は**律法**です。律法はこれら五書の中でも際立ったものであり、五書の中ではしばしば律法と呼ばれているものです。神がイスラエル人に律法を与えたことが出エジプト記の大部分を占めていますし、レビ記は全部が律法によって構成されています。民数記は律法と歴史が混在していますし、申命記はモーセによる律法の長い説教で占められています。
これら五書は、歴史と律法の書というように位置づけられるでしょう。

五書の名前の由来について

創世記（Genesis）　「始まり」を意味しています。この巻にはさまざまな物の始まりが語られています。例えば、宇宙、人間、罪、救い主の約束、ヘブル人（ユダヤ人）の誕生などです。

出エジプト記(Exodus)　「脱出する」という意味です。この巻はイスラエルの民がエジプトから脱出する話が書かれています。

レビ記（Leviticus）　「レビ人に関しての」という意味です。多くの律法はレビ人によってつかさどられていたので、このように呼ばれました。レビ族は祭司たちの部族でした。

民数記　（Numbers）　民数記と名付けられているのは、この巻がイスラエルの各部

族の人数について述べているからです。

申命記　(Deuteronomy)　「第２の律法」という意味です。この巻でモーセが神との契約をふたたび表明したからです。

以下の質問に答えて下さい。

初めにテキストを見ないで回答してください。それからテキストを見て、正解をチェックしましょう。最初にテキストを良く学んで、それから質問に答えましょう。

１．モーセの五書には少なくとも４つの異なる呼び方があります。それを挙げて下さい。

＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿　＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿　＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

２．モーセが五書の人間の著者だということが分かる理由を３つ述べてください。

＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

３．聖書の出来事を受け入れない人たちがいますが、それらの人たちは、これら五書は誰が書いたのだと言っていますか？

＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

４．五書に共通した内容とは何でしょうか。簡単に述べてください。

＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

５．五書全体を通して、２つの重要な構成要素とは何でしょうか？

＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿　＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

６．互いに関連するものを線で結びなさい。

a	五書	ー始まり
b	トーラー	ー律　法
c	族長たち	ー第２の律法
d	創世記	ーイスラエルのある部族に関したこと
e	出エジプト記	ー脱　出
f	レビ記	ー５巻、５冊
g	民数記	ーアブラハム、イサク、ヤコブ、民の先祖
h	申命記	ーイスラエル内の人数について書かれている本

興味深い事実

前にも書きましたが、聖書の歴史的正確性に懐疑的な人たちは、モーセ（BC1526－1406年）は五書を書いていないのではないかと考えています。何故ならその時代にはまだ書き残す方法が発明されていなかったのでは、との理由からです。しかし、その当時の多数の古代石碑や書字板が見つかっています。書面（書き残す法）はモーセの時代よりはるか以前に普及していました。有名なのはハムラビ王の法典が（BC1727年）石柱に彫り込まれていたことです。エブラという街からはさらにさかのぼりBC2400年の書面が見つかっています。使徒 7 章 22 節では、「モーセはエジプト人のあらゆる学問を教え込まれ、ことばにもわざにも力がありました。」また、セラビ　エルカーデム（シナイ半島の西部地方の場所）で、フリンダース・ペトリエ卿は11枚の石板に何か彫り込まれたものを発見したのです。その書面は２３の記号から構成されており、今ではこれが最初のアルファベットとであると考えられています。それはカナン語とされています。BC1500－1450ごろのものです。同様の文字形態がラチシ、シチェム、ギゼール、テレル・ヘシそれにテレル・アジュールでも発見されています。ですから、アルファベットの書面は出エジプトの時代（BC1446年）にはすでに存在していたのです。

ハムラビ王の石柱

レッスン４　創世記　ーはじまりの書ー
(Lesson 4 - Genesis)

このレッスンを良く学んだなら、あなたは創世記の総合的な中身について、熟知できるようになります。それにこのレッスンでは、暗記していただくことが幾つかあります。十分に内容をマスターしてから質問に答えてください。

この本の名前は

「創世記」（英語で「Genesis」）という名称は、ギリシャ語で「はじめの」、「起源」あるいは「根源」といった意味の言葉です。この名称は七十人訳聖書、つまりギリシャ語訳の旧約聖書で使われました。

ユダヤ人は、創世記を「ベレシート」と呼びます。「ベレシート」という語は、創世記の一番最初に出て来る言葉のヘブル語読みです。それは、「初めに、」という意味です。ユダヤ教では、旧約聖書の名前は、その本の最初に出て来る言葉か、出だしの文がそのまま付けられています。

神が著わした始まりの書

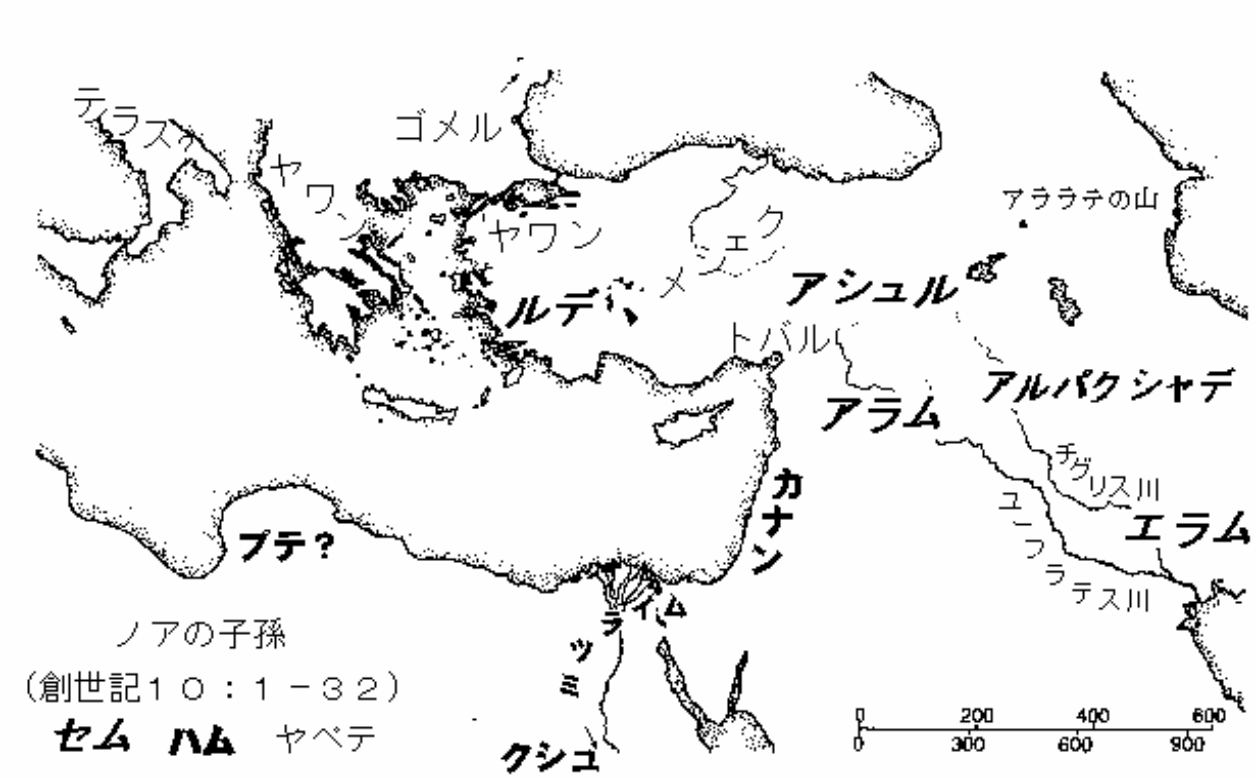
創世記というのは、実に良い名前です。聖書の初めの本というだけでなく、様々なことのはじまりをも記してあるからです。創世記はその５０章の中に９つの「始まり」が記されています。

１．地球のはじまり。	（１：１－２：３）
２．人類のはじまり。	（２：４－２５）
３．罪のはじまり。	（３：１－７　）
４．福音の約束のはじまり。	（３：１５　　）
５．家族のはじまり。	（４：１－１５）
６．神なき文明のはじまりと伝道活動。	（４：１６－９：２９）
７．国のはじまり。	（１０：１－３２）
８．各国語のはじまり。	（１１：１－９）
９．ユダヤ人また神の契約の民である始まり。	（１１：１０－５０：２）

二つに分類すると

創世記を考察すると、２つの部分に分けられます。最初の部分は１章から１１章、次は１２章から５０章という部分に分けられるでしょう。

１章から１１章までは、数千年にもわたる人類の総合的な歴史が記されています。１２章から５０章では、神が大いなる約束と契約をお授けになった、アブラハムとその子孫について記されています。



<u>創世記中の大きな出来事と登場人物</u>

１．創　造：（１章～２章）

明白なのは、世界と生命の起源は、<u>偶発の出来事</u>ではなかったということです。創世は創造主である神の業によるものです。神の創られたものは、すべて完全です。神の創られたものの中でも至高のものは、人間です。人間には魂があるので、他の生物とは違っており、神の御姿に似せて創られ、そしてその他の創造物を支配、監督する立場にされたのです。

1 光／闇	2 空の水／下の水	3 植物
4 日月星	5 空の鳥／海の魚	6 動物／人間

２．人間の堕落と最初の約束：（３章）

サタンの誘惑によって禁断の実を食べたことで、人間は神に背いてしまいます。罪のために人間に永遠の死がもたらされたのです。（ローマ 6 章 23 節）すべての創造物もまた、人間の罪からの影響を受けているのです。（ローマ 8 章 19-23 節）

しかし神は、人間を絶望のふちに置いたわけではないのです。神はやがて、罪から救い主の到来を約束されました。創世記３章１５節で、神は悪魔に向かって語られ、そして人間に対しては、最初の福音「Protevangelium」の言葉を語られました。神はこう約束されました。「わたしは、おまえと女との間に、また、おまえの子孫と女の子孫との間に、敵意を置く。彼は、おまえの頭を踏み砕き、おまえは、彼のかかとにかみつく。」

創世記３章１５節 ― 最初の来たるべき救い主についての約束

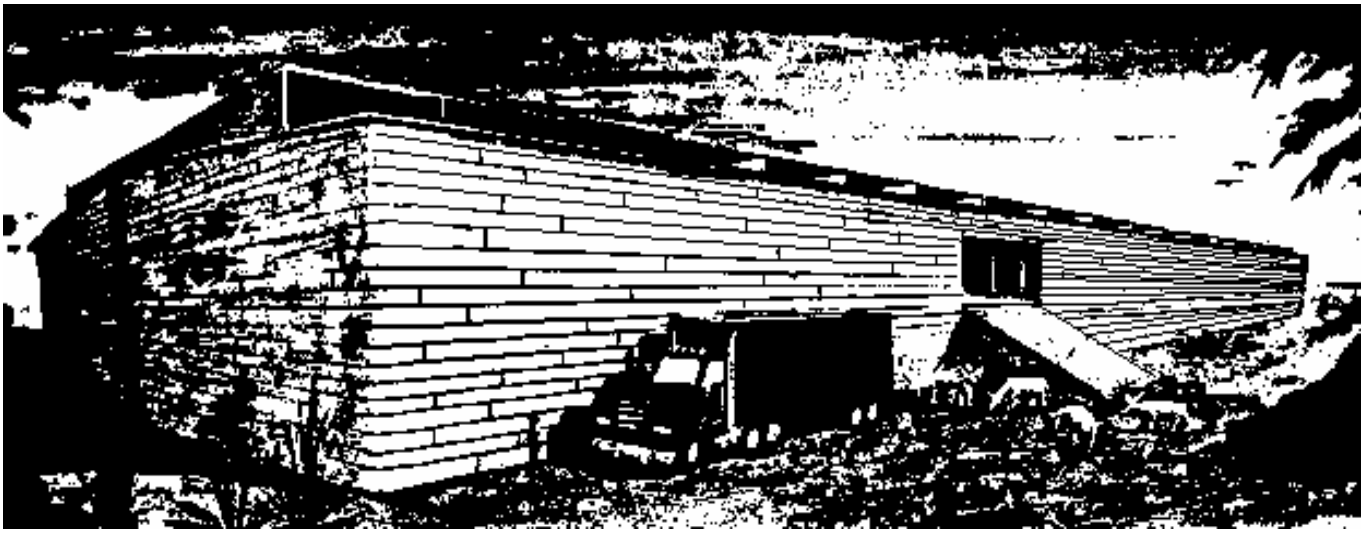
おまえ（悪魔、サタン） 黙示録１２章９節 （第Ⅱコリント４章４節）	**女**（エバ）
おまえの子孫（未信者） ヨハネ８章４４節 使徒１３章１０節、 マタイ２３章１５節	**女の子孫**（信者） ガラテヤ３章２６―２７節
おまえは、彼のかかとにかみつく イザヤ書５３章	**彼は、おまえの頭を踏み砕き** 第Ⅰヨハネ３章８節 ヘブル２章１４－１５節 ローマ１６章２０節

第Ⅰヨハネ３章８－１３節

３．洪　水：（６章から９章）

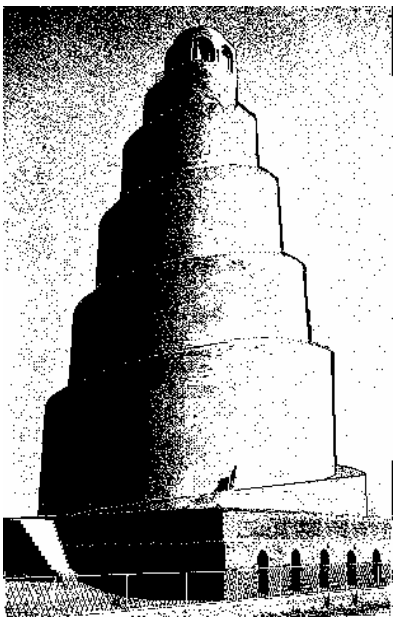
人間が不信仰で邪悪になったために、神は全地球的規模の洪水を起こしました。ノアとその家族以外は、すべて滅びたのです。そして神は二度とこのような洪水は起こさないと約束されたのです。

ノアの箱船は子どもの絵本に出てくるような、小さくて可愛らしいものだったのでしょうか。いいえ、それはどちらかと言えば、水に浮かぶ倉庫のようなものでした。創世記に記された箱船の寸法は、現代の貨物車が示しています。箱船は全長１４０ｍ、幅２３ｍ、高さは１３.５ｍというものでした。そして、上部、中部、下部にそれぞれ甲板が備えられていました。



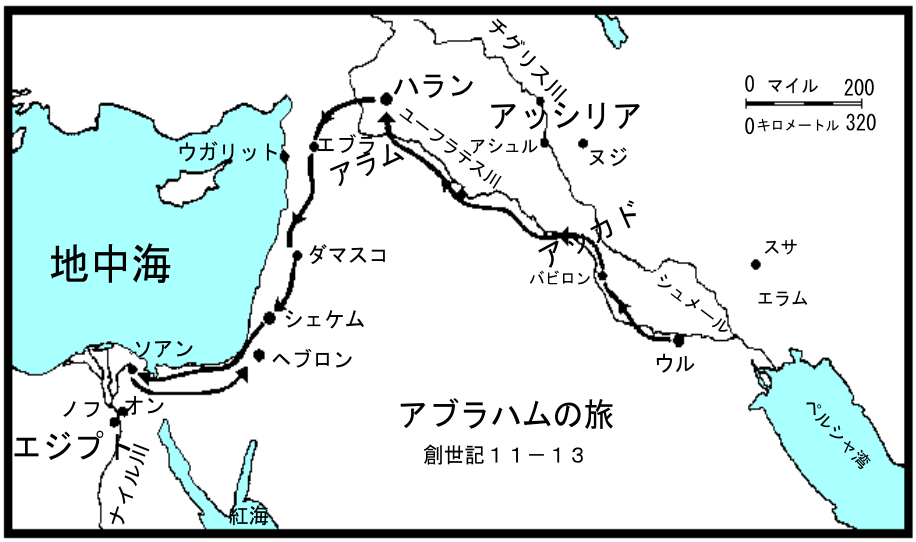
４．バベルの塔：（１１章）

神はバベルの塔を建てていた邪悪な人たちの言葉をばらばらに混乱させました。これが、世界でいろいろな言葉が話されるはじまりとなりました。



５．アブラハム（１２章－２５章１０節）

神はアブラハムを呼び、そして次のように約束されました。「**地上のすべての民族は、あなたによって祝福される。**」（創 12 章 3 節）これら各章のなかには、アブラハムとロトの話、ハガルとイシュマエルそして割礼の儀式、ソドムとゴモラ、イサクの誕生そしてアブラハムの試練が含まれています。



６．イサク　（２５章１１節－２６章）

７．ヤコブ　（２７章－３６章）

８．ヨセフ　（３７章－５０章）

それぞれの出来事が何章に記されているか、憶えましょう

天地創造	１章
人間の創造	２章
罪に陥る	３章
最初の福音	３章１５節
カインとアベル	４章
「罪から来る報酬は死です。」	５章
ノアの洪水	６－９章
バベルの塔	１１章
アブラハムの召命	１２章
割礼の儀式	１７章
ソドムとゴモラの破壊	１９章
イサクの誕生	２１章
アブラハムの試練	２２章
ヤコブの誕生	２５章
ベテルでのヤコブの夢	２８章
ヤコブのレアとラケルとの結婚	２９章
ヤコブの子供たち	２９－３０章
ヨセフの物語	３７－５０章

創世記の重要な箇所です。憶えましょう。

創３章１５節
「わたしは、おまえと女との間に、また、おまえの子孫と女の子孫との間に、
　敵意を置く。彼は、おまえの頭を踏み砕き、おまえは、彼のかかとにかみつく。」

創１５章６節
　彼は主を信じた。主はそれを彼の義と認められた。

創２２章１８節
　「あなたの子孫によって、地のすべての国々は祝福を受けるようになる。」
　　（アブラハムに対する神の約束）

創４９章１０節
　王権はユダを離れず、統治者の杖はその足の間を離れることはない。
　ついにはシロが来て、国々の民は彼に従う。（エゼキエル書２１：２７）

このレッスンをマスターしたら、次の質問に答えてください。

１．創世記（Genesis）の意味は、＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿。

２．ユダヤ教では、創世記を何と呼びますか？

３．創世記に出て来る、９つの「はじまり」を挙げてください。

＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿　＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿　＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿　＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿　＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿　＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿　＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

４．創世記は全部で何章ありますか？

５．創世記を２つに分類すると、それぞれは何について書かれていますか？

分類１　＿＿＿章～＿＿＿章＿　内容＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

分類２　＿＿＿章～＿＿＿章＿　内容＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

６．最初の福音（英語で「Protevangelium」）の意味は。

７．次に挙げる出来事は、創世記の何章に記されていますか。何も見ずに答えてみましょう。

アブラハムの召命

ヨセフの物語

ソドムとゴモラの破壊

アブラハムの試練

バベルの塔

罪に陥る

割礼

イサクの誕生

ヤコブの誕生

天地創造

ヤコブの結婚

カインとアベル

ヤコブの夢

ヤコブの子らに名前をつける

８．何も見ずに書いてください。

創３章１５節

創１５章６節

創２２章１８節

創４９章１０節

モーセによる創世記の概要

レッスン１で学んだとおり、聖書にはもともと「章」も「節」もありませんでした。「章」に分けられたのはAD１２００年頃のことです。「節」が付加されたのはAD１５５１年のことです。これら章と節は、神の霊感によって分けられたものではありません。しかしながら、聖書の箇所をより早く探せるので、とても有益なことが分かります。しかし、モーセは「トレドート」（その後の歴史）という特別な言葉を用いて、創世記を１０に分割しました。このモーセによる分割を記憶にとどめておくと、創世記を読む上で、非常に役に立つと思います。

創世記のトレドート　tAdl.At
（モーセによる創世記のアウトライン）

１．創世記 2 章 4 節　これは天と地が創造された時の経緯である。神である主が地と天を造られた時、

２．創世記 5 章 1 節　これは、アダムの歴史の記録である。神はアダムを創造された時、神に似せて彼を造られ、

３．創世記 6 章 9 節　これはノアの歴史である。ノアは、正しい人であって、その時代にあっても、全き人であった。ノアは神とともに歩んだ。

４．創世記 10 章 1 節　これはノアの息子、セム、ハム、ヤペテの歴史である。大洪水の後に、彼らに子どもが生まれた。

５．創世記 11 章 10 節　これはセムの歴史である。セムは百歳のとき、すなわち大洪水の二年後にアルパクシャデを生んだ。

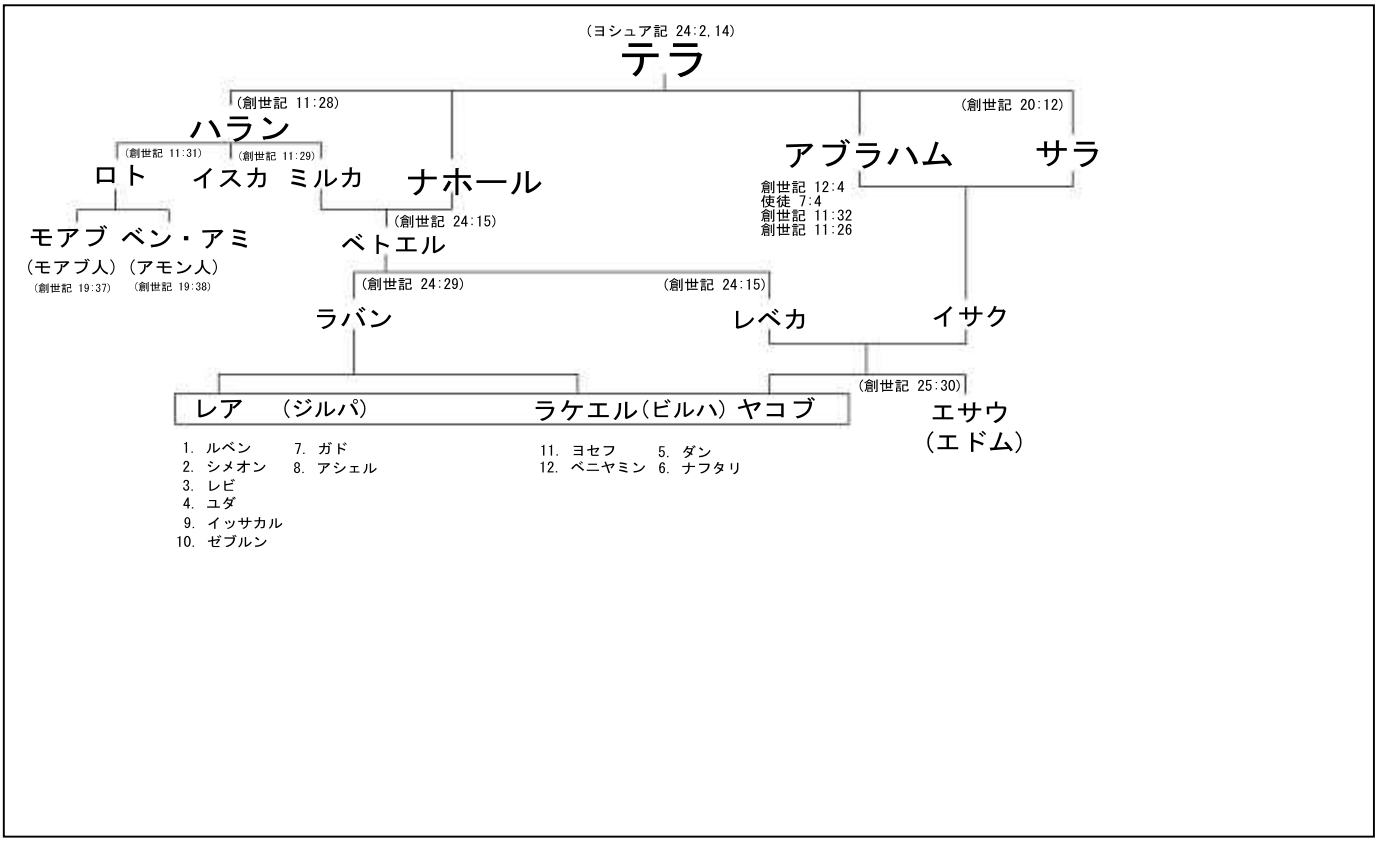
６．創世記 11 章 27 節　これはテラの歴史である。テラはアブラム、ナホル、ハランを生み、ハランはロトを生んだ。

７．創世記 25 章 12 節　これはサラの女奴隷エジプト人ハガルがアブラハムに産んだアブラハムの子イシュマエルの歴史である。

８。創世記 25 章 19 節　これはアブラハムの子イサクの歴史である。アブラハムはイサクを生んだ。

９．創世記 36 章 1 節　これはエサウ、すなわちエドムの歴史である。

10．創世記 37 章 2 節　これはヤコブの歴史である。ヨセフは十七歳のとき、彼の兄たちと羊の群れを飼っていた。彼はまだ手伝いで、父の妻ビルハの子らやジルパの子らといっしょにいた。ヨセフは彼らの悪いうわさを父に告げた。



レッスン５　ー出エジプト記（EXODUS）

このレッスンのパートＡでは、出エジプト記の内容について、ひととおり学んでいただきます。パートＢで、出エジプト記に関連した事柄について、細かく学んでいきましょう。このテキストを何度も何度も読み返しましょう。

（パートＡ）

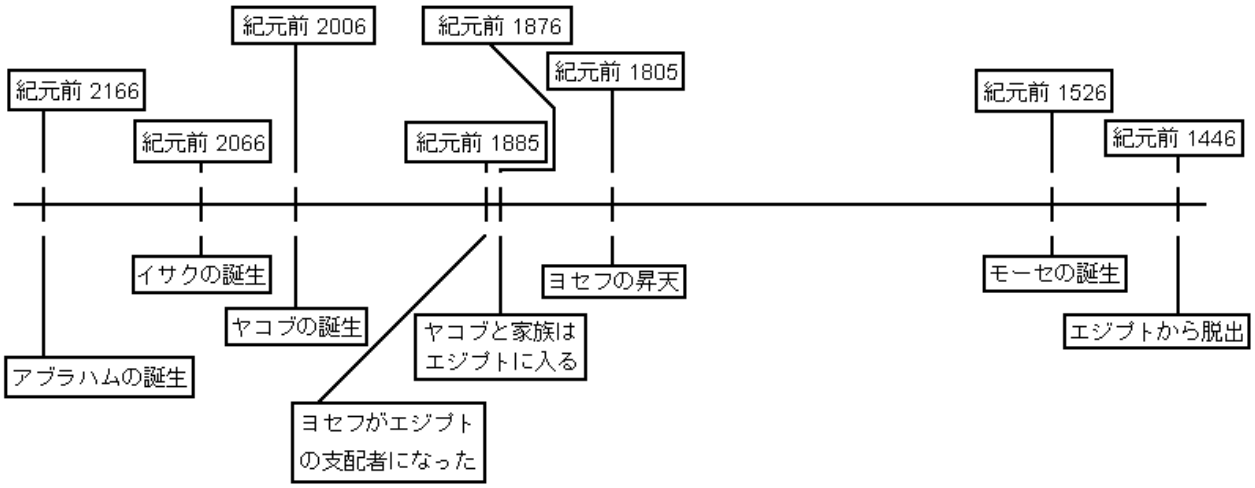
この書物の名称は

モーセ五書の第二番目の巻は「出エジプト記」（EXODUS）と呼ばれています。ギリシャ語で「脱出する」という意味です。この名称が使われているわけは、イスラエルの民がエジプトの地を「脱出」する話が記されているからです。しかし、出エジプトは厳密にはこの巻の最初の１８章までしか記されていません。あとの２２章では、律法の授与と契約、そして幕屋の建設が記されています。

３つに分割すると

出エジプト記は論理的には３つの部分に分割できます。

１．エジプトから脱出する。　（１章－１８章）
２．律法の授与と、その契約の批准（ひじゅん）。（１９章－２４章）
３．幕屋の建設について。　（２５章－４０章）



分割第１について

最初の１８章は、エジプトからの脱出がもたらされたことを記しています。創世記の終わりの時点で記録されたヨセフの死からモーセが４０歳になるまでに、３１９年が過ぎました。イスラエル人（ヤコブの子孫、ユダヤ人）は創世記の終わりの頃には、エジプトにとっては歓迎される存在でした。出エジプト記の初めにおいては、ヨセフがエジプトに多大な貢献をしたことを忘れた新しいパロのもと、奴隷の民となっていたのでした。２章～４章では、神の指示のもと、イスラエル人をエジプトから連れ出すため、モーセに指導者としての地位をお与えになったのです。

モーセの誕生、幼年期はパロの娘に育てられたこと、４０歳のときにエジプト人の男を殺害し、ミデヤンの地に逃げ込んだ話、モーセが８０歳のとき、燃える柴の中から神が語り、そして特別な「しるし」をお与えになり、そしてモーセはエジプトへ戻ったことなどが記されています。

５章～６章では、モーセがいかにしてパロにイスラエル人解放のために交渉したかが記されており、７章～１２章では、神がエジプトの地にもたらした１０の災害や、過越の制定、初子の死について書かれています。次の１０の災いによって神はエジプトの無力な神々は何も出来ないということを示されました。（出エジプト記１２章１２節）

１０の災い：

１．血の災い　(7 章 14-24 節)　　２．蛙の災い　(8 章 1-14 節)
３．ぶよの災い　(8 章 16-19 節)　　４．あぶの災い　(8 章 20-32 節)
５．疫病の災い　(9 章 1-7 節)　　６．はれ物の災い　(9 章 8-12 節)
７．雹の災い　(9 章 13-35 節)　　８．いなごの災い　(10 章 1-20 節)
９．暗闇の災い　(10 章 21-29 節)　　１０.長男（初子）の死の災い　(11 章 1-10 節)

１３章～１８章では、イスラエル人のエジプト脱出が述べられ、これらの章では紅海の横断の奇跡、マナやうずらの配給、岩からの水といった出来事が記されています。

分割第２について

１９章～２４章では律法の授与とシナイ山での契約が述べられています。

１９章は、人間が律法を受けるための準備過程の話です。２０章～２３章では、律法の授与について、２４章では神と選ばれた民との間の契約の批准（同意）について述べています。

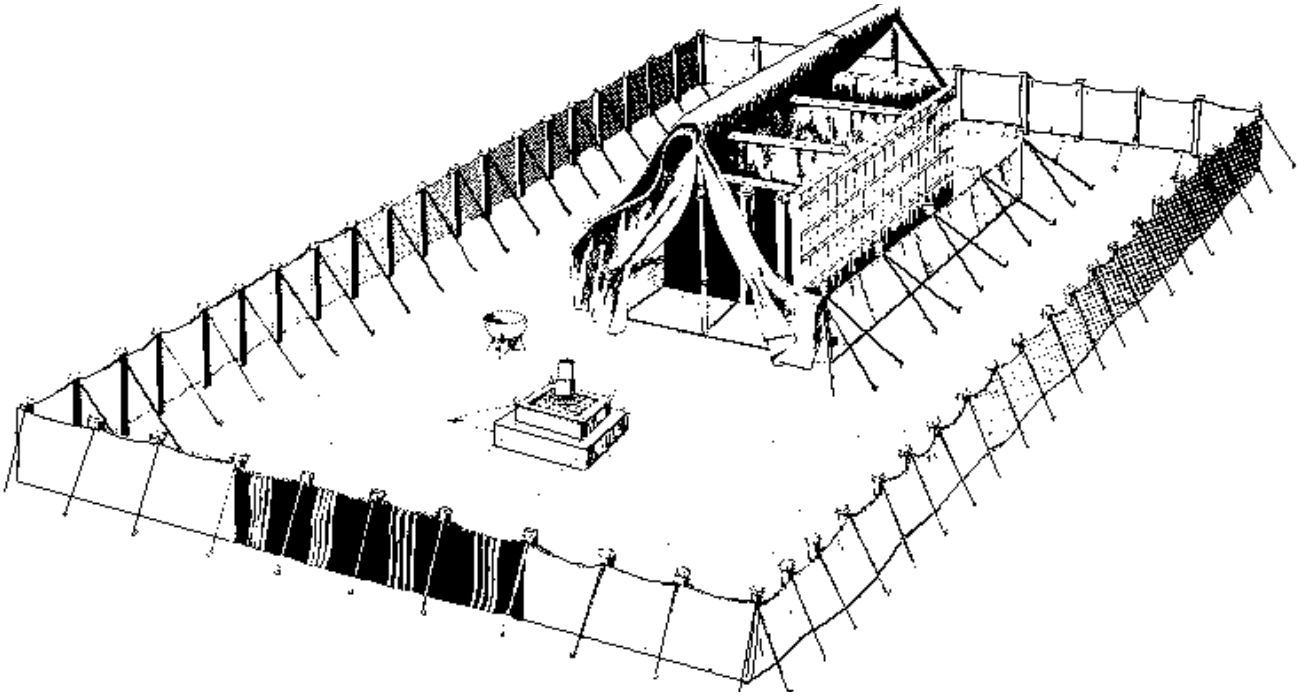
分割第３について

２５章～４０章では、幕屋、テントのような移動式の礼拝所の建設について書かれています。

２５章～３１章までは、幕屋の準備と幕屋での礼拝について細かく述べています。３２章～３４章は、幕屋の建設の話です。４０章では幕屋が完成し、主の栄光で幕屋が満たされた事が記されています。

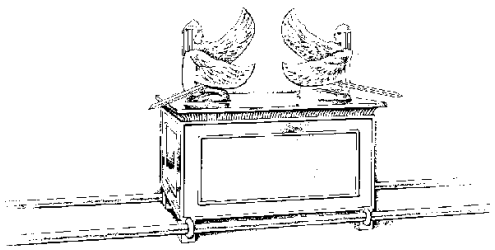
幕屋の形

幕屋の庭の広さは、
長さは４６メートルで、幅は２３メートルでした。

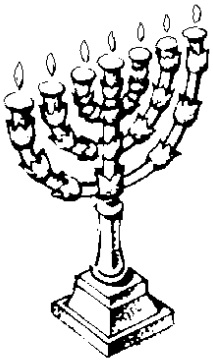


出エジプト記 26 章 1-37 節

「契約の箱」、あるいは「あかしの箱」は神の臨在を宿し、神の民の間に現れました。契約の箱のふたは「贖いのふた」と呼ばれていました。そのふたの上に大祭司が人々の罪を贖うために（肉体の清め）、年に一度牛の血をふりかけたからです。憐れみの座所の２つの天使の飾りの間に神が座していると考えられていたからです。

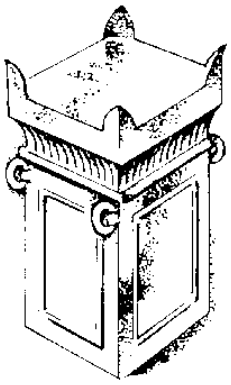


出エジプト記 25 章 10-22 節



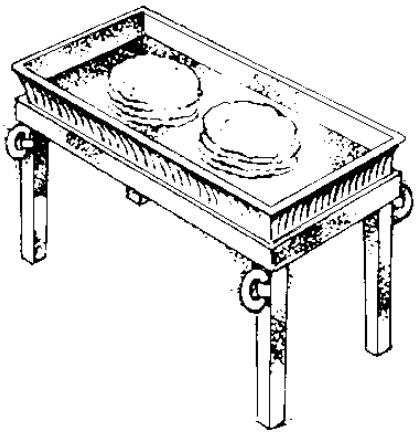
「燭台」は７本のろうそくが立てられるようになっており、これは神の７つの霊性を表わしています。何故なら、聖霊が神の言葉を啓示しているからです。その神の言葉とは「あなたのみことばは、私の足のともしび、私の道の光です。」（詩 119 章 105 節）

出エジプト記 25 章 31-40 節



「黄金の香の祭壇」とは、信者たちの祈りを神の前に捧げることを表わしています。（詩篇１４１章２節）

出エジプト記 30 章 1-10 節

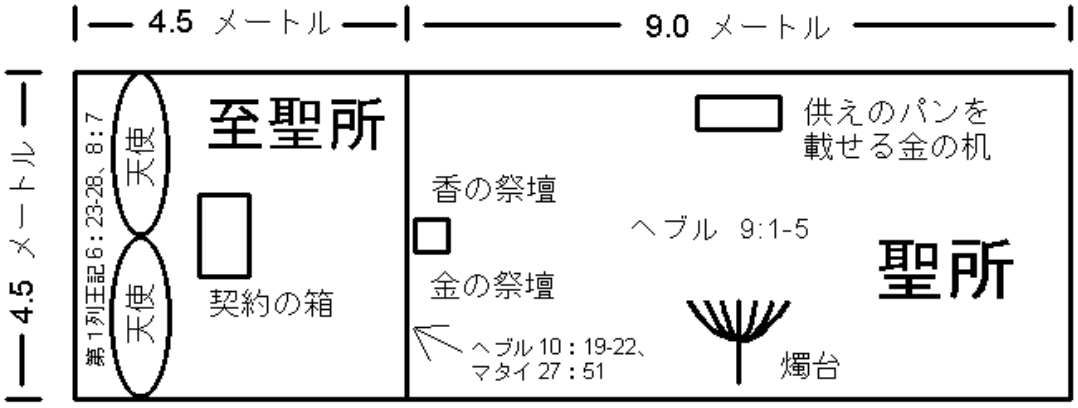


「供えのパンの机」とは神の前にある、イスラエルの１２の部族のことを表わしています。

出エジプト記 25 章 23-30 節

「幕屋」は２つの部分から構成されていました。「至聖所」（聖の中の聖）、と「聖所」の２つです。聖所に仕える祭司は、くじによって選ばれます。大祭司だけが至聖所に一年に一度だけ入ることができたのです。大祭司が至聖所に入るときは、全身に牛の血を付けなくてはなりませんでした。でないと彼は死ぬことになっていたためです。それから大祭司は、来たるべき世の救い主イエス・キリストの血による罪の覆い（贖い）を象徴する契約の箱の「贖いのふた」にその血を振りかけます。罪の贖いのきまりは「血を注ぎ出すことがなければ、罪の赦しはないのです。」（ヘ

ブル 9 章 22 節）という事を故郷をめざすイスラエル人たちに、銘記させるためでした。



出エジプト記の出来事と章を憶えましょう

モーセの誕生	２章
モーセと燃える柴	３章
１０の災害	７章～１２章
過越	１２章
紅海の横断	１３章
マナとうずらの配給	１６章
岩からの水	１７章
十戒	２０章
幕屋の準備	２５章～４０章
黄金の子牛の出来事	３２章
幕屋の設立	４０章

過越祭の意味(出エジプト記 12 章 1-51 節)

12 章 3 節– 羊
– 第 1 ｺﾘﾝﾄ 5 章 7 節
– ヨハネ 1 章 29 節
12 章 5 節– 傷のない
– 第 1 ペテロ 1 章 18-19 節
12 章 7 節– 羊の血
– ヘブル 9 章 16-22 節、マタイ 26 章 28 節
– 第 1 ヨハネ 1 章 7 節
12 章 8 節– パンだねのないパン（イースト菌のないパン）
– 第 1 コリント 5 章 6-8 節
– マタイ 16 章 6-12 節
12 章 46 節 – 骨を折ってならない
– ヨハネ 19 章 36 節

エジプトからカナンまでイスラエル人の旅

１．長男の死という災いの後で、パロはイスラエル人にエジプトから出て行くように命令（めいれい）しました。彼らは 奴隷（どれい）の状態から解放されました！ （出エジプト記１２章２９—３６節）

２．イスラエル人はラメセスからスコテまで旅しました。（出エジプト記１２章３７—３９節）

３．パロはエジプトから逃げたイスラエルについて考えを変えて彼らを 追跡（ついせき）し、葦（あし）の海の 海岸（かいがん）でイスラエル人を追い詰めました。（出エジプト記１４章５—１２節）

４．神様はモーセに 杖（つえ）を伸ばすように命じられると、風で海が分かれて、イスラエル人は海の中の 乾燥（かんそう）した地面の上を歩いて 渡（わた）りました。エジプト人は皆、海の中で死んでしまいました。（出エジプト記１４章１３—３１節） （パロも：詩篇１３６章１５節、１０６章１１節、イザヤ５１章９節、ハバクク３章１４節）

５．三日後、マラに 着（つ）きました。しかし、水が 苦（にが）くて飲むことが出来ませんでした。奇跡（きせき）で神様は水を 甘（あま）くして下さいました。（出エジプト記１５章２２—２６節）

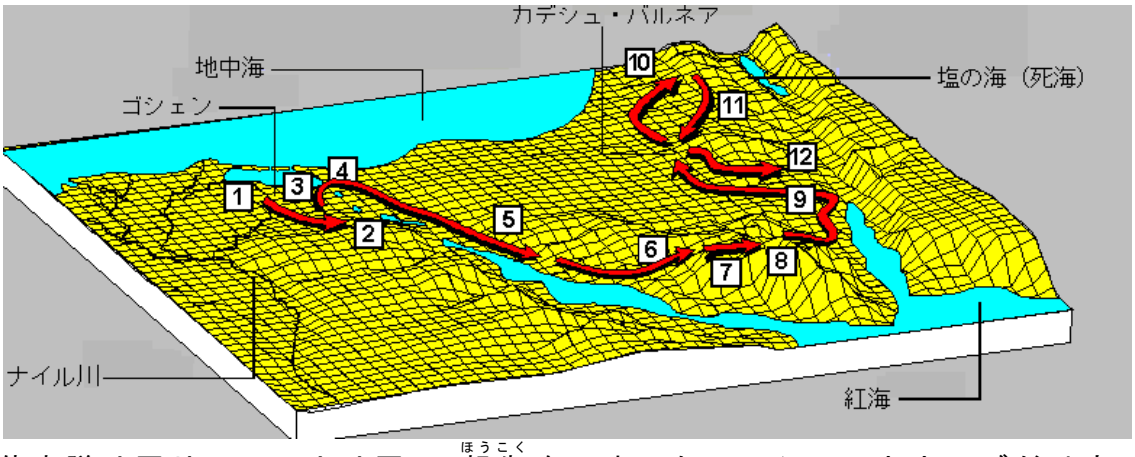
６．神様はマナとうずらをイスラエル人の食べ物のために 備えられました。（出エジプト記１６章）

７．岩から水を 備えられました。アマレクはイスラエルを 攻撃しますが、イスラエルはアマレクに 勝ちます。モーセの 義理のお父さんはモーセに 忠告を与えました。 （出エジプト記１７―１８章）

８．シナイ山で神様はイスラエルに律法を与えられました。（出エジプト記１９―３２章）

９．ミリヤムとアロンはモーセに対して 嫉妬を抱いて、神様の 裁きでミリヤムは一時的に重い皮膚病になりました。 （民数記１２章１―１６節）

１０．シナイ山から１１日後に、モーセは１２人の 偵察隊をカナンへ遣わしました。（民数記１３章１―２４節）



１１．偵察隊は戻り、１０人は悪い 報告をしました。ヨシュアとカレブだけ良い報告をしました。イスラエルは神様の「カナンに 打ち 勝つように」という命令に 背いてしまいました。彼らはモーセの代わりに他の指導者を 欲しがりました。（民数記１３章２５節―１４章１０節）

１２．罰として、神様はイスラエルを４０年間、荒野の中にさ 迷わせました。 （民数記１４章１１―３８節）

（パートＢ）

モーセの律法

神はモーセを通じて３種の律法をお与えになりました。それらは①道徳律法、②儀式律法、③市民律法の３つです。出エジプト記では、主に道徳律法について述べられています。レビ記では儀式律法、民数記では市民律法が書かれています。

①道徳律法

道徳律法は全ての時代の全ての人間への神の御心です。道徳律法の要約は新約聖書に十戒として出てきます。そこには道徳や行ないに関して、人がして良いことと悪いことが書かれています。道徳律法は時として生まれながらの律法と呼ばれることもあります。何故なら、これらはアダムとエバの創造の時点で、もとから彼らの心の中に書き込まれたからです。ですから、すべての人は少なくとも道徳律法の一部を、生まれながら知っているということです。（ローマ 2 章 14 - 15 節）ユダヤ人に与えられた道徳律法は、旧約聖書時代の神の民にふさわしい生活法として制約されたものでした。

十戒の第三の戒めと第四の戒めにその証拠が見られます。土曜日を安息日とし、それを守らなくてはならかったのです。（出エジ 20 章 8 - 11 節）ところが、現在では私たちはいつなんどき神を礼拝しても良いのです。（コロ 2 章 16-17 節） 彼らは長くイスラエルの地に住まえるように祝福されていたように、現在ではこの地球に

私たちが長く住まえるように祝福されているのです。

②儀式律法

一般的に言われていることですが、儀式についての律法は、旧約時代の神の民に神を礼拝する方法を説いたものです。この種の律法は、旧約時代のユダヤ人が従わなくてはならない、すべての儀式を説きました。その内容は安息日、旧約時代の祭り、礼拝の場所、祭司の心得、あらゆるいけにえのきまりや規則についての説明です。また、そこには清浄な食物と不浄な食物についての詳細が示されています。（レビ 11 章，申命 14 章 3-20 節）儀式律法の主な目的は、イスラエル人に自分たちの罪深さを銘記や、救世主の必要を銘記させるためでした。罪の汚れを清めるには、償いのいけにえが必要とされました。これらのいけにえは、本当には罪を取り去るものではありませんでしたが、これは私たちの罪の債務を、完全に贖ってくださるキリストのいけにえを指し示している事になります。（ヘブル 10 章 1-10 節）儀式律法はまた、不信仰な異教徒とユダヤ人を分ける壁の役割も果たしていたのでした。この儀式についての律法は、ユダヤ人と不信仰な異教徒を分ける壁の役割をしていたのです。神が旧約時代のユダヤ人にそのような加護を与えられたのも、彼らのアイデンティティを失うことのないように、また周囲の国々に吸収されないようにと考えられたからです。キリストが来られたとき、神は儀式についての律法を廃止し、ユダヤ人と異邦人の間に築かれた障壁は取り除かれたのです。ですから新約時代のキリスト者には儀式についての律法は必要なくなったのです。

③市民律法

この種の律法は、旧約時代のイスラエルの統治のための規則です。儀式の律法と同じく、この市民律法も、旧約時代のユダヤ人の暮らしについて規定するために意図されたものであって、現代の私たちに適用されるものではありません。

神が律法を授けられた時、神がアブラハムにされた約束を破棄することはなさらなかったということを思い出してください。ガラテヤ 3 章 17 節はこの事を思い出させてくれます。「**先に神によって結ばれた契約は、その後四百三十年たってできた律法によって取り消されたり、その約束が無効とされたりすることがないということです。**」

神が律法をお与えになった時のことを思うと、神は私たちに、私たち自身を自分たちで救うことのできる方法をお与えにはならなかったのです。ガラテヤ 2 章 16 節では「人は律法の行ないによっては義と認められず、ただキリスト・イエスを信じる信仰によって義と認められる、・・・」と書かれています。またローマ人への手紙 4 章 1-6 節ではアブラハム（律法を与える前に生きた）とダビデ（律法を与えた後に生きた）の両者は、自分たちの力に頼るのではなく、神の赦しに頼っていました。彼らはその信仰において、約束された救い主が、罪の代価を払い、彼に神の正義をもたらされることを心待ちにしていたのでした。

出エジプト記に見られる象徴について

「型」(type)という言葉は「描写」を意味しています。旧約聖書に出てくる「型」とは新約聖書の中のあることを描写したり、指し示すことです。コロサイ 2 章 17 節で、パウロは「方」のことを「次に来るものの影」と言っています。ヘブル 10 章 1 節では、神が命じた旧約聖書のいけにえもまた、キリストのいけにえの「影」と呼んでいます。牛や山羊の血では本当に罪を取り去ることは出来ませんでした。ですから、キリストのいけにえを示唆したのです。キリストの血を通してのみ、私たちは贖いと罪の赦しを得られるのです。（コロ 1 章 14 節）

出エジプト記にはいくつかの型が含まれています。それらは物であり、人であり、キリストのわざを予見する出来事であったりします。ここにその例を挙げておきます。

（１）マナ

マナとはイスラエルの民たちに、神が天国から与えられたパンです。しかし、イエスがまことのマナであり、永遠の命をもたらすパンなのです。（ヨハネ６章４７－５１節、申命記８章３節）

（２）岩からの水

Ｉコリント 10 章 4 節を見て下さい。この岩とはキリストを指しています。（ヨハネ４章１３－１４節）

（３）過越の子羊

過越の時に殺される子羊は、キリストとその十字架上の死を象徴しています。子羊の死によって、イスラエルの初子が救われたように、私たちもキリストによって救われました。神の小羊とはこの世の罪を消し去るものです。（ヨハネ１章２９節、第Ｉコリント５章７節）

（４）モーセ

モーセも、彼の民をエジプトの奴隷支配から解放したという点で、キリストを象徴しています。キリストは私たちを罪から解放されたのです。（モーセはその象徴ではないと反論している者もいます。それはモーセが、聖書の記述だけでははっきりと指摘されていないという点を挙げています。）（申命記１８章１５－１９節）

以下の質問に答えなさい。

１．出エジプト記(Exodus)とは＿＿＿＿＿語で＿＿＿＿という意味の言葉です。

２．出エジプト記と呼ばれているのは、巻の最初で＿＿＿＿＿＿＿＿について書かれているからです。

３．出エジプト記の３分割について挙げて、それぞれの章を書いて下さい。

１．　　章～　　章

２．　　章～　　章

３．　　章～　　章

４．出エジプト記の初めでは、イスラエル人たちは＿＿＿＿＿という国の＿＿＿＿＿の地に住んでいました。

５．第一分割に出て来る出来事を最低５つ挙げてください。

６．第１９章では、人々が＿＿＿＿を受け取る＿＿＿＿をします。

７．幕屋の建設を描いた章の中に出てくる悲しく、痛ましい出来事とは何ですか。

８．テキストを見ずに、以下の出来事の章数を入れてください。

十戒　　＿＿＿＿＿＿

過越 _____

マナとうずらの供給 _____

モーセの誕生 _____

黄金の子牛 _____

岩からの水 _____

１０の災い _____

幕屋の建設 _____

紅海の横断 _____

モーセと燃える柴 _____

幕屋の準備 _____

９．神はモーセを通して３つの律法を与えられました。それを挙げてください。

10. その３つのうち、旧約のユダヤ人たちにしか適用されないものを２つ挙げなさい。

11. その３つの律法のうち、現在でもすべての人に適用されるものを挙げてください。

12. _____律法は、ユダヤ社会の統治のための規則です。

13. _____律法は、様々ないけにえなどについて取り扱っています。

14. _____律法の要約が十戒なのです。

15. 旧約聖書の「型」(type) とは_____。

16. 出エジプト記にみられる、キリストの象徴を４つ挙げてください。

出エジプトの年代について

出エジプト記を学んでいる人が、ある時点になると次のような疑問を待ちます。「いったいいつ、出エジプトが行なわれたのだろう。」幸いにも聖書には多くの年代記がありますので、その時を正確に算定することはたやすいのです。

Ｉ列王記６章１節では「イスラエル人がエジプトの地を出てから四年目のジブの月、すなわち第二の月に、ソロモンは主の家の建設に取りかかった。」とあります。という事は、ソロモン王の治世の頃と算定できるわけです。アッシリア人という古代人は、紀元前８９２年～６４８年までのアッシリア王時代の毎年の重要な出来事の記録を保管していました。これら名祖（名前のリスト）系図にはそれらを実証できる出来事も一緒に記されていました。例えば日食、月食などです。南北イスラエルと相互に関係のあったアッシリアの歴史が、非常に正確性が高く、まさにピンポイントで出来事の発生を調べることが出来るのです。ある物事の年代は疑う余地もなく確固たるものになるのです。詳しくは列王記と歴代誌にありますが、王国が分

割された時（BC930 年）と両王国が陥落した時を知ることが出来ます。（北イスラエルが BC722 年に陥落、南－ユダヤが BC586 年に陥落）また、イスラエルとユダヤの王たちの統治期間も知ることができるのです。
　ソロモン王は紀元前９７０年～９３０年までの４０年間、イスラエルを統治しました。その統治の四年目の年が紀元前９６６年です。このときから４８０年さかのぼってみると（966＋480）紀元前 1446 年ということになります。聖書には１４０６年にイスラエル人が、約束の地カナン入った年と明記されており、１４４６年は出エジプトの年であると明記されています。

　ある人たちはどうして出エジプトを 1200 年代としたがるのでしょう。それは考古学上の発見物が 1200 年代のほうに、より年代が適合すると考えるからです。ですがこの考古学上のデータは不正確なものです。それをもって私たちは遺物の至極簡単な年代測定法を攻めるつもりでもないし、さらにはそれらの発見された遺物は、考古学者らの仮説によって、それぞれ違った年代解釈になってしまうからです。１人の考古学者が、ある結論を得たとしても、次の者が現れれば論争をするしかないのです。とは言うものの、考古学はある年代の社会慣習を明らかにしてくれるものですし、聖書の確実性を裏付けるものでもあるのです。発見された遺物の年代確定は、かならずしも指標になり得るとは限りません。私達が考古学にゆだねられることは、聖書の時代の社会習慣を明らかにする手がかりを提供してもらう、ということです。その時代に使われていた武器の種類や道具などといったことです。
　しかし、考古学の「確実な結論」と、聖書とは矛盾が生じます。ここで私達が思い出さなくてはならないのは「聖書は神の言葉であって、その言葉はあやまることはない」ということです。ですから神ご自身が私達に、出エジプトがあったのは、ソロモン王の統治の４年目の４８０年前であることを保証してくださり、私達はそれが正しいと知っているのです。

　出エジプトの年代は、他の聖書の年代を決定する上で重要です。出エジ 12 章 40 節では「イスラエル人がエジプトに滞在していた期間は四百三十年であった。四百三十年が終わったとき、ちょうどその日に、主の全集団はエジプトの国を出た。」とあります。ということは、イスラエル人たちはエジプトに紀元前 1876 年（430+1446）に入ったのです。それはまた、モーセが１２０歳まで生き（申命記 34 章 7 節）イスラエル人を４０年間指導した事も意味します。モーセは紀元前１５２６年に生まれたからです。創世記 41 章 46 節では、ヨセフがパロに仕えるようになった時は３０歳でした。ヤコブがエジプトに入った時、（BC1876 年）ヨセフは３９歳でした。（創世記 45 章 6 節）ですから、ヨセフは紀元前１９１５年に生まれ、１１０年後の（創世記 50 章 26 節）　紀元前１８０５年に亡くなったのです。

　ヤコブはエジプトに１７年間住みました。彼の全生涯は１４７年間です。（創世記 47 章 28 節）このことは、ヤコブがエジプトに来た時は１３０歳であり（創世記 47 章 9 節）、となれば（1886+130）　彼は紀元前２００６年に生まれたということです。リベカがヤコブとエサウを生んだ時、イサクは６０歳だったことが書かれています。（創世記 25 章 26 節）ということは、イサクが紀元前２０６６年に生まれたことを意味しています。以下に、今までの人物の誕生年と死亡年をまとめてみました。

人　　物	誕　　生	死　　亡	聖書の参照箇所
アブラハム	BC２１６６	BC１９９１	創 25 章 7 節
イサク	BC２０６６	BC１８８６	創 25 章 26 節, 35 章 28 節
ヤコブ	BC２００６	BC１８５９	創 47 章９, 28 節
ヨセフ	BC１９１５	BC１８０５	創 41 章 46 節,45 章 6 節 50 章 26 節
モーセ	BC１５２６	BC１４０６	申 34 章 7 節

　しかしながら、私達は確信を持って、アブラハム時代以降の正確な年代を知ることは出来ません。とはいっても、私達にはキリストの祖先アダムからアブラハムに至るまでの系図に関して記されている創世記５章と１１章に、それらの豊富な情報が与えられています。私達が心に刻んでおかなくてはならないことは、これは年代記ではなく、家系図なのだということなのです。これは上記の人物全員に当てはま

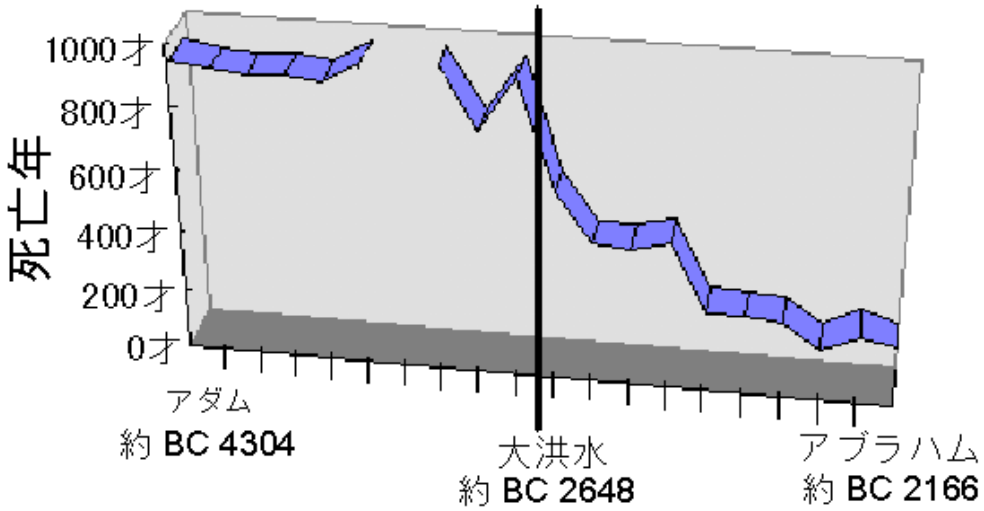
る事ではありません。モーセの目的は、私達に家系図を示すためではありませんでした。彼の目的は約束の救い主の家系をたどることだったのです。もし誰かが創世記１１章の家系図とルカの 3 章 36 節のとを比べてみたら、少なくとも１代は飛び越されています。新約聖書ではカイナンはアルパクサデの息子であるという事が記されています。ユダヤ人は、このことは全然気にならないといった様子を見せるでしょう。ヘブル語の息子は同時に孫を意味し、もっと広く解釈すると子孫くらいの意味になってしまうのです。別の例を挙げると、マタイ１章 6-11 節に、著者の判断で家系図から除外された人物がいるのです。マタイはヨラムがウジヤの父親であると述べています。しかし、実際にマタイは３代ほど飛び越えているのです。実際の父から息子の家系の流れは次のようになります。ヨラム→アハズヤ→ヨアシュ→アマツヤ→ウジヤとなります。このマタイ福音書の場合は、どうして彼が３世代も飛び越したのかの理由は分かります。マタイは、神が救い主の家系を綿密に御計画されているという神学上のポイントを強調したのです。マタイが人為的に系図を処理したのは、アブラハムからダビデまでを１４世代にするためでした。ダビデから１４代目はバビロンに移住していますし、バビロンからキリストまでが１４代です。（マタイ１章 17 節） ユダヤ人の物事の考え方にしてみれば、マタイのしたことは別段何の問題もなかったし、皆は神学上の記述だと認識しており、文字どおりの家系図とは認識していませんでした。そんな理由から、私達はアブラハム以降の正確な年代を知ることが出来ないのです。

それでは、このことが、世界の始まりがどのくらい前だったのか、知る手だてもない事を意味するのかというと、それは違います。１つの証明済みの事実として、ある人物が系図から外されていました。モーセがまるで系図から名前をとばすのがくせになっていたとまでは言いませんが！創世記５章の系図を注意深く学んでみますと、１箇所が年代記のように書かれていることが分かります。メトシェラは洪水の年に死んでいます。この事柄からも、創世記５章は単なる系図というだけでなく、年代記でもあるという事を示しているということが良く分かると思います。しかしながら、メトシェラについての神学的な記述が意図されたという考えや、系図は、ある時点に向かう準備のためのものとする考えを全く無視するものでもないのです。

しかしここにはもう一つの、地球の年齢についての考察があります。なぜ神は地球創造を、書面の記録として残すことをお選びにならなかったのか。また人が罪に陥り、そしてモーセの時まで、救い主の約束をなさらなかったのか、ということです。この答えは、もしそれら系図を正確な年代記としても見るとするならば、明らかになるはずです。アダムの時代の出来事は、容易に数世代を経過して伝えられます。アダムは９３０年生きましたし、メトシェラは９６９歳まで生きました、ノアは９５０歳まで生きたのです。多くの人がアダムの生きていたところに直接行くことが出来て、エデンの園で何が起きたかという、アダム自身の真実の証言を尋ねたとしたら、自ずと解るはずです。このように、人間の寿命が洪水の後、急速に短くなるまでは、聖書は記述される必要は無かったわけです。もし多くの世代が私達のために記録されていなければ、どうして人間は罪に陥ったのかという重大なメッセージやいかに神が救い主の約束を、世代を経るたびに誤解されることのないように神ご自身の言葉をモーセの時代より早くに書き記していたと思います。

もし創世記の系図が年代記でもあるとすれば、アブラハムの時代よりさかのぼって、以下のように再構成されるでしょう。

大洪水後の寿命の傾き



人　　物	誕　　生	死　　去	聖書の参照箇所
アダム	BC４３０４	BC３３７４	創 5 章 3-5 節
セツ	BC４１７４	BC３２６２	創 5 章 6-8 節
エノシュ	BC４０６９	BC３１６４	創 5 章 9-11 節
ケナン	BC３９７９	BC３０６９	創 5 章 12-14 節
マハラルエル	BC３９０９	BC３０１４	創 5 章 15-17 節
エレデ	BC３８４４	BC２８８２	創 5 章 18-20 節
エノク	BC３６８２	（BC３３１７）	創 5 章 21-24 節
メトシェラ	BC３６１７	BC２６４８	創 5 章 25-27 節
レメク	BC３４３０	BC２６５３	創 5 章 28,30-31 節
ノア	BC３２４８	BC２２９８	創 9 章 28-39 節
セム	BC２７４６	BC２１４６	創 11 章 10-11 節

（大洪水 BC２６４８　メトシェラはその時死んだかも知れません。）

アルパクシャデ	BC２６４６	BC２２４３	創 11 章 12-13 節
（七十人訳ではアルパクシャデは紀元前２２１６に死去）			
ケイナン	BC２６１１	BC２１５１	創 11 章 12-13 節 ※七十人訳
シェラフ	BC２４８１	BC２０４８	創 11 章 14-15 節
エベル	BC２４５１	BC１９８７	創 11 章 16-17 節
ペレグ	BC２４１８	BC２１７９	創 11 章 18-19 節
レウ	BC２３８７	BC２１４８	創 11 章 20-21 節
セルグ	BC２３５５	BC２１２５	創 11 章 22-23 節
ナホル	BC２３２５	BC２１７７	創 11 章 24-25 節
テラ	BC２２９６	BC２０９２	創 11 章 32 節, 使徒 7 章 4 節
アブラハム	BC２１６６	BC１９９１	創 25 章 7 節

初子の死について

出エジプト記１２章２９節に「真夜中になって、主はエジプトの地のすべての初子を、王座に着くパロの初子から、地下牢にいる捕虜の初子に至るまで、また、すべての家畜の初子をも打たれた。」とあります。古代エジプトには、この出来事の兆候が記録されているのでしょうか。エジプト人（おそらくはどんな古代帝国でも）は災害や、特に戦争での敗北を記録するのを行わなかったのです。こういった事は通常は、うまくごまかしたり、ときには勝利と書き換えてしまったりしたのでした。したがって１０の災害がエジプトの公式記録にないとしても、驚くには当たらないのです。しかし、歴史上の記録では、パロの初子の死を暗示していることがあります。出エジプトが行なわれたまさにその時（BC１４４６）、パロはイスラエル人に死を強要していました。彼の名はトゥトメス３世といいます。彼はエジプトを BC1500 年から 1447 年の間、強権をもって支配したのです。彼の息子アメンホテプⅡ世が BC1447 年から 1421 年まで王位についたと仮定したとします。そうするとその息子、トゥトメス４世はその後の BC1421 年から 1410 年までエジプトを支配したのです。

トゥトメス４世は、夢の中に現われたハルマキス神の言葉を記録した石柱（石碑）を持っていました。ハルマキス神は、トゥトメス４世を王にすると約束しました。その条件とは、スフィンクスに吹き寄せる砂漠の砂をすべて除去し、スフィンクスの前足の中にある礼拝堂の入り口をふさぎ、中に人々が礼拝に行けるようにするというものでした。ある者は、トゥトメス４世は、パロの本当の初子ではないのに、皆に王位継承者として正当であるとするために、この夢を見たことにしていると考えています。彼自身がパロの初子であれば、王位を要求する必要はないのですから。

トゥトメス３世

レッスン６　レビ記 (Leviticus)

　このレッスンの前半では、レビ記の２７章すべての内容を簡潔に調べていきます。次は神がモーゼに命じた、いけにえと祭について、より詳細に学んでいきます。レッスン中にレビ記の重要な箇所を読むことにしましょう。

（パートＡ）

この本の名称は

　旧約聖書３番目の巻はレビ記（Leviticus）と呼んでいます。この名称は、ヤコブの１２人の息子の一人であるレビから来ています。

　レビの子孫らは祭司を務め、イスラエルの子らの中でも礼拝の指導者的立場でした。レビ記には、レビの子孫であるレビ族がしなくてはならない務めが沢山語られています。それゆえ、この巻はレビ記と呼ばれてきたのです。ということは、この巻はレビ族の務めに関係しているということになります。

　しかし、このレビ記はレビ族だけのためにあるのではありません。神は旧約聖書の民すべてに律法を知らせ、守らせるように意図したのでした。モーセ５書のなかではしばしばレビ記の律法はイスラエルすべての人々に適うもので、レビ族だけのものではないという話が出てきます。

旧約の律法書

　前回のレッスンでは、神が旧約聖書のユダヤ人に授けた３種の律法について学びました。道徳、儀式、市民の律法です。レビ記においては儀式律法、つまりユダヤ人の信仰生活を規定した律法が主に記されています。レビ記は様々な種類のいけにえのささげ物や、遵守しなくてはならない祭礼についての事柄がじつに沢山でてきます。

　これらレビ記に見られる旧約聖書の儀式律法は、旧約時代のユダヤ人にのみ適用されることを私達は学びました。もはや新約聖書のクリスチャンたちには適用されないのに、どうしてこれらの律法を学ばなくてはならないのか、不思議に思う人もいるでしょう。現代において、なぜそれらを学ぶのでしょうか。それは、神の罪に対する姿勢を学ぶことになるのです。つまり、私たちが神の平安のうちにあるならば、罪は贖われるということを学ぶのです。さらに、レビ記のいけにえは、私たちを罪から解放してくださる、偉大ないけにえ、キリストのことを指しているということを学ぶわけです。また、レビ記を学ぶことによって、新約聖書をより深く理解できるようになります。とくにヘブル人への手紙がそうです。ヘブル書は、しばしばレビ記を引用したり、言及したりしています。レビ記が教えるものを知らなければ、ヘブル書を理解することは困難になると思います。

主な分割　レビ記は３つの部分に分割できます。

１．いけにえと祭司の心得についての律法（１章～１０章）

２．きよめにについての律法（１１章～１６章）

３．神聖についての律法（１７章～２７章）

第一分割

レビ記の１章から１０章まではいけにえについての律法と祭司の心得についての律法が記されています。また、これらの章中では、５つのささげものと祭司の心得がどのように規定されたかが書かれています。

第二分割

１１章から１６章は、きよめについての律法が記されています。ユダヤ人にとってのきよい食べ物と、不浄な食物について項目化されています。また、出産後のきよめ、皮膚病のきよめについてや、年に一度の贖いの日のきよめについて書かれています。

第三分割

１７章から２７章は様々な神聖についての律法が書かれています。例えば性的関係について、祭司の生活、さまざまな聖日や祭礼について記されており、同時にこれらの律法に背いた場合の罰則まで記されています。

レビ記のこの箇所を憶えましょう

レビ記１９：２
「あなたがたの神、主であるわたしが聖であるから、あなたがたも聖なる者とならなければならない。」

レビ記の出来事と章を憶えましょう。

様々な種類のささげもの	１章～７章
きよい食物と不浄な食物	１１章
贖いの日	１６章

質　問

１．ヤコブの息子のうち誰が、聖書の第３巻目の名前になっていますか。

２．レビ記の３分割をそれぞれ挙げて、それらの章も挙げてください。

３．レビ記は主に＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿律法について記されています。

４．レビ記の律法は、誰に適用するためのものでしたか。

５．現代の私達が、レビ記を学ばなくてはならない理由を３つは挙げてください。

６．レビ記１９章２節を、何も見ずに書いてください。

（パートＢ）

神より命じられたいけにえについて

第１章から第７章では、神が様々な種類のいけにえを捧げるように命じます。そこには５つの種類のささげ物について言及されています。その５種類のそれぞれは、神に対する罪へのなだめ（十分な代価）という基本的な考えなのです。

５種類のささげ物とは；

１．全焼のいけにえ（1:1-17 と 6:8 参照）

犠牲の動物の全体が焼かれる唯一のささげ物です。牛、羊、山羊、はとがいけにえとされます。動物は傷の無い牡牛でなくてはなりませんでした。これらは信仰と献身を表わしたものです。

２．穀物のささげもの（食物のささげものとも言われる）(2:1-16 と 6:14-23 参)

このささげものは、血によらない穀類、小麦粉、せんべいなどでした。それらの一部は焼かれ、また一部は祭司によって食されたのです。

３．和解のいけにえ　（3:1-17, 7:11-21 参）

牛や羊、やぎがささげられます。その場合は牡、牝どちらでも良いのです。一部は焼かれ、残りは祭司とささげた者とで食しました。このいけにえは神との連帯や平和的な親交を表わしたものです。

４．罪のためのいけにえ　（4:1-5:13, 6:24-30 参）

次のものがささげられました。雄牛、山羊、羊、はと、小麦粉です。このささげものは贖いの日といった特別なときに作られました。動物の一部は焼かれ、一部は祭司が食しました。この罪のためのいけにえは、神への贖いの関係修復を表わしています。

５．罪過のためのいけにえ（違反のいけにえともいう）(5:14-6:7, 7:1-10 参)

雄羊がささげられました。一部は焼かれ、一部は祭司が食しました。このいけにえは特定の罪過に対してささげられたものです。

旧約聖書のいけにえと異教徒のいけにえについて

いけにえをささげるという行為は、古代社会においては万国において行なわれていました。イスラエルのいけにえは、その近隣の異教徒と類似していました。しかし、忘れてはいけないのは、異教徒のそれとは重要な違いがあるのです。それらは、次のようなことです。

１．唯一まことの神がモーセを通じて旧約聖書のいけにえを命じました。異教徒たちは人間が作りだした神にささげものをしていました。

２．イスラエルのいけにえは、道徳心を強調しています。つまり聖なる生活です。異教徒らは、罪を犯した時に悔い改めと償いの必要性を強調しています。

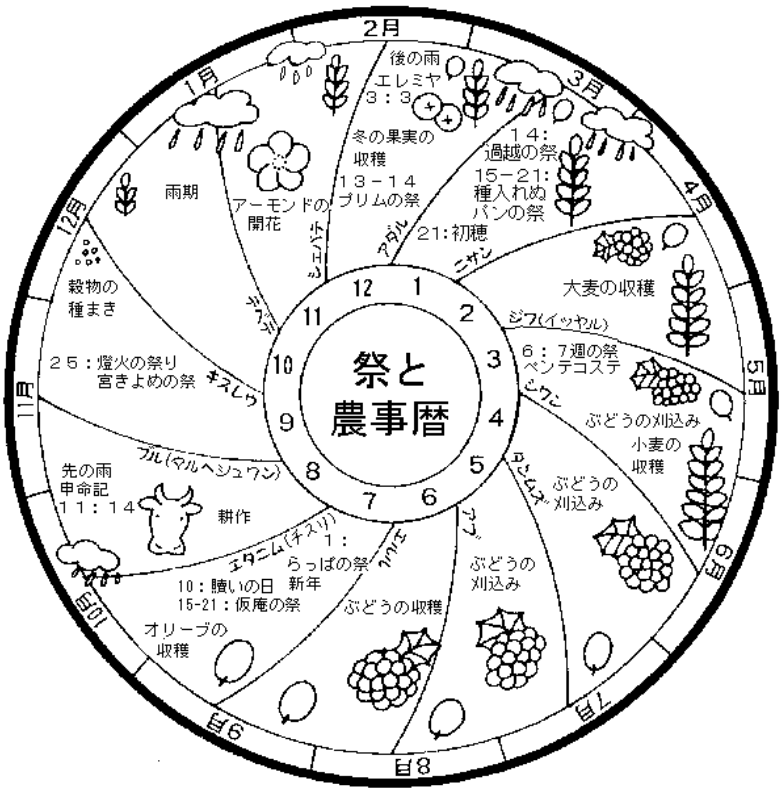
３．イスラエルのいけにえの制度には魔法や魔術、迷信などを提示しません。これらは異教徒のいけにえを行う時の特徴です。

４．イスラエルのささげものは神への敬虔と礼拝の気持ちの表れです。異教徒のいけにえはしばしば、売春、乱痴気騒ぎ、豊饒儀式などを含んでいました。むしろ狂乱の様相を呈していたのでした。（第１列王記１８：２７－２９）

５．異教徒が時として、人身御供をおこなっている一方で、イスラエルのいけにえは動物と無生物で行なわれました。

ユダヤ人の例祭について

16 章、23-24 章では神に命じられた、様々な例祭について記されています。以下は、それらを簡潔に説明したものです。



安息日（The SABBATH）　23:3 参照（出エジプト記 31:14-15、35:2）

安息日とはヘブル語で「休息」を意味します。毎週の第７日目（土曜日）が休息の日とされました。

過越の祭（The PASSOVER）23:4-5 参照

年に一度の過越祭は、イスラエルの子らに、エジプトでの捕虜から、どのようにして神が救い出してくれたかを忘れないために行います。ニサンの月第 14 日目に（ユダヤ暦の最　初の月、太陽暦の 3 月の終わりと 4 月の初めに対応）行なわれました。

種入れぬパンの祭　23:6-8 参照

この祭礼は過越の次の日からはじまり、７日間続きます。ユダヤ人はこの間、イーストなし（種無し）のパンを食べるのです。これもまた、出エジプトを記念するために行なわれました。

刈り入れの祭　23:9-22 参照

別名、七週の祭、収穫の祭、あるいはペンテコステ（五旬節）　過越の後、５０日が経って祝われました。ペンテコステとは５０日目という意味です。この日には初めて収穫した果物が、主なる神にささげられました。

ラッパの祭 23:23-25

これは第７月（チシリ、太陽暦の９月か１０月）の最初に日に祝われました。これはいわば、ユダヤ人の正月でこの日から新年が始まります。朝から晩まで角笛やラッパが吹き鳴らされました。またこの日は安息の日でもありました。

贖罪の日　16, 23:26-32 参照

チシリ（第７月）の１０日目に行なわれました。ユダヤの暦では最聖日とされていました。この日に限っては、祭司も至聖所に入りました。いけにえや、贖罪の山羊の儀式もこの日に行なわれました。

仮庵（かりいお）の祭　23:33-44 参照

この祭はチスリの月第 15 日からはじまり７日間続けられます。この期間中、ユダヤ人は、幕屋（天幕）で過ごしました。これは彼らの先祖が荒野をさまよい、天幕で暮らしたことを思い起こすためです。

安息の年　25:1-7 参照

安息の年とは休息の年ということです。７年ごとに土地を休ませました。なにも植えてはならなかったのです。食物を提供する土地であったとしてもです。

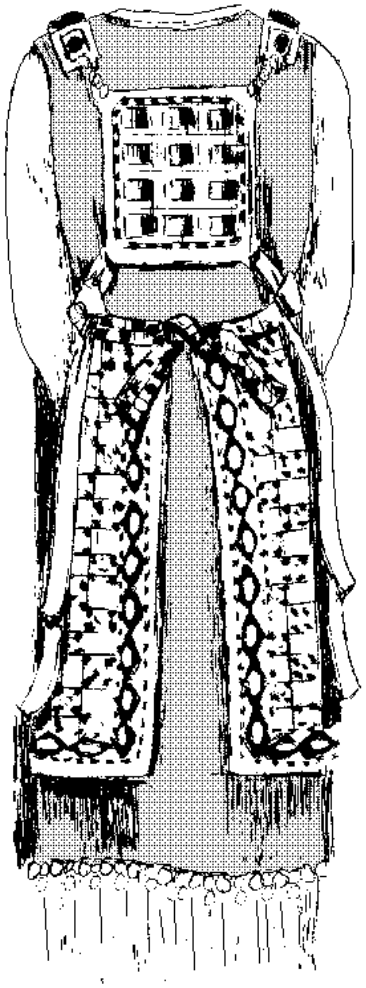
ヨベルの年　25:8-55

毎５０年目はヨベルの年と定められていました。この年の間は、土地は休ませ、召し使いは自由を得、すべての土地は元の所有者のもとに返されました。

憶えておきましょう

あがない　「あがなう」という動詞はヘブル語で「覆う」という意味です。この覆うというのは、「キリストの血が私たちの罪を覆う」ことを描写しており、神が私達に罪の罰を負わせることのないようにということなのです。イエスのあがないによって私達は神と和解することが出来ました。これによって、私達はもはや神の敵ではなく、神と共にあり平和を得ているのです。（ローマ 5:1）

大祭司の服



なだめ　この言葉は自分たちで罪を贖おう、という罪に対しての神の怒りを静めるという行為の名詞形です。七十人訳にこの言葉はしばしば契約の箱のふたと同じ意味で用いられています。それは「憐れみの座所」（贖いのふた）と訳されていました。大祭司は幕屋の至聖所に年に一度入り、人々の罪を贖うために雄牛の血を憐れみの座所にふりかけました。これは、神の王座と神の存在がイスラエルの人々にあることの象徴です。（第２サムエル記６：２、第１歴代誌１３：６、詩篇８０：１、９９：１）

契　約　二者間での合意を保証することです。契約にも２種類あります。**条件付契約**は両当事者の約束も含まれます。統治者あるいは支配者は、支配される者が何かをするのであれば、彼らに何かをするという約束をすることです。カナンの地の約束は、イスラエル人の居住地としたことは条件付き契約でした。彼らが神に従い、神との契約を守るならば、神の祝福を受けて、その地にとどまれるのです。もし彼らが神に反抗し、契約を破るならば彼らを敵の手に渡し、カナンの地を分断するという者です。（申命記 30:15-18）契約がなされた時には、その両当事者は契約の写しを受け取りました。神がモーセに２つの石板の律法を与えた時、神がモーセに石板の写しを与えたことは、契約の箱に入れられるためと考えられます。**無条件契約**とは一方が他方に無償で何かをするということです。ヘブル語で「契約を結ぼう」は「契約を切ろう」ということです。彼らは動物を２つに切り、条件付き契約の場合は、両者が半分に切った動物の真ん中に歩いていきます。また、彼らが誠実に約束を守れない時には、合意宣誓を終了するか、または動物を半分にしたようにするように神に願います。創世記１５章では、神はアブラハムに対して無条件契約を行っています。神のみが子孫らに残すための地をアブラハムに与えると約束されました。

いけにえ	人間が神に何かをささげること
道　徳	良い行ないと悪い行ないについてのこと
市　民	行政、統治に関したもの
安息（sabbath）	ヘブル語で休息の意味
ニサン（Nisan）	ユダヤ暦の最初の月。太陽暦の３月下旬から４月上旬に相当。
パン種	イースト
種いれぬパン	イーストを入れないパン、発酵させないパン
ペンテコステ（五旬節）	５０日目（過越後）、刈り入れの祭と同じです。
チシリ	ユダヤ暦で第７の月、太陽暦の９月下旬と１０月上旬に相当。
安息の年	土地を休ませる年
幕　屋	天幕、テント
贖罪の山羊	贖罪の日に人々の罪を取り去るための山羊

もう一度レッスンを復習して、何も見ずに質問に答えてください

１．レビ記１－７章で神が命じた５種類のささげ物とは何ですか。

２．_____のいけにえのみが動物の全体を焼くささげ物です。

３．その他のささげ物で小麦や動物の肉は_____によって食された。

４．これら５つのささげ物の基本的な考えは神に対する罪への_____です。

５．ささげ物の方法でユダヤが同時代のほかの国と違っている点を、少なくても３つ挙げなさい。

６．関連するものを線で結んで下さい。

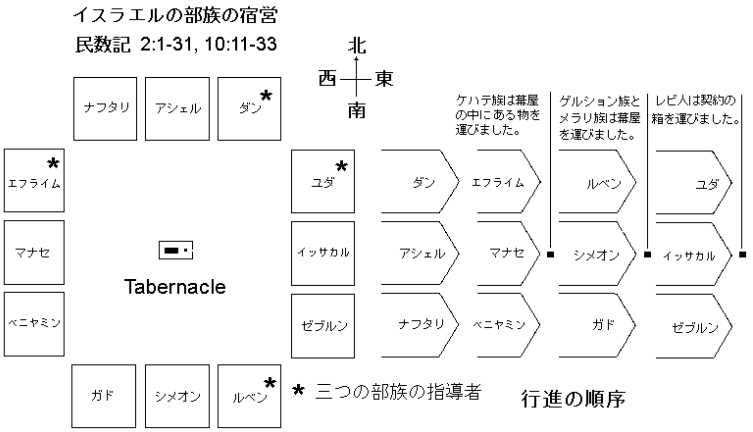
１．幕　屋	ニサンの月第１４日目
２．ニサン	休息の意
３．チスリ	イースト
４．安　息（sabbath）	行政、統治に関した
５．市　民	荒野の中で人の罪を取り去った
６．道　徳	５０年ごとの
７．あがない	土地の休息の年
８．パン種	ユダヤ暦第７の月
９．契　約	ペンテコステの別名
10．なだめ	５０日目の意味
11．ペンテコステ（五旬節）	天幕、テント
12．過　越	ユダヤ暦の第１月
13．種入れぬパンの祭	良いことや悪いことに関した
14．刈り入れの祭	贖いによって神の怒りを静める
15．ラッパの祭	罪への血の代価を「覆う」こと
16．贖罪の日	この祭中は幕屋で過ごす
17．贖罪の山羊	ユダヤの正月
18．仮庵の祭	ユダヤ暦で最も聖なる日
19．安息の年	過越の翌日からはじまる
20．ヨベルの年	二者間で合意を保証すること

レッスン７　民数記

Rev 1-14-2000

このレッスンを終えたら、民数記のアウトラインを憶えましょう。それに民数記の出来事も一般的知識として持つようにしましょう。主要な出来事の章をよく憶えましょう。本クラスでは、民数記の鍵となる部分を読んでいきますが、皆さんは家でしっかりと民数記を熟読してください。

民数記の一般的事実



この民数記というタイトルは「数える」あるいは第１章（４０年の放浪の始まり）と第２６章（４０年の放浪の終わり）に行なわれた人口調査から来ます。ユダヤ人はこの本を「ベミドゥバル」と呼んでいます。このことばはヘブル語版に出てくる最初の単語です。「ベミドゥバル」とは「荒野にて」という意味です。この名は民数記の出来事の舞台となったことから付けられました。イスラエル人たちはエジプトを出てカナンの地に入るまでの４０年間、荒野を放浪しました。また、民数記は「民の不平の書」とも呼べるでしょう。なぜならこの巻は、荒野をさまようユダヤ人の日常的な不平不満やぐちをこぼす話が出て来るからです。

民数記の主題は「神の軍勢が荒野を行進する」ということです。民数記は３６章あります。それは３８年間を描いたもので、シナイ山の宿営とカナンの地に入る前の宿営の間までです。本書も五書のうちの一冊ですので、モーセが人間の著者ということになります。モーセが記したこれらの出来事は、彼自身が直接経験したことです。

民数記の人口調査

部族の名前	第１人口調査	第２人口調査	増減	説明
ルベン	46,500	43,730	-2,770	
シメオン	59,300	22,200	-37,100	創世記 34:25, 49:5-7
ガド	45,650	40,500	-5,150	
ユダ	74,600	76,500	+1,900	
イッサカル	54,400	64,300	+9,900	
ゼブルン	57,400	60,500	+3,100	
エフライム	40,500	32,500	-8,000	ヨセフの次男はエフライムでした。
マナセ	32,200	52,700	+20,500	ヨセフの長男はマナセでした。
ベニヤミン	35,400	45,600	+10,200	ヨセフの後でヤコブはベニヤミンを好みました。
ダン	62,700	64,400	+1,700	
アシェル	41,500	53,400	+11,900	
ナフタリ	53,400	45,500	-8,000	
合計	603,550	601,730	-1830	

民数記の概略

パート１．シナイ山を離れる準備　　（１章－１０章）

パート２．シナイ山からモアブ平原までの旅　（１０章－２１章）

パート３．モアブ平原での出来事　　（２２章－３６章）

（１０章の前半は１に含まれ、１０章の後半は２に含まれています。）

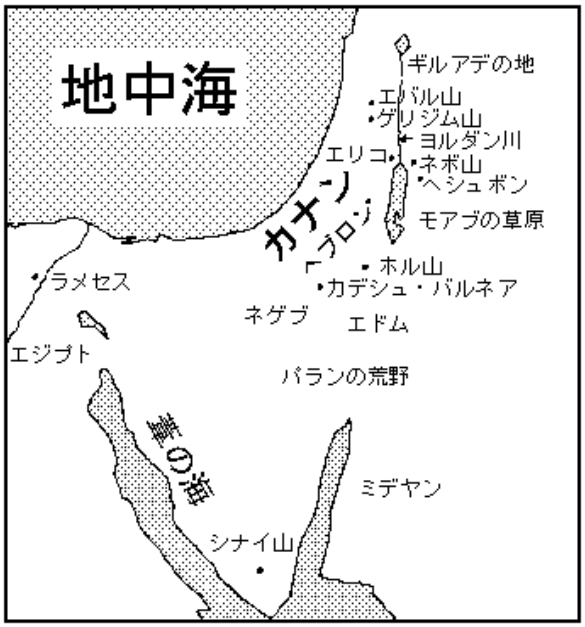
パート１　シナイ山を離れる準備（１－１０章）

第一章では、イスラエルの軍隊は２０歳以上の男子から構成されており、その数は 603,550 名にのぼった事が記されています。（１：４５）しかもそれぞれの部族ごとに登録されました。また、特別な任務につくレビ人については第３章と４章に書かれています。５－１０章では次のことが記されています。イスラエルの宿営地のけがれの除去、背信の妻の試み、ナジル人の律法（6:1-21, 士師記 13:1-5, 使徒 18:18,21:21-24）幕屋の献堂でのささげ物、それにシナイ山を離れるための準備などです。９章では再び過越の祭を守る命令が下されます。（あなた自身で、これらのことを聖書で確認しましょう。もし聖書の巻頭に各章の概要が載っているなら、それを利用しましょう。）

パート２　シナイ山からモアブ平原までの旅（１０－２１章）

このパートは実際には１０章の１１節から始まります。イスラエル人がシナイの砂漠を離れるところからです。１１章では、イスラエル人が神の恩を忘れたような不平不満をマナや「生活苦」に対してもらします。これらの不平に対して、神が疫病という裁きを下されます。１２章ではミリヤムとアロンがモーセに反抗する話が出て来ます。１３章では１２人の偵察隊がカナンの地を探りに行きます。１４章では再びイスラエルの民が不平を言い、反抗します。１５章－２１章までは次の通りです。特別なささげ物、安息日を破った者の死、反抗した３人の男の死、二度目の岩からの水、アロンの死、青銅の蛇の話が記されています。２１章では、イスラエル人がモアブ平原に到着する話が記されています。

（ヘブル 3:16-19, 4:2, 3:12-14）



パート３　モアブ平原での出来事（２２－３６章）

２２－３６章では、次のようなことが記されています。バラクとバラムという偽預言者の出来事、イスラエル人の偶像礼拝が２５章に、第２回目の人口調査が２６章に、ヨシュアがモーセの後継者に委任されたこと、ヨルダン川の東に土地を与えられたこと、イスラエル人の旅程リスト、それにカナンの地の取得と分割が記されています。

民数記に記された出来事と章を憶えましょう。

人口調査　　１章と２６章

カナン調査に１２人の偵察を送る　　１３章

アロンの死　　２０章

青銅の蛇のはなし　　２１章

これらの聖書の箇所を憶えましょう。

（アロンの祝福）「主があなたを祝福し、あなたを守られますように。主が御顔をあなたに照らし、あなたを恵まれますように。主が御顔をあなたに向け、あなたに平安を与えられますように。」（6:24－26）

「神は人間ではなく、偽りを言うことがない。人の子ではなく、悔いることがない。神は言われたことを、なさらないだろうか。約束されたことを、成し遂げられないだろうか。」（23:19）

「私は見る。しかし今ではない。私は見つめる。しかし間近ではない。ヤコブから一つの星が上り、イスラエルから一本の杖が起こり、　」（24:17）
（マタイ２：２、創世記４９：８－１０、エゼキエル書２１：２６－２７）

青銅の蛇とイエス

民数記の 21 章 4 節から 9 節にある青銅の蛇の箇所を読み、以下の質問に答えてください。

１．民は神とモーセに＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿。

２．罰として神は民に＿＿＿＿＿＿＿＿＿を送った。

３．蛇がイスラエル人にかみつき、イスラエルの多くの人は＿＿＿＿＿＿。

４．神はモーセに＿＿＿＿＿＿を作り、それを＿＿＿＿＿＿に付けるように命じた。

５．もし蛇が人をかんでも青銅の蛇を＿＿＿＿＿＿＿＿＿と、＿＿＿＿。

今度はヨハネ 3:14-16 章を読み、以下の質問に答えてください。

１．イエスはモーセが荒野で蛇を上げたように、＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿。

２．上げられるというのは、イエスは何を示唆したのでしょう。
（参照：ヨハネ 3:14、12:32-33）

＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿。

３．＿＿＿＿イエスを信じるものがひとりとして＿＿＿＿＿、＿＿＿＿＿＿を持っています。

４．民数記の人たちの不平は、すべての人の＿＿＿＿＿＿＿＿を描いているでしょう。

５．蛇にかまれた者の死は、すべての人が____の報いを受けるべきことを表わします。____から来る報酬は死ですので、私たちの罪の_____を支払うために、イエスは私たちの代わりに永遠の死の苦しみを経験しました。その時私たちの身代わりとして地獄の苦しみで「わが神、わが神、どうして私を見捨てましたか？」

６．青銅の蛇は_____を象徴しています。

７．蛇が上げられたように、イエスも_____につけられました。

８．民数記で人々が青銅の蛇を_____時、死ななかったように、今人々がイエスを_____なら、永遠の死から守られて、永遠の命を持っています。

注：人々が見たものを何でも偶像にしてしまうこの罪深い性癖は、のちにイスラエル人が青銅の蛇を拝むことによって見えます。２列王記１８：４にあるように「彼（ヒゼキヤ）は高き所を取り除き、石の柱を打ちこわし、アシェラ像を切り倒し、モーセの作った青銅の蛇を打ち砕いた。そのころまでイスラエル人は、これに香をたいていたからである。これはネフシュタンと呼ばれていた。」

このレッスンを復習し、次の質問に答えてください。

１．民数記の主題を書いてください。

２．民数記の３つのパートとそれぞれの章を書いてください。

パート１

パート２

パート３

３．なぜ民数記と呼ばれているのでしょうか？

４．なぜユダヤ人は本書を「ベミドゥバル」、あるいは「荒野にて」と呼んでいるのでしょう。

５．何章と何章で、イスラエルの人口調査が行なわれていますか。

６．以下の出来事は、何章にありますか。

カナン調査に１２人の偵察を送る

アロンの死

青銅の蛇

７．イエスが青銅の蛇について語られているのは、新約聖書のどの箇所でしょう。

８．民数記 6:24-26 のアロンの祝福を暗唱して書いてください。

レッスン８　申命記（Deuteronomy）

Rev 1-8-2000

申命記はモーセ五書の中で五番目、最後の巻です。このレッスンが終了し、問題も終えたなら、もう一度五書を復習しましょう。

> 聞きなさい。イスラエル。主は私たちの神。主はただひとりである。
> （申命記６：４）

申命記の史実

申命記（Deuteronomy）の名称はギリシャ語の「２度目」という言葉から来ています。申命記（２度目の律法）においては新しい律法書が与えられたわけではないのです。確かに神はモーセを通じて、授与した律法を復唱されています。ですから、むしろ「２度目の律法」よりは「２度目の律法の授与」としたほうが良いかと思います。

民数記の終わりでは、イスラエルの民たちはカナンに近いモアブ平原にいたのでした。そして４０年にわたる荒野の放浪を終えたのでした。モーセは神に選ばれた民の時代に終わりが来ることを知っていたのです。さらにモーセはカナンの地に入ることがかなわないことも知っていました。（民数記２０：１－１３、２７：１２－１４；申命記３：２３－２８、３２：４８－５２）申命記の中でモーセはイスラエルの民に、まるでおじいさんが自分の最愛の家族に話すように語っています。モーセは民に彼らの歴史とその歴史においての神の忠実さを思い出させたのでした。モーセは、神が民にお与えになった律法を繰り返し語っています。モーセは民に神の律法を堅く守るように諭しています。申命記の終わりでは、モーセの最後の働きと死が記されていますが、これらは別の人物が著わしたと思われます。

申命記の概略　（申命記は論理的に４つの部分に分けられます。）

パート１	モーセ第一の説教	（１章～４章）
パート２	モーセ第二の説教	（５章～26 章）
パート３	モーセ第三の説教	（27 章～30 章）
パート４	モーセの最後の働きと死	（31 章～34 章）

パート１　モーセ第一の説教（1-4）

このパートでは最初にイスラエルの民の 38 年にわたる歴史を、モーセが回想します。それはシナイ山をはなれ、モアブにたどり着くまでの歴史です。ここでモーセが 12 人の偵察を送り出したこと、民の反抗、砂漠の放浪、敵対する王からの勝利、占領した土地の分割を再び語ります。３章の終わりでは、モーセがカナンの地に密かに入り、山の頂からの情景を見る話が出て来ます。４章でモーセはイスラエルの民に、神に従うように熱心に命じています。

憶えておいていただきたいのは、これらモーセが語った過去を経験した若い世代のイスラエル人はいないということです。ですがそれらを回顧し、励みとする必要があるのです。それともう一点は、かつて神の恩恵を受けた人たちですら、すぐにそれらを忘れてしまったということです。ですから、彼らもその歴史を振りかえり、信仰を励みにする必要があったのです。私たちもイスラエル人の歴史から学ぶことが出来ますので、パウロは「昔書かれたものは、すべて私たちを教えるために書かれたのです。それは、聖書の与える忍耐と励ましによって、希望を持たせるためなのです。」と書きました。（ﾛｰﾏ１５：４）又第１コリント１０：１１を読んで下さい。

あなたは、あなたの神、主の聖なる民だからである。あなたの神、主は、地の面のすべての国々の民のうちから、あなたを選んでご自分の宝の民とされた。

（申命記７：６）

今、もしあなたがたが、まことにわたしの声に聞き従い、わたしの契約を守るなら、あなたがたはすべての国々の民の中にあって、わたしの宝となる。全世界はわたしのものであるから。あなたがたはわたしにとって祭司の王国、聖なる国民となる。」

（出エジプト記１９：５－６）

あなたがたは、選ばれた種族、王である祭司、聖なる国民、神の所有とされた民です。それは、あなたがたを、やみの中から、ご自分の驚くべき光の中に招いてくださった方のすばらしいみわざを、あなたがたが宣べ伝えるためなのです。

（第１ペテロ２：９）

パート２　モーセ第二の説教　(5-26)

このパートにおいてモーセはイスラエルの律法を繰り返しています。３つの律法、道徳、儀式、市民律法が繰り返し語られます。あなた自身でその内容を聖書で確かめましょう。

パート３　モーセ第三の説教（27-30）

このパートの四つの章はモーセの民に対する嘆願と、律法を守り信仰的になるようにとの励ましがあります。神への従順への祝福と、不従順へののろいとが同じように列挙されています。（申命 11:26-32、27:1-26、28:1-14 参）モーセは民に対し次のような明確な選択を突きつけたのです。それは生か死か、祝福かのろいかということでした。モーセはまた、将来はイスラエルが神のもとに戻され、その結果、神の裁きを受け、イスラエルの地を追放されることを予告しました。（申命記２９：１－２９、３１：１４－２２）しかし第 30 章では、もし民が悔い改めるなら、神は再び彼らを祝福し、先祖の土地を彼らに取り戻し、繁栄をもたらすことを予告しています。（申命記３０：１－１０）

※これら４章を自分の聖書で確めましょう。

パート４　モーセ最後の働きと彼の死（31-34）

31 章ではヨシュアがモーセの後継者に任命されます。３２章では、モーセが歌による教えを行います。その歌は、神への信仰、岩、民の堕落などが唄われています。彼らの悪行にもかかわらず、信義の神はそれでも神の契約の民に配慮してくださるという歌です。33 章では、モーセはイスラエルの各部族を祝福します。しかしシメオンは祝福を外されています。（創 34:25-31,49-5-7,出エジ 32:26-29 参）34 章では、モーセがネボ山の頂上からカナンの地を眺望した後、１２０歳の生涯を終えたことが記されています。彼が死んだ時、「彼の目はかすまず、気力を衰えていなかった。」とあります。（34:7）モーセは死にました。神が彼を呼んだからです。神の選ばれた民の歴史でのモーセの役割は完了したのです。そしてヨシュアが新しい指導者となったのです。

ついでモーセはヨシュアを呼び寄せ、イスラエルのすべての人々の目の前で、彼に言った。「強くあれ。雄々しくあれ。主がこの民の先祖たちに与えると誓われた地に、彼らとともにはいるのはあなたであり、それを彼らに受け継がせるのもあなたである。主ご自身があなたの先に進まれる。主があなたとともにおられる。主はあなたを見放さず、あなたを見捨てない。恐れてはならない。おののいてはならない。」

（申命記３１：７－８）

預言者の定義

預言者の定義を思い出して見てください。それはある者が誰かのメッセージを「先に起こることとして語る」ということです。例えば、モーセの兄のアロンが、モーセの言葉としてパロに語ったことです。(出エジ 4:13-16)　アロンはパロに対してのモーセの預言者だったのです。(出エジ 7:1-2)　神の預言者は神の言葉を語ります。それらは神の民イスラエルに対してのものでした。モーセは神がイスラエルにお与えになった最初の預言者です。このように、イエスもまた父なる神の預言者であるということが言えると思います！イエスは言いました。「**わたしは、自分から話したのではありません。わたしを遣わした父ご自身が、わたしが何を言い、何を話すべきかをお命じになりました。**」(ヨハ 12:49)　また「**わたしがあなたがたに言う言葉は、わたしが自分から話しているのではありません。わたしのうちにおられる父が、ご自分のわざをしておられるのです。**」(ヨハ 14:10)　イエスは明確に父なる神の言葉を預言しています。「大祭司の祈り」の中でイエスは、父なる神に次のように祈りました。「**それは、あなたがわたしに下さったみことばを、わたしが彼らに与えたからです。彼らはそれを受け入れ、わたしがあなたから出て来たことを確かに知り、また、あなたがわたしを遣わされたことを信じました。**」(ヨハ 17:8)

申命記の救世主についての預言

申命記 18 章 15 節では、キリストに関するの重要な預言が記されています。モーセはこのように述べています。「**あなたの神、主は、あなたのうちから、あなたの同胞の中から、私のようなひとりの預言者をあなたのために起こされる。彼に聞き従わなければならない。**」のちに人々はイエスのことを聞き、そして言いました。「**あの方は、確かにあの預言者なのだ。**」(ヨハ 7:40) イスラム教では、イエスがその時代の預言者であったことを認めてはいますが、神の子であるとは認めていません。これと同じくユダヤ人のあるもの達は、イエスを預言者として認識していました。しかし彼らはイエスが預言者というだけではなく、長い間待ち望んでいた救世主キリスト（メシヤ）であるとは考えていませんでした。ヘブル書の 1:1-3 には「**神は、むかし先祖たちに、預言者たちを通して、多くの部分に分け、また、いろいろな方法で語られましたが、この終わりの時には、御子によって、私たちに語られました。神は、御子を万物の相続者とし、また御子によって世界を造られました。御子は神の栄光の輝き、また神の本質の完全な現われであり、その力あるみことばによって万物を保っておられます。また、罪のきよめを成し遂げて、すぐれて高い所の大能者の右の座に着かれました。**」とあります。

※申命記 18 章 15 節を憶えましょう。

預言者へのこころみ

イスラエル人はどのようにして、誰かが話した言葉を神の言葉だと知ることが出来たのでしょうか。あるいは、どのようにしてその預言が本物か偽物かを知ることができたのでしょう。**ここに預言者の未来を語る能力を試みたくだりがあります。**モーセは申命記 18 章 21-22 で「**あなたがたが心の中で、[私たちは、主から言われたのではないことばを、どうして見分けることが出来ようか。] と言うような場合は、預言者が主の名によって語っても、そのことが起こらず、実現しないなら、それは主が語られたことばではない。その預言者が不遜にもそれを語ったのである。彼を恐れてはならない。**」聖書は繰り返し何度も、預言者が預言を行う方法に対して警告を与えています。神のみが未来をご存知だからです。(イザヤ書４４：６－７）ですから神にある預言者だけが、未来に起こることを正確に予言できるわけです。(イザヤ書４４：２４－２６）神はご自身だけが預言者イザヤを通して、未来を語れることをイザヤ書 44:6-8 で戒めを込めて語られています。「**イスラエルの王である主、これを贖う方、万軍の主はこう仰せられる。[わたしは初めであり、わたしは終わりである。わたしのほかに神はいない。わたしが永遠の民を起こしたときから、だれ**

が、わたしのように宣言して、これを告げることができたか。これをわたしの前で並べたててみよ。彼らに未来の事、来るべき事を告げさせてみよ。恐れるな、おののくな。わたしが、もう古くからあなたに聞かせ、告げてきたではないか。あなたがたはわたしの証人。わたしのほかに神があろうか。ほかに岩はない。わたしは知らない。」つまりこういう事なのです。預言者自身が神から遣わされた真の預言者であるという証明を得るために、未来を予言する能力をアピールしたのです。預言者ミカヤがアハブ王がもしアラム王との戦争に行くのならば、彼は死ぬであろうと預言しました。アハブ王はこう命じました。「この男を獄屋に入れ、私が無事に帰ってくるまで、わずかなパンと、わずかな水をあてがっておけ。」しかしミカヤはこう言いました。「**万が一、あなたが無事に戻ってこられることがあるなら、主は私によって語られなかったのです。**」そして、「**みなの人々よ。聞いておきなさい。**」と言った。」（１列王 22:28）

ある者が預言者かどうかの二番目の試みは、彼らが言っている事とか神の言葉が前もって啓示した事が一致しているかどうかという事です。預言者イザヤはこう言いました。「**おしえとあかしに尋ねなくてはならない。もし、このことばに従って語らなければ、その人には夜明けがない。**」イザヤの言わんとした事は、「預言者の言う事と、聖書に前もって啓示されている事を比べよ。もし神の言葉と一致しない場合は、それらは神から来ている言葉ではない。」同じように、使徒ヨハネもこう警告しています。「**愛する者たち。霊だからといって、みな信じてはいけません。それらの霊が神からのものかどうかを、試しなさい。なぜなら、にせ預言者がたくさん世に出て来たからです。**」（1 ヨハ 4:1）もしだれかが奇跡のしるしを行えたとしても、そのしるしの中に、あるいはそれ自体に、その者が神の預言者であるという証明はありません。申命記の 13 章 1－4 節で神は、イスラエルの民にモーセを通じて警告しています。民は預言者だと主張する者と神の言葉をくらべて見なくてはならない。もし彼らの言葉と神の言葉が相反するならば、彼ら預言者に従ってはならない、と。「**あなたがたのうちに預言者または夢見る者が現われ、あなたに何かのしるしや不思議を示し、あなたに告げたそのしるしと不思議が実現して、[さあ、あなたが知らなかったほかの神々に従い、これに仕えよう。]といっても、その預言者、夢見る者のことばに従ってはならない。あなたがたの神、主は、あなたがたが心を尽くし、精神を尽くして、ほんとうに、あなたがたの神、主を愛するかどうかを知るために、あなたがたを試みておられるからである。あなたがたの神、主に従って歩み、主を恐れなければならない。主の命令を守り、御声に聞き従い、主に仕え、主にすがらなければならない。**」（申命 13:1－4）

ある人物が預言者であるか、そうではないかは、私たちにとっては単に歴史上の興味深い断片に過ぎないとは言えないのです。それは現代の私たちにも非常に関係があるからです。サタンは自分の誤った教えを具現化するために奇跡を使い、人々を惑わしているということを、パウロが第２テサロニケ 2:9－12 のなかで預言しています。「**不法の人の到来は、サタンの働きによるのであって、あらゆる偽りの力、しるし、不思議がそれに伴い、また、滅びる人たちに対するあらゆる悪の欺きが行なわれます。なぜなら、彼らは救われるために真理への愛を受け入れなかったからです。それゆえ神は、彼らが偽りを信じるように、惑わす力を送り込まれます。それは、真理を信じないで、悪を喜んでいたすべての者が、さばかれるためです。**」

いったいなぜ、神は偽の預言者が奇跡を行うのを許しておられるのでしょうか。そのような事を神が許しておられるのは、私たちが偽りの教えを拒絶し、神のことばに忠実になる信仰心を訓練する機会をお与えになっているからです。それは私たちが信仰において成長するためなのです。（使徒１７：１１）神はまた神のことばを拒絶する人を許しておくのも、さばきのためなのです。

イエスの申命記の引用について

イエスはしばしば申命記を引用していました。イエスがマタイ４章で悪魔に誘惑された時も、３度も申命記からの引用で誘惑に答えています。悪魔に対するの答えが申命記 8:3, 6:16, 6:13 にあります。 マタイ 22:37 でイエスは申命記６章５節にある律法（ヘブル語：シェマ）の要約を引用しています。その他にもイエスは申命記から引用している例がたくさんあります。イエスがしばしば申命記を参照していたという事実からも、この申命記の重要性と偉大さが示されていると思います。

以下の質問に応えてください。

１．申命記（Deuteronomy)という名称は、＿＿＿＿＿＿語から来ており、それは

＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿という意味です。

２．申命記の大部分は新しい律法が記されている。　正　　誤　　どちらかに○

３．申命記の４つのパートの概略とその章数を書きなさい。

パート１
パート２
パート３
パート４

４．申命記１８章１５節のキリストに関する預言を、何も見ずに書いてください。

５．イエスはどのような時に、申命記から３つの節を引用しましたか。

６．聖書の個所を暗記するにはどのような価値があるでしょう？
（詩篇１１９：１１、ヤコブ４：７、エペソ６：１０－１８）

まことに、私が、きょう、あなたに命じるこの命令は、あなたにとってむずかしすぎるものではなく、遠くかけ離れたものでもない。これは天にあるのではないから、「だれが、私たちのために天に上り、それを取って来て、私たちに聞かせて行なわせようとするのか。」と言わなくてもよい。また、これは海のかなたにあるのではないから、「だれが、私たちのために海のかなたに渡り、それを取って来て、私たちに聞かせて行なわせようとするのか。」と言わなくてもよい。まことに、みことばは、あなたのごく身近にあり、あなたの口にあり、あなたの心にあって、あなたはこれを行なうことができる。見よ。私は、確かにきょう、あなたの前にいのちと幸い、死とわざわいを置く。私が、きょう、あなたに、あなたの神、主を愛し、主の道に歩み、主の命令とおきてと定めとを守るように命じるからである。確かに、あなたは生きて、その数はふえる。あなたの神、主は、あなたが、はいって行って、所有しようとしている地で、あなたを祝福される。しかし、もし、あなたが心をそむけて、聞き従わず、誘惑されて、ほかの神々を拝み、これに仕えるなら、今日、私は、あなたがたに宣言する。あなたがたは、必ず滅びうせる。あなたがたは、あなたが、ヨルダンを渡り、はいって行って、所有しようとしている地で、長く生きることはできない。私は、きょう、あなたがたに対して天と地とを、証人に立てる。私は、いのちと死、祝福とのろいを、あなたの前に置く。あなたはいのちを選びなさい。あなたもあなたの子孫も生き、あなたの神、主を愛し、御声に聞き従い、主にすがるためだ。確かに主はあなたのいのちであり、あなたは主が、あなたの先祖、アブラハム、イサク、ヤコブに与えると誓われた地で、長く生きて住む。（申命記３０：１１－２０）

レッスン９　ヨシュア記 (Joshua)

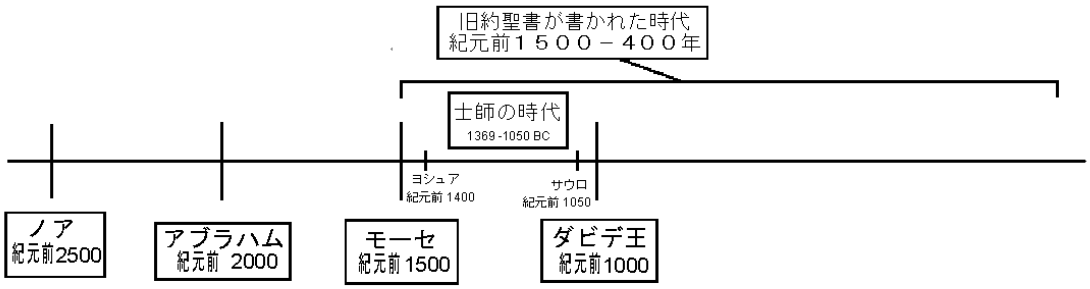
Rev 11-11-00

歴史の書

ついに旧約聖書の初めの五書の学びが終わりました。これから旧約聖書の大分類の２番目である１２の歴史書を学んで行きます。（レッスン１の旧約聖書の分類を参照）これら１２歴史書には、ヨシュア記、士師記、ルツ記、第１と第２サムエル記、第１と第２列王記、第１と第２歴代誌、エズラ記、ネヘミヤ記それにエステル記があります。これら１２歴史書をすべて学び終えると、神が選ばれた民の１千年にもわたる歴史を網羅する事になります。

基本年表

この年表を憶えておき、再現できるようにしておきます。そうする事により、旧約聖書の出来事や人物を覚えるのに役立ち、それらを適切なところに配置できるようになります。年代は憶えやすいように、端数は切り捨ててあります。およその年代にしてあるということです。



アブラハム	２，０００B.C.
モーセ	１，５００B.C.
出エジプト	１，４５０B.C.
ヨシュア記	１，４００B.C.
士師記	１，３５０B.C.
サウル	１，０５０B.C.
ダビデ	１，０００B.C.

ヨシュア記　一般的事実

このヨシュア記にはモーセの死から約束の地カナン侵攻までのイスラエル人の歴史が記されています。

この巻の著者が誰であるかは、知られていません。ですが著者である人物は、この巻に記されている出来事を目撃した者であると思われます。５章１節で著者は、イスラエル人がヨルダン川をわたる話を書いていますが、著者はあたかも一緒に川を渡る一員であるかのように書いています。著者は「私たちは渡り終えた。」（英語版聖書 We had crossed over.）この巻ではヨシュアが死ぬ話が出て来ますし、その後の出来事も記録されているから、ヨシュアがこの巻の著者ではなさそうです。

この巻がヨシュアの名を冠しているのは、この巻の中心人物がヨシュアであったからです。ヨシュアはエジプトに生まれ、出エジプトや荒野の放浪の時にモーセの片

腕といった存在になっていました。彼は軍の指揮官として、卓越した手腕を振るったのです。ヨシュアとカレブは、民数記で学んだように、カナンの地に送られた 12 人の偵察隊員でした。これら２人の者だけが４０年間の荒野の放浪ののち、約束の地に入ることを許されていたのでした。モーセの死後、その指導権はヨシュアに委譲されました。申命記 34:9 にこうあります。「ヌンの子ヨシュアは、知恵の霊に満たされていた。モーセが彼の上に、かつて、その手を置いたからである。イスラエル人は彼に聞き従い、主がモーセに命じられたとおりに行なった。」

ヨシュアという名前は「主は救いなり」という意味です。ヨシュアのギリシャ語読みは「イエス」(Jesus)です。したがって、ヨシュアとイエスは全く同一の名前なのです。最初にヘブル語で、そして次にギリシャ語でということです。

主はあなたとともにある

ヨシュアにとって、イスラエルの主導権を取ることは容易ではなかったことでしょう。特にヨシュアは預言者モーセの代理ができる者など、一人もいない事を良く知っていたからです。しかし神はヨシュアを励ましました。神は「自分の力を見てみなさい。さあ、お前なら出来るよ！」などとは言いませんでした。その代わりに神はヨシュアに、モーセを祝福し繁栄を与えたように、神はヨシュアと共にあり、彼の努力を祝福すると約束したのでした。神は言いました。「わたしはあなたに命じたではないか。強くあれ。雄雄しくあれ。恐れてはならない。おののいてはならない。あなたの神、主が、あなたの行く所どこにでも、あなたとともにあるからである。」（ヨシ 1:9） この偉大な主導の委譲を考えると、その使命は圧倒的(overwhelming)だと思いませんか？「全世界に出て行き、すべての造られた者に、福音を宣べ伝えなさい。」（マル 16:15） 「それゆえ、あなたがたは行って、あらゆる国の人々を弟子としなさい。そして、父、子、聖霊の御名によってバプテスマを授け、また、わたしがあなたがたに命じておいたすべてのことを守るように、彼らを教えなさい。（マタ 28:19-20 前）
しかしイエスは、ヨシュアになさったように安心させてくださいました。
「わたしはあなたとともにある」と、マタイ書の 28 章 20 節の終わりでキリストはこう語られています。「見よ。わたしは、世の終わりまで、いつも、あなたがたとともにいます。」ですからパウロについても同じことが言えます。「私は、私を強くしてくださる方によって、どんなことでもできるのです。（ピリ 4:13） パウロは別の箇所でも語っています。「神が私たちの味方であるなら、だれが私たちに敵対できるでしょう。」（ロマ 8:31） 神とともにある私たちには、失敗はないのです！

ヨシュア１章９節を憶えましょう。

ヨシュア記の目的

ヨシュア記の目的は、神がアブラハムにした約束に、間違いなく忠実である事を示すためです。神はカナンの地をアブラハムとその子孫たちに与えると約束されました。（創 12:1-3, 創 13:15、15:7-21 参照） この土地が与えられるということは、約束の地のアブラハムの子孫から救い主が来るということに他ならないのです。ヨシュア記においては、神がご自身の約束を守るということに終始しています。アブラハムの子孫に約束の地が与えられたのは、神の選んだ指導者ヨシュアによる征服を通じてのことでした。
そして 1400 年後、その地に救い主が生まれるのです。

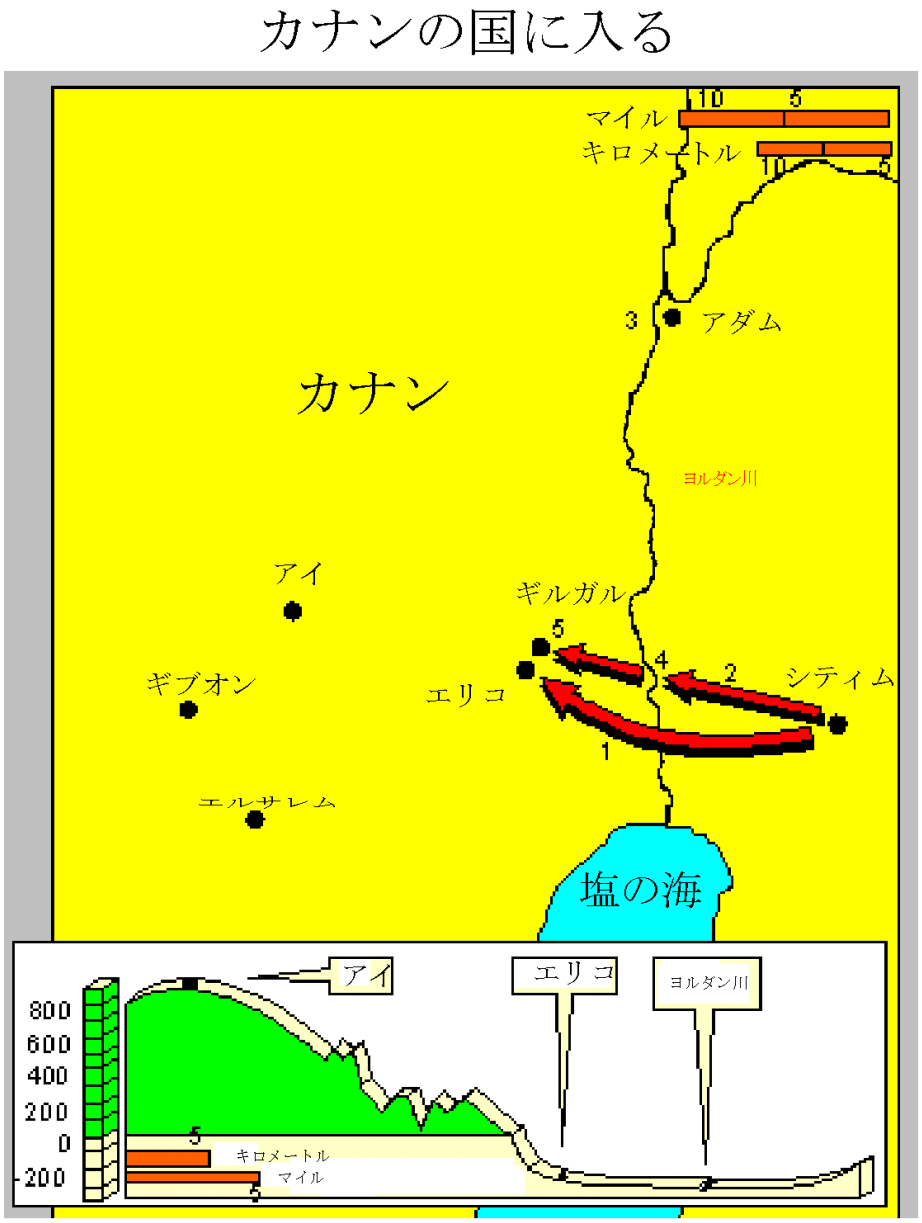
ヨシュア記の主題と概要

この巻の主題は、ヨシュアのもとでイスラエルが約束の地を征服する事です。本書は２つの部分に分けられます。

パート１．土地の征服　　（１－１２）

パート２．土地の分割　　（１３－２４）

<u>パート１の概説</u>　　土地の征服（１－１２）



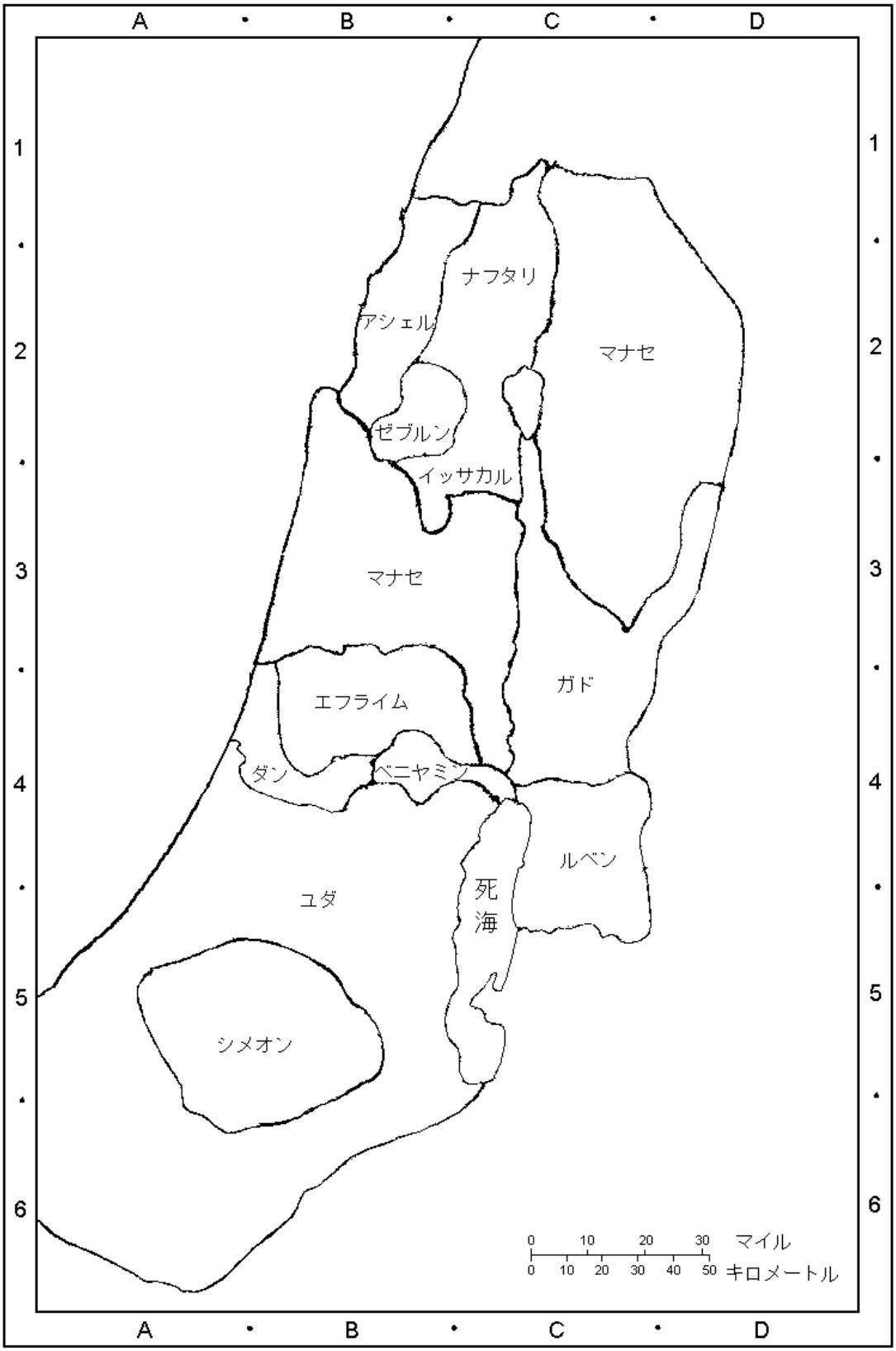
第１章で神はヨシュアに強くあれと励まし、約束の地を征服するというヨシュアの任務を勇気づけます。第２章はエリコの街にどのように偵察を送り込んだか、またラハブという女性の家にかくまわれたことが記されています。第３章では、ヨルダン川を渡る時の奇跡が記されています。それは乾いた川を渡る事ができたということです。第４章はギルガルに建立された記念の石に関した事が記されています。これは神がイスラエルたちをヨルダン川を渡すために、川をせきとめたことを思い出すために建てたものです。５章ではすべてのイスラエルの男に割礼をする話です。４０年にもわたる放浪で、彼らは割礼を受けてなかったからです。６章ではイスラエル人によるエリコの街の壊滅が記されています。

７章ではアカンの罪に関して書かれています。アカンはエリコからのある戦利品を隠していたのです。主はこういう行為を厳しく禁止されていました。それでアカンはその不服従のゆえに石で打ち殺されたのです。８章では都市アイの征服のこと、それとエバル山で契約が新たになされたのです。イスラエル人たちはゲリジム山とエバル山で神が申命記２７章で命じられた事を実行しました。９章ではギブオン人が策略を用いて、イスラエルがギブオンを破壊しないようにした事が記されています。10 章は、アモリ人との戦いの時、太陽が天空にとどまるという奇跡が記されています。また、イスラエル人による南部の都市の征服も記されています。12 章ではイスラエル人に撃ち破られた３１人の王のリストが挙げられています。

※あなたの先生と一緒に各章を聖書で確めてください。また地図を参照して各章に出て来る都市の位置を確かめましょう。

パート２の概説　　土地の分割（１３－２４）

13 章から 22 章では、イスラエルの各部族がどのようにして土地を分割したかが記されています。ここでもう一度、あなたの先生と各章を確認して見ましょう。このページの地図を見て下さい。各部族が分割した地域を探して見てください。そうすればイスラエルの各部族の位置について熟知できるでしょう。また地図に各部族の正しい位置を書く事ができるようになるはずです。



23 章から 24 章ではヨシュアの最後の演説がイスラエルの指導者たちにされた事、シェケムで契約が更新された事、１１０歳でヨシュアが死ぬことが記されています。

ヨシュア記の以下の出来事の章を憶えましょう。

ヨルダン川を渡る	３
エリコの陥落	６
沈まない太陽	10
敗北した王たちのリスト	12

レッスンを習得したら以下の質問に答えてください。

１．ヨシュア記は１２の＿＿＿＿＿のひとつです。

２．１２の歴史書の名前を書いてください。

３．レッスンでおぼえた年代を、以下の人物と出来事に当てはめましょう。

アブラハム

モーセ

出エジプト

ヨシュア

４．ヨシュア記の著者は誰ですか。

５．放浪の後、約束の地に入ることが許されたのは二人の男だけですか。

６．ヨシュアという名は＿＿＿＿＿を意味し、新約聖書でこの名前は＿＿＿＿＿＿＿です。

７．ヨシュア記の主題と２つのパートを挙げ、それぞれの章を挙げてください。

８．テキストを見ないで、以下の出来事に章を付けてください。

ヨルダン川を渡る

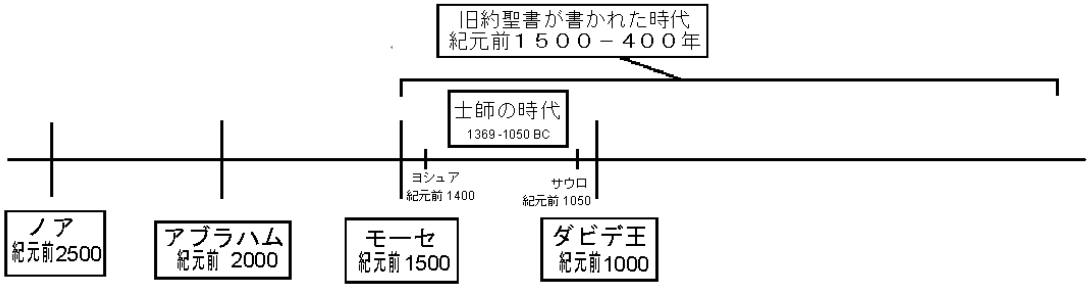
エリコの陥落

沈まない太陽

敗北した王たちのリスト

レッスン１０　士師記とルツ記 (Judges ＆ Ruth)

このレッスンではさらに２つの歴史書を学びます。士師記とルツ記です。これら両方は同じ時代のことがらについて書かれています。すなわち士師の時代です。



（パートＡ：士師記）

士師記の概要

士師記という名前は、神がイスラエルを守るために遣わされた軍事的指導者から取られました。彼らは士師（さばきつかさ）と呼ばれました。しかし私たちが今日使っている Judges（士師記の英語読みで判事のこと）とは用法が違っていました。しかしながら彼らは法律的な助言もいくらかは行なっていたようです。彼らは主として、敵国から自国、部族を守るための支配者だったのです。彼らはヨシュアとイス　ラエルの最初の王の時代の間には、地方や国家の指導者となっていたのです。いつ士師がそれぞれ支配したか不明であることは、士師の時代にイスラエルでの一般的な無秩序な状態を反映します。（ある者は、複数地域を同時に支配していた）本書の終わりには、年代を総計するのにふさわしい記述があります。「そのころ、イスラエルには王がなく、めいめいが自分の目に正しいと見えることを行なっていた。」（士師 21:25）

士師記を誰が著したかは、詳しくは解りません。士師記自体には著者について書かれている箇所はないからです。ユダヤの言い伝えでは預言者サムエルが著したことになっていますが、本当のことは分かりません。

士師記の目的

士師記には三重の目的があると言えます。１）第一にヨシュアから君主制（王による統治）までのイスラエルの歴史を埋めるため。２）二番目には王を頂点とした強い政府に、民衆は指導を必要としていたことを示すため。３）三番目には、神の選ばれた民のモラルがいかに低下して行ったかを示し、同時に神の恵みを示すためでもあります。

上記の三番目の目的が、士師記の主たる目的です。聖書ハンドブックを参考にしてみましょう。

> 「士師記の人間模様は、憂鬱（ゆううつ）なものです。その国は単調で、繰り返しの歴史をたどりました。砂漠のイスラエルの神に対しての異教徒の神々。それゆえ、神は異教徒の神々をカナン人の手により苦しめることを許された

のです。イスラエル人は神に助けを泣いて頼みました。神は救助者（士師）をお遣わしになりました。士師たちの死までは、すべては順調でした。その後は、かつての不信仰、不義がはびこり出したのです。それらのことにかかわらず、神は変わらぬ愛を民に示したのです。かつてのイスラエルの民の不信仰にもかかわらず、神は何が起きるのかご存知でした。やがてイスラエルは神に戻るであろうと、神は言われたのです。」（アードマンの聖書ハンドブックより）

士師記の主題とあらすじ

主題は士師の下におかれたイスラエル人ということです。

１．士師の必要性　　（１－２）
２．士師のはたらき　　（３－１６）
３．２つの付録　　（１７－２１）

イスラエルの１２士師

１．オテニエル（3:7-11）　ユダの部族出身です。イスラエルを８年間抑圧していたクシャン・リシュアタイム王を打ち負かしました。
オテニエルは士師としてイスラエルに４０年仕えました。

２．エフデ　（3:12-30）　ベニヤミン族出身で、モアブの初代王のエグロンを打ち負かしました。エグロンはイスラエルを 18 年間抑圧していました。エフデの指導の結果、イスラエルは 80 年もの間、平和を得ることができました。

３．シャムガル（3:31）　ペリシテ人に対して戦いました。

４．デボラとバラク（4-5）　デボラはエフライム出身の女性の士師で司法的な事を行ないました。彼女の歌は５章に記されています。
バラクはナフタリ族の出で、軍事的指導者でした。彼らはヤビン王と将軍シセラを撃ち破りました。バラクは神が望まれた指導者の地位に就きませんでしたので一人の女の手により、ハツォル王ヤビンを撃ち破りました。ヤビンはイスラエルを２０年間抑圧していました。ヤビンに対する勝利の後、イスラエルは４０年間平和でした。

５．ギデオン　（６-８）　マナセのギデオンはミデヤン人とアマレク人に勝利しました。ミデヤン人はイスラエルを７年間抑圧しましたが、その敗北の後４０年はイスラエルの国土は保たれました。

（アビメレクについては９章に出て来ますが、士師ではなく、犯罪者と見られています。）

６．ト　ラ　（10:1-２）　イッサカル族出身の士師です。２３年間イスラエルをさばきました。

７．ヤイル　（10:3-5）　ヤイルはギルアデ人の士師です。２２年間イスラエルをさばきました。

８．エフタ　　（10:6-12:7）　ギルアデ人エフタはイスラエルを１８年抑圧したアモン人を撃ち破りました。エフタは６年間イスラエルを指導しました。

９．イブツァン（12:8-10）　イブツァンはベツレヘム出身です。イスラエルを７年間率いました。

10．エロン　　（12:11-12）　この士師はゼブルン出身です。彼はイスラエルを１年間さばきました。

11．アブドン　（12:13-15）　エフライム出身の士師です。８年間イスラエルを率いました。

12．サムソン　（13-16）　ダン族出身の有名な士師で、ペリシテ人と戦いました。ペリシテは４０年間イスラエルを抑圧しました。彼は２０年間イスラエルをさばきました。

これらの章を、実際に聖書の士師記で調べて見ましょう。ギデオンやサムソンのことは知っているにしても、士師たちの幾人かのことしか知らないことに気付くでしょう。

士師記の以下のことがらの章を憶えましょう。

ギデオンに関する章　　６－８

サムソンに関する章　　１３－１６

士師記の年代記について

聖書の中には、「士師の時代は全部で３１９年であった」とはっきりとは書かれてはいません。実際の所、イスラエルのこの時代の歴史を見てみると、当時の主権の混乱状態が、年代記の欠落に直接影響を及ぼしているという証拠があります。ここに「そのころ、イスラエルには王がなく、めいめいが自分の目に正しいと見えることを行なっていた。」という箇所があります。これらの混乱期もうまく数え上げられているのです。さらには、士師の時代がどのくらい続いたかが解るかのような、率直さを欠いた記述にもかかわらず、ほぼ正確に士師の時代がどのくらい続いたかが決定できるのです。出エジプトがあったのは紀元前１４４６年ということはすでに学びました。それにソロモン王の治世４年目がイスラエルの出エジプト４８０年記念ということが、列王記第一の６章１節に記されています。

それではソロモン王の治世４年目（紀元前９６６）から逆算してみましょう。

ソロモン王　４年

ダビデ王　　４０年

サウル王　　４０年（使徒１３：２１）

合計８４年になります。

このことから、士師の時代がソロモン王治世の４年目のおよそ６４年前で終了したことが分かります。次に出エジプトから士師の時代の始まりを逆算します。

出エジプト　紀元前１４４６年
放浪　　４０年間
征服　　７年間
ヨシュアの統治　　２０年間

族長らによる統治　　１０年間？

合計して出エジプトから士師の始まりまで７７年かかっています。

士師の時代の始まりと終わりを合計し、列王記第一６：１に記されているソロモン王の統治４年目の出エジプトから４８０年目を引き算します。そうすることで士師の時代のおよその年代にたどり着けるのです。

実際に計算すると：

士師の終わり　　８４年
＋士師が登場する前　　７７年　　＝両者の計は１６１年になります。

それで４８０－１６１＝３１９年　これが士師たちの統治した年数です。

それゆえ士師の時代はおよそ紀元前１３６９－１０５０となるのです。

（パートＢ　ルツ記）

ルツ記の概要

ルツ記はたった４章からなる巻です。このルツ記の名は、本巻の主人公モアブの女ルツの名前から取っています。誰がルツ記を著わしたのかは定かではありません。道徳の腐敗と日常的な戦争が記された士師記とは反対に、ルツ記は愛と信仰の美しい物語です。ルツの話は士師がイスラエルを統治する終わりの頃のことです。ちょうどサムエルの時代の前のことです。

ルツ記の目的

少なくとも３つの目的がルツ記にはあると考えられます。１）第一は、モアブ人のルツからダビデの家系をたどるためです。（ルツはダビデ王の曾祖母です。）２）第二の目的はルツという人物の信仰と、利己的ではない生き方を私たちに示すためです。３）３番目の目的は、まことの宗教はすべての国の人々のものであるということを示すためです。（例えばモアブ人。ルツは非ユダヤ人の信者でした。）

ルツ記のあらすじ

１．ルツがベツレヘムに来る　１

２．ルツがボアズに出会う　　２

３．ルツがボアズへ懇願する　３

４．ルツとボアズの結婚　　４

士師記とルツ記について、質問に答えてください。

１．士師のおもな任務とは何ですか。＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

２．士師記の主な目的を挙げてください。

＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

３．士師記の主題と３つの部分のあらすじを章とともに書いてください。

４．イスラエルの１２士師を書いてください。

５．士師のうちもっとも知られている者を２人挙げてください。

６．ギデオンに関する章は＿＿＿＿で、サムソンに関する章は＿＿＿＿ です。

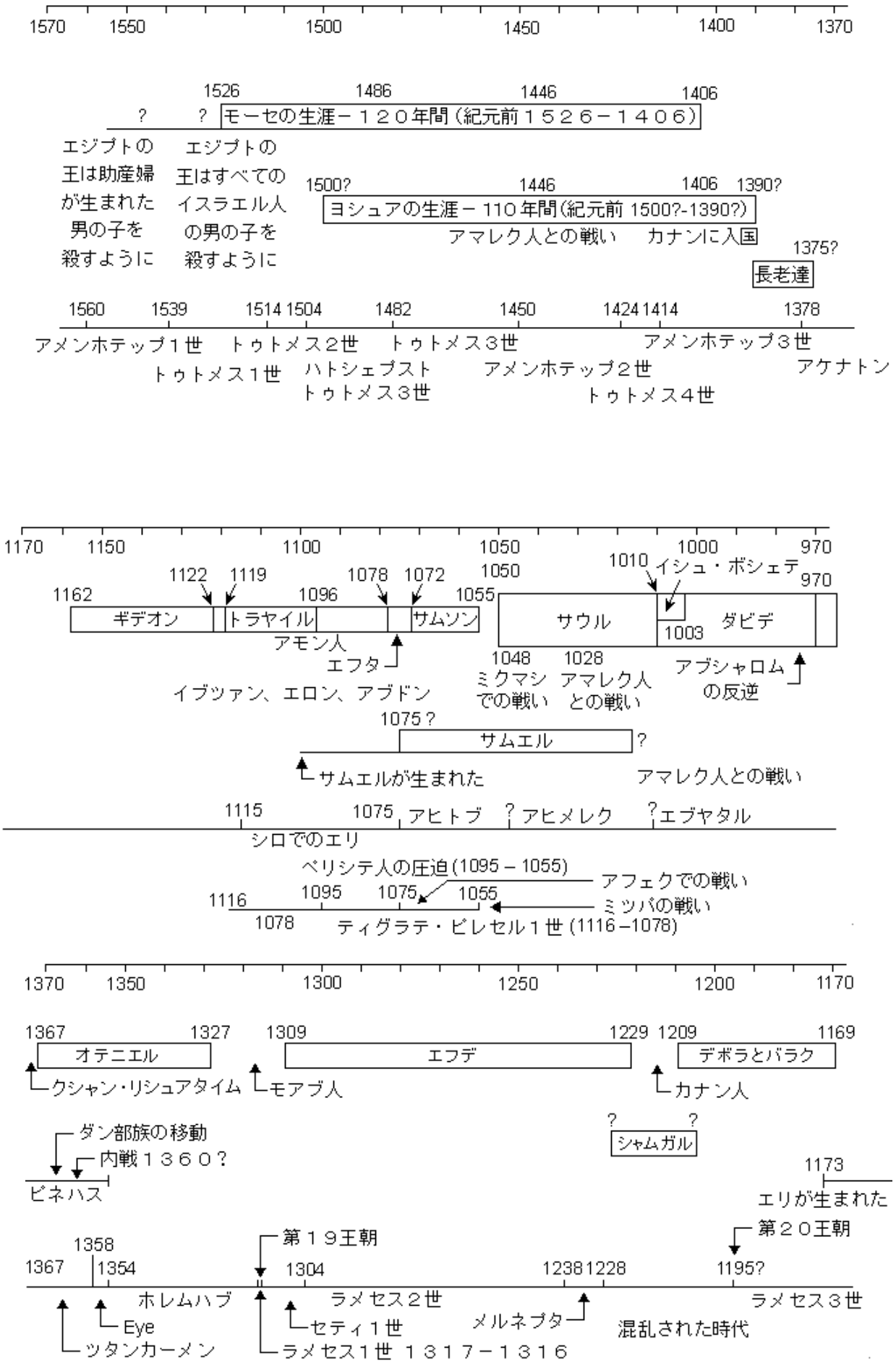
７．ルツ記の話があったのはいつのことですか。

８．ルツは非ユダヤ人でしたが、どの国の出身でしょう。

９．神様が私たちのためにルツ記に託した３つの目的は何ですか。

10．ルツ記の４つの部分のあらすじを書いてください。

モーセからダビデまで、イスラエルの士師たちの年表



レッスン１１　第一・第二サムエル記 (1&2 Samuel)

サムエル記の概要

聖書の中でサムエル記と呼ばれる巻は、２つの部分に分けられています。第一サムエル記は３１章あり、第二サムエル記は２４章から成っています。サムエル記は本来は一冊の書物でした。２つに分けられたのは、ヘブル語聖書がギリシャ語に訳されたときです。（七十人訳聖書が作られた時）

士師記と同様に、サムエル記の著者は不明です。ユダヤの言い伝えではサムエルがこれらを記したということになっています。しかし、これはほとんどあり得ないことだと思います。何故なら、サムエルの死が記録されており、またさまざまな出来事が、サムエルの死後も記録されているからです。サムエル記はイスラエルとユダに分裂したときまでには完成していなかったようです。つまり、その完成はダビデのあとということになります。サムエル記はおそらくはユダ王朝の預言者が、ダビデ王朝の始まり直後に神の霊感を受けて書かれたものだと言えると思います。

サムエル記はおよそ１００年にわたるイスラエルの歴史を網羅しています。ということは、士師の時代の終わりからダビデ最後の年までを網羅しているということです。
サムエル記の目的は、イスラエルの君主政治の確立と関係しており、サムエルのことはそれらの一部なのです。

これらの書物がサムエルの名を取ったのは、彼が著者だからということではないのです。しかし彼は初めの頃の章の主要人物であり、神に命じられ、最初の２人の王に油注ぎをした人物です。サムエル記のなかでサムエルは、士師（１サム 7:15）とも預言者（１サム 3:20）とも呼ばれています。ですからサムエルは必然的に士師の時代から王や預言者の時代と関係があるのです。

サムエル記のあらすじ

サムエル記両方の 55 章とたくさんの出来事を簡潔にまとめてみました。

１．士師としてのサムエル　　（１サムエル　１－１２）

２．サウル王の治世　　（１サムエル　１３－３１）

３．ダビデ王の治世　　（２サムエル　１－２４）

サムエル記の解説

サムエル記第一は子のない女ハンナの苦悩ではじまります。ハンナの主に対する祈りの答えは、息子サムエルを与えられたことでした。サムエルは幼少期をシロという所で過ごしました。そこは祭司エリのもとでサムエルが主に仕えた幕屋のある場所でした。シロで神はサムエルをお選びになり、神の預言者、そして民をさばくようにされたのです。
神はご自身で直接イスラエルの民の王として統治したのでした。（神政国家）申命記には、神はイスラエルが地上の王を立てる準備の時を与えておられます。（申命 17:14－20）しかしこのことは神のタイミングで起こり、そしてイスラエルを祝福することでもあったのでした。しかしながら人々は、敵から自分たちを守ってくださる神を信頼しないで、神の統治を拒絶し、（１サム 8:7、10:19、12:12）王に自分たちの周りの「他のすべての国民のように」、戦いに導いてくれるように要求したのです。（１サム 12:12, 8:19-20）人々が王を要求したとき、

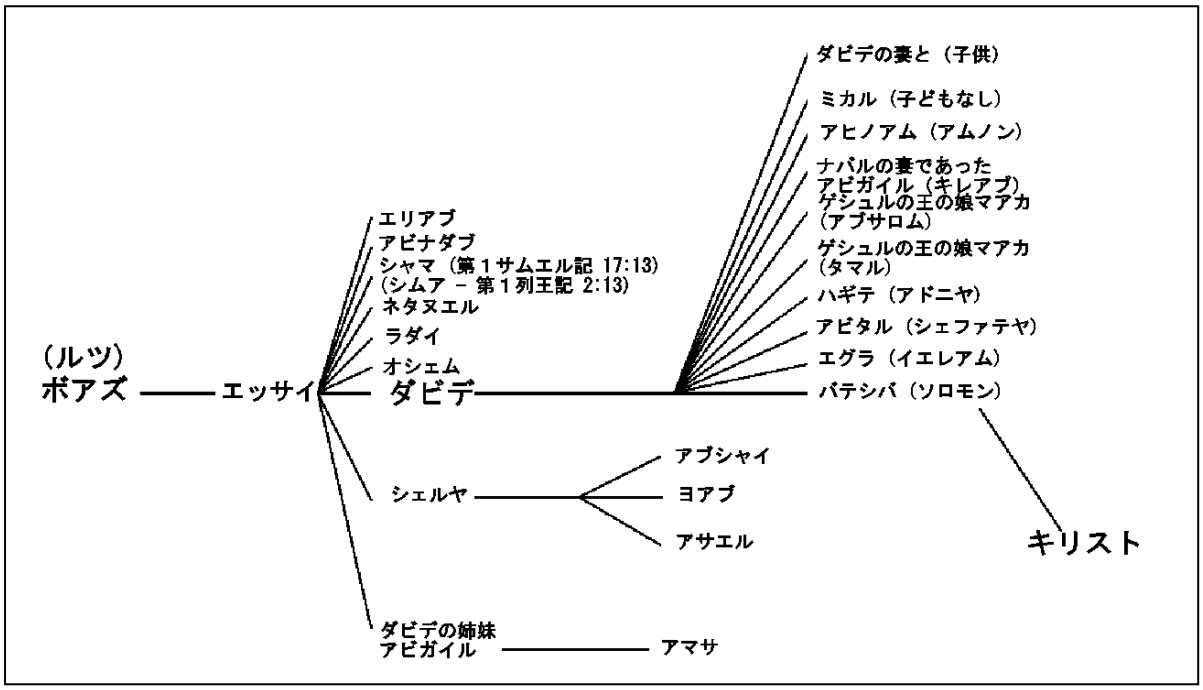
神はサムエルに彼らの要求を与えるように命じました。（1サム 8:1-9）見目にもうるわしいサウルという男が（1サム 9:2、10:23-24）サムエルのところに連れてこられました。そしてサムエルは、サウルをイスラエルの最初の王として油注ぎをしたのです。サウルの治世の最初の頃は感銘的なものでしたが、サウルが神に助けを求めるのではなく、自分の力に頼ることの繰り返しが見受けられます。この「功になる義」（自分の努力と良い行いに頼る態度）は、サウルをやがては完全に神から顔を背け、信仰を失ってしまうことに導きました。サムエルはサウルの「功になる義」に対し、鋭い批難の指摘をしています。「主は主の御声に聞き従うことほどに、全焼のいけにえやその他のいけにえを喜ばれるだろうか。」聞き従うことは、いけにえにまさり、・・・あなたが主のことばを退けたので、主もあなたから王位から退けた。」（1サム 15:22-23、マタ 9:13）　真の神への服従とは、私たちのすべての罪を赦され、私たちが受けるには過分の神の愛を信頼する心からのみ起こるものなのです。

ダビデはサウルから逃れることになります。ギルボア山でペリシテ人がサウルとその息子たちを打ち負かすまでは、ダビデはサウルの怒りから逃れることはありませんでした。サウルは戦いの最中に悩んだ末、故意に自分の剣の上に倒れて死にました。

サムエル記第二では、亡き王サウルと親友ヨナタンの哀悼で始まります。ダビデがヘブロンにあるユダ王朝を最初に７年半支配しました。そしてダビデの都であるエルサレムですべての部族の王となったのです。神の祝福のもと、ダビデは強力な王国を築きます。神の手による強力な君主王朝を築くために、神は牧草地の中の一人の少年を起こされたのです。２サムエル 5:12 に「**ダビデは、主が彼をイスラエルの王として堅く立て、ご自分の民イスラエルのために、彼の王国を盛んにされたのを知った。**」とあります。神はまたダビデに対して特別な救世主の約束をしておられます。２サムエル７:12-13 を読んで見て下さい。救い主がダビデの家系から出るであろう事が書かれています。ですからイエスは「ダビデの息子」と呼ばれるのです。

ダビデの「暗黒の時」、彼は誘惑に打ち負かされてしまいました。彼はバテ・シェバと姦淫を犯し、さらに密かに彼女の夫を殺害してしまいました。このことは彼を苦悩へと導きました。神の恵みによってダビデは預言者ナタンを通じて、悔い改めへと導かれます。問題は再びダビデを襲います。彼の息子アブシャロムが反乱を起こしたのです。アブシャロムの死によって反乱は終息したものの、ふたたびダビデの暮らしは深い悲しみにおおわれます。２サムエルはダビデとペリシテ人との戦いの記録、ダビデの主に対する賛美、ダビデの勇士たちの記録で終わります。

（先生と一緒にサムエル記２巻の各部分を調べてみましょう。）



サムエル記の有名な出来事の章を憶えましょう。

サムエル記第１

主がサムエルを召命する	３
サムエルがサウルに油注ぎをする	９
サムエルがダビデに油注ぎをする	１６
ダビデとゴリヤテ	１７
サウルの自害	３１

サムエル記第２

ダビデのエルサレム侵攻	５
ダビデとバテ・シェバ	１１
ナタンがダビデを非難する	１２
アブシャロムの陰謀	１５

テキストを参考にすることなく、以下の質問に答えなさい。（初めにレッスンを良く学びましょう。）

１．サムエル記はもともとは何冊から構成されていたでしょう。

２．サムエル記の著者は誰ですか。

３．サムエル記でイスラエルの歴史を網羅しているのはいつの時代ですか。

４．なぜ本書はサムエルの名前がつけられているのですか。

５．サムエル記第一と第二の３つの部分のあらすじを書いてください。

６．サムエルの母親は＿＿＿＿＿＿＿＿です。

７．サムエルの少年時代は＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿。

８．イスラエルの最初の王は＿＿＿＿＿＿＿＿です。

９．ダビデが最初にサウルに＿＿＿＿＿＿＿＿＿として仕えました。

10．ダビデの親友は＿＿＿＿＿＿＿でした。

11．サウルは＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿によって死にました。

12．ダビデは初めに＿＿＿＿として統治し、次に＿＿＿＿として統治しました。

13．神はダビデに救世主の約束をしました。それはどのような内容でしたか。

14．ダビデの「暗黒の時」とはどのようなことを意味しますか。

15．ダビデの息子のうち誰がダビデに反抗しましたか。

16. テキストを見ずに、巻と章をこれらの出来事に付けてください。

サムエルがダビデに油注ぎをする

ダビデとバテ・シェバ

ダビデのエルサレム侵攻

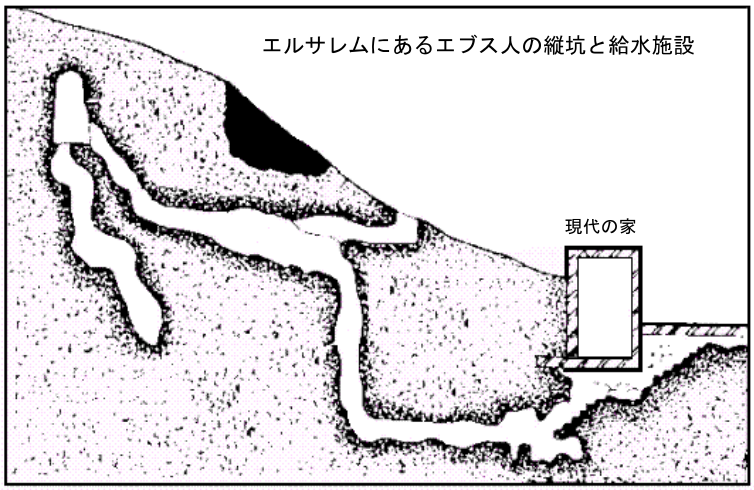
主のサムエルの召命

サウルの自害

アブシャロムの陰謀

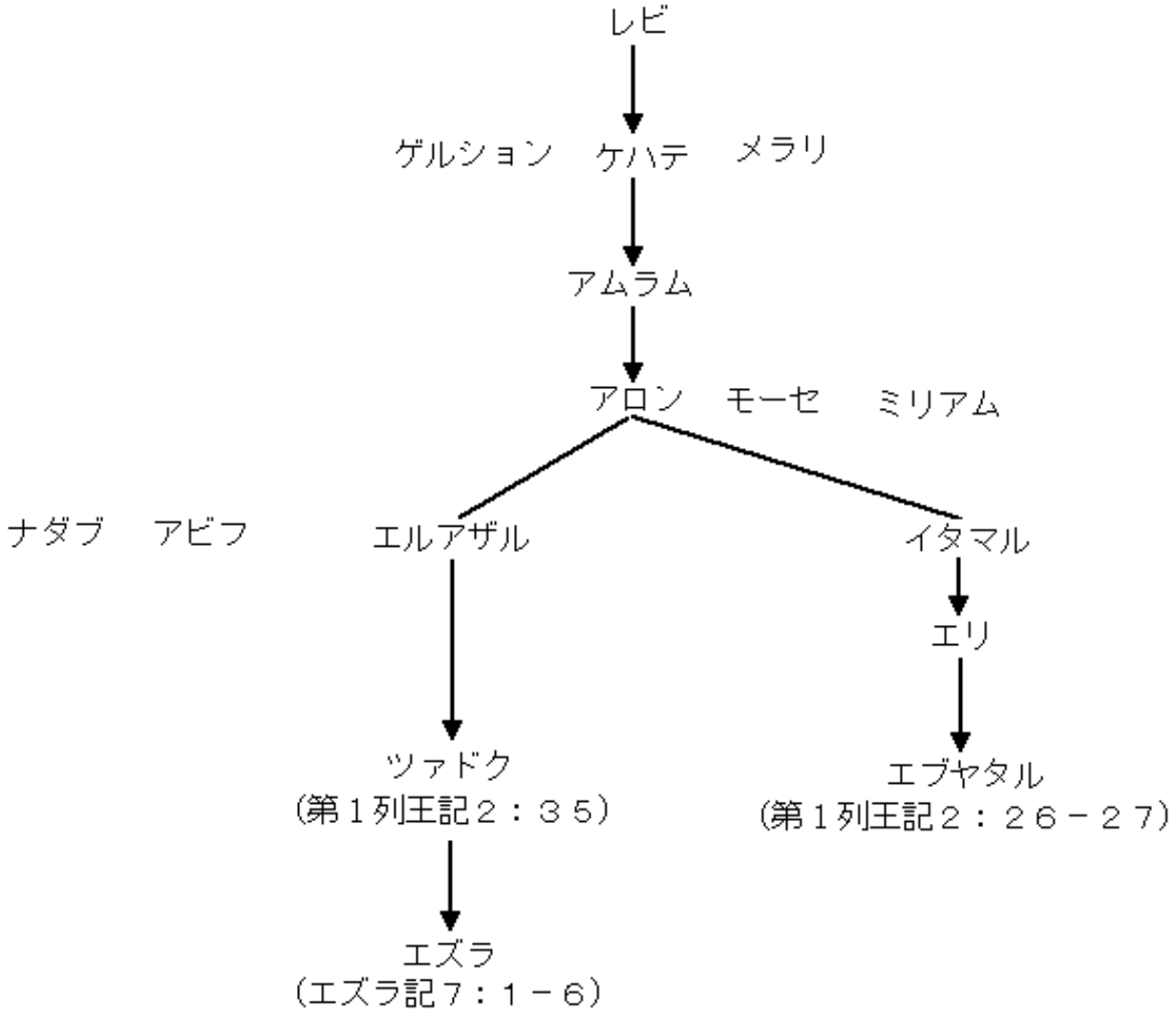
サムエルがサウルに油注ぎをする

ナタン、ダビデを非難する



古代において、都市への水の供給は死活問題を意味していました。エルサレムの水の供給源の一つに、ギホンの泉がありました。たとえこの泉がエブスの街（ダビデ王が後に征服し、エルサレムと改名）の旧城壁の外に位置していたとしてもです。それは、もしエルサレムが取り囲まれ、包囲下に置かれたとしたら、エルサレムの有数な水の供給源が敵の攻撃にさらされる事になります。エブスの人たちは、エルサレムが攻め込まれるはずはないと確信し、ダビデと彼の軍隊に豪語して言いました。「あなたは、ここに来る事は出来ない。めしいや足なえでさえ、あなたを追い出せる。」しかし、ダビデは彼らの”アキレス腱”を知っていました。ダビデは言いました。「だれでもエブス人を打とうとするものは、水汲みの地下道を抜けて、ダビデが憎む足なえとめしいを打て。」（２サム５：８）のちにヒゼキヤ王も古代エブス人のようなジレンマに直面するのです。彼はアッシリヤの軍隊がやって来て、エルサレムを包囲し、城壁の外に位置しているギホンの泉、つまりはエルサレムの水の供給源を遮断する事を知っていました。そこでヒゼキヤ王はギホンの泉からシロアムの水ためまで岩を掘り貫きました。それはかつてダビデが攻撃した方法を、アッシリヤ人たちに繰り返させないために、ヒゼキヤは泉の入り口を見えないように隠したのでした。

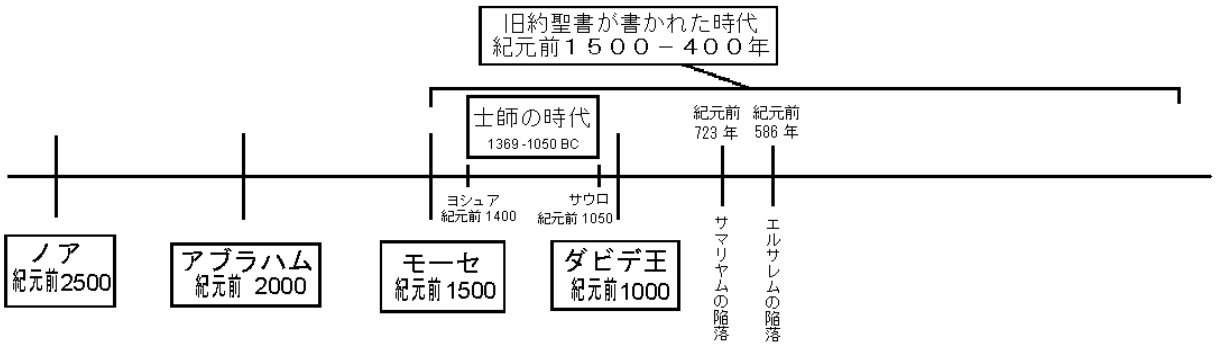
イスラエルにあるレビ人の大祭司の系図



レッスン１２　第１第２列王記 (1&2 Kings)

列王記の概要

もともと列王記は２巻に分けられていたのではなく、１冊でした。七十人訳がなされたときに、現在のように２巻に分けられたのです。列王記の２巻は、ソロモン王の統治で始まり、バビロンの捕囚までのイスラエルの歴史が記されています。ソロモンによる統治が紀元前９７０年に始まり、バビロン捕囚が紀元前５８６年です。ということは列王記２巻は４００年にわたるユダヤの歴史を網羅していることになります。



列王記という名前のとおり、これら２巻の大半はイスラエルとユダの王たちのことが記されています。神の目から見て、どの王が善で、どの王が悪か語られるでしょう。またエリヤとエリシャという大預言者の生涯も同じく本書に記されています。

列王記のあらすじ

４００年間の王たちの統治は、３つのパートに分けられます。こちら３つのパートに分けると、あらすじがおのずと分かります。

１．ソロモン王の統治　　紀元前９７２-９３３年（１列１-11）

２．ユダ王朝とイスラエル王朝の分割　　紀元前９３３-７２３年（１列 12-２列 17）

３．ユダのヒゼキヤの歴史から捕囚まで　紀元前７２６-５８６年（２列 18－25）

列王記第一は２２章、列王記第二は２５章からなっています。

著　者

列王記の著者は分かってはいません。ユダヤの言い伝えでは預言者エレミヤが著わしたとされています。

列王記の目的

列王記は、イスラエルとユダの不信仰から来る凋落を示すために聖霊が書きしるし、神はそれでも２サムエル記 7:16 で「あなたの家とあなたの王国とは、わたしの

前にとこしえまでも続き、あなたの王座はとこしえまでも堅く立つ。」とダビデに言われたように、約束に忠実であられたのです。神はダビデの家系を守られました。後に来る永遠のメシヤはダビデの家系から出るのですから。

列王記の概説

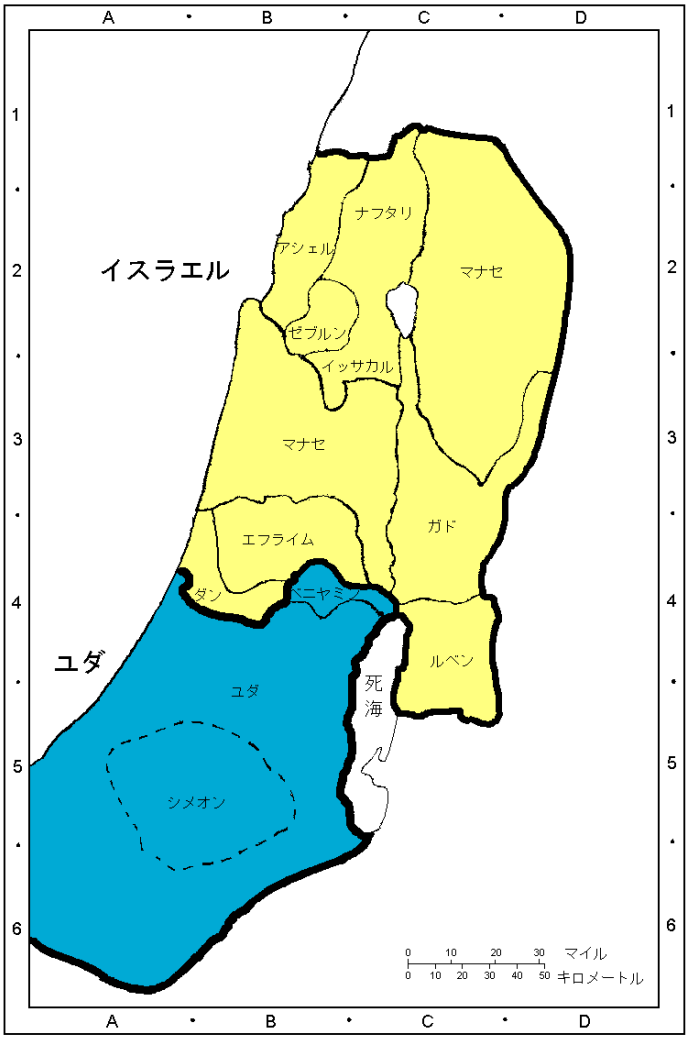
１．ソロモン王の治世　　（列王記第一　１－１１）

ソロモン、ダビデとバテ・シェバとの息子で、のちに王となります。ソロモンは大いなる知恵と力、そして富を有しました。その治世はイスラエルの歴史にとり「黄金の時代」でした。ソロモンはエルサレムに、主のために大神殿を築きました。神はソロモンを豊かに祝福した後も、神への信仰を保つように、神ご自身が警告された後でさえも、ソロモンは多くの妻を持ち、偶像を崇拝していました。ソロモンの実例によって未信者と結婚することは自分の信仰のためにどれほど危険であるか分かります。ソロモンは４０年の間、治めました。聖書では彼が後悔したことは書かれていません。しかし伝道者の書はソロモンによって書かれたことを私たちは知っています。これは、ソロモンが彼の罪を悔い、それで伝道者の書を書いたと思われます。それは神から離れて生きる事の意味を探そうとした、ソロモンのような人間に対しての警告であったのです。

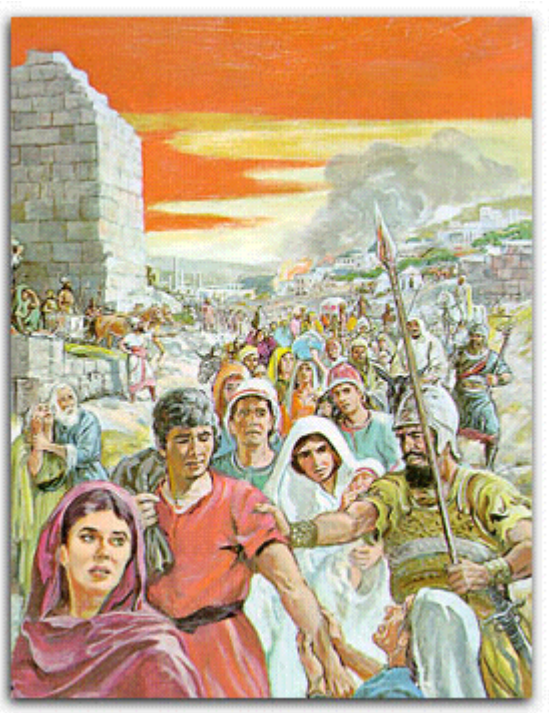
２．分裂した王国、イスラエルとユダ

ソロモンの死後、10 の部族がソロモンの息子レハブアムの治世に対して反乱を起こしました。もはや一人の王のもとでの統合は出来なくなり、その結果、王国は分裂したのです。北部はイスラエル王国または北王国となり、南部はユダ王国となりました。10 部族からなるイスラエル王国はヤロブアムにより統治され、不道徳な王らに継承されました。ユダ族とベニヤミン族の一部はレハブアムにより統治されました。そしていくらかの良い王たちとたいがいは不道徳な王たちに継承されました。

イスラエル王国は紀元前９３３年から紀元前７２３年まで続きました。紀元前７２３年にアッシリア王朝は完全にイスラエル王国を撃ち破り、アッシリアに民を連れ去りました。この時点から北の 10 部族はその歴史を失うことになりました。アッシリヤによる破壊は、神が歴史を完全にコントロールしていることを明確に示すものですし、不道徳が罰せられないなどということはあり得ないことも示されました。列王記２の 17:7 では、「こうなったのは、イスラエルの人が・・・・主に対して罪を犯し、ほかの神々を恐れ、」とあります。アッシリア王は、10 部族が去った土地に他の人々を再び植民したのです。この地域はかつての北イスラエルの首都でしたが、その後はしばしばサマリアと呼ばれます。

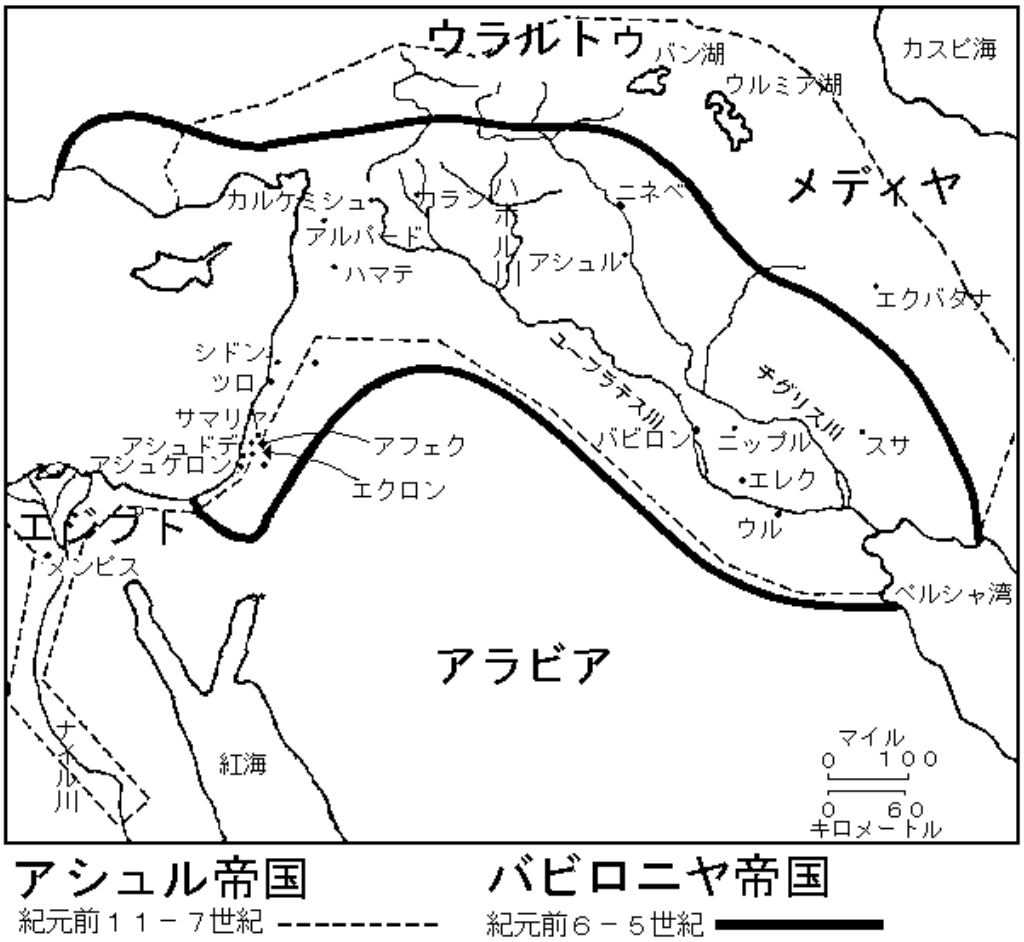


３．ユダの歴史　ヒゼキヤから捕囚まで（列王記２　１８－２５）



ユダ王国はさらに１３０年間存続をゆるされました。良き王ヒゼキヤの治世の間、アッシリヤ王はユダを破壊すると脅しました。しかし神はアッシリヤの軍隊を壊滅しユダを救いました。ですが紀元前５８６年にバビロン王がユダの首都であるエルサレムを破壊しました。そしてユダの人民を連れ出し、バビロンに捕らえたのです。ソロモンの大神殿は破壊され、７０年におよぶ異邦人による捕囚が始まりました。

<u>イスラエルとユダの各王とその年代リスト</u>　（表記はすべて紀元前です）



Ａ．<u>統一王国</u>

サウル	1050-1010
ダビデ	1010-970
ソロモン	970-930

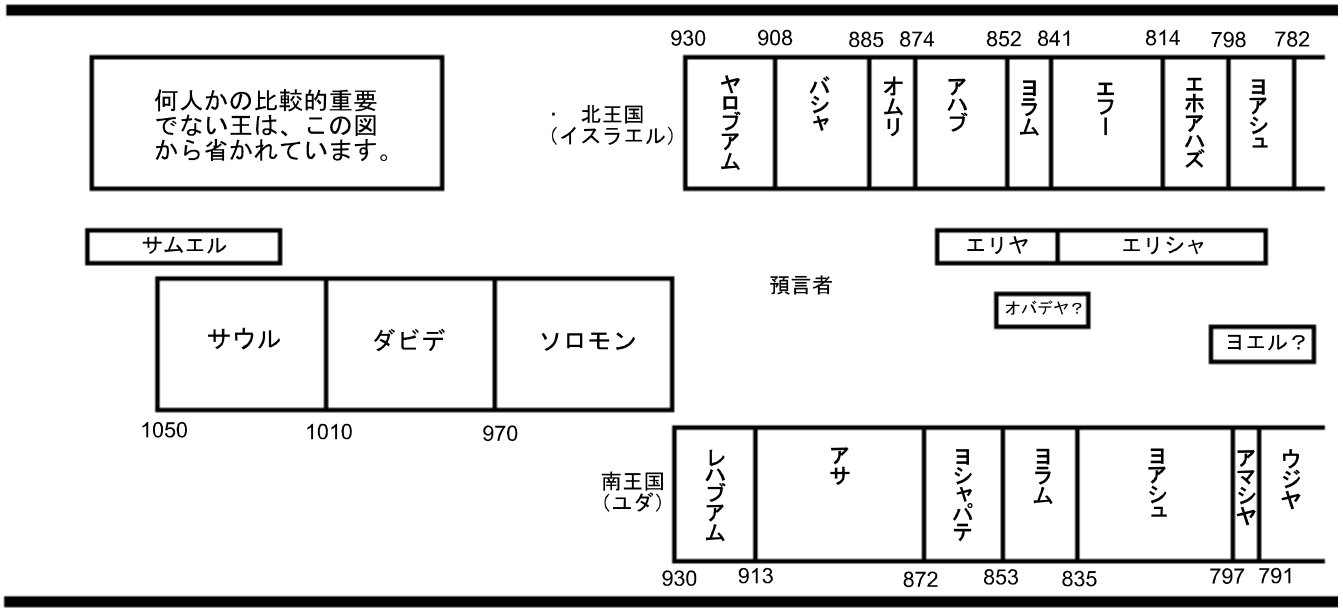
Ｂ．<u>イスラエル王国</u>

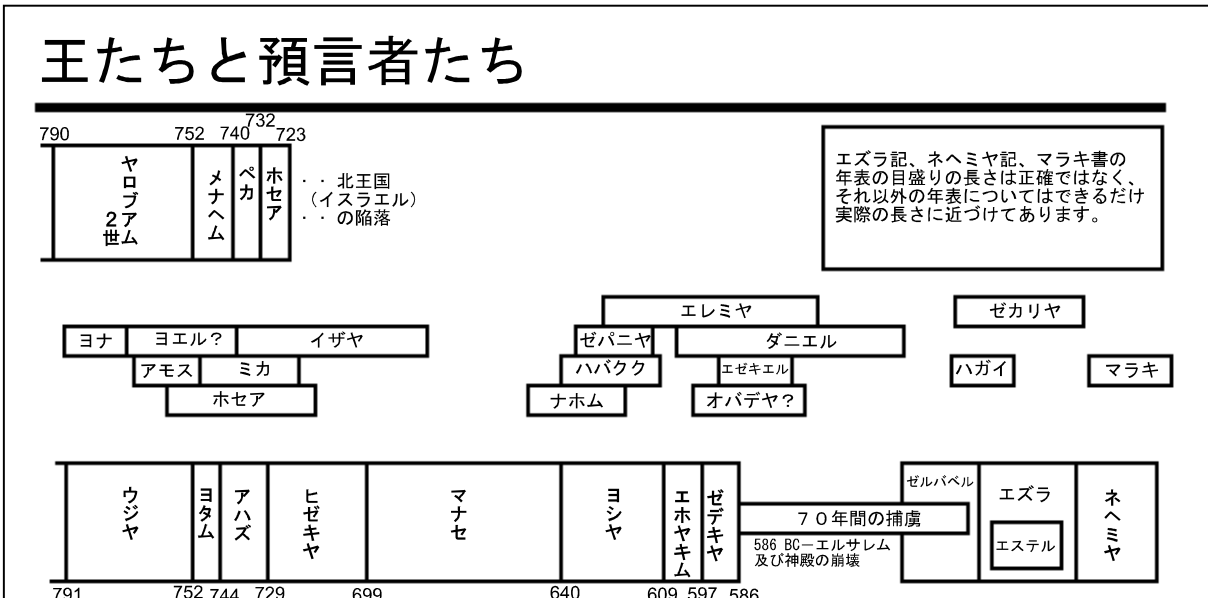
１	ヤロブアム（大悪）	930-909
２	ナダブ（悪）	909-908
３	バシャ（悪）	908-886
４	エラ（悪）	886-885
５	ジムリ（悪）	885
６	チブニ（悪）	885-880
７	オムリ（悪）	885-874
８	アハブ（大悪）	874-853
９	アハズヤ（悪）	853-852
１０	ヨラム（悪）	852-841
１１	エフー（悪）	841-814
１２	エホアハズ（悪）	812-797
１３	ヨアシュ（悪）	798-782
１４	ヤロブアムⅡ世（大悪）	795-754
１５	ゼカリア（悪）	753
１６	シャルム（悪）	752
１７	メナヘム（悪）	752-742
１８	ペカフヤ（悪）	741-740
１９	ペカ（悪）	752-732
２０	ホセア（悪）	732-723

Ｃ．<u>ユダ王国</u>

レハブアム（悪）	930-912
アビヤム（悪）	913-910
アサ（良）	910-869
ヨシャパテ（良）	872-848
ヨラム（悪）	853-841
アハズヤ（悪）	841
アタルヤ（大悪）	841-835
ヨアシュ（良/悪）	835-796
アマツヤ（良）	797-768
アザルヤ（良）	791-739
ヨタム（良）	752-732
アハズ（悪）	744-728
ヒゼキヤ（良）	729-700
マナセ（大悪）	699-644
アモン（悪）	643-642
ヨシヤ（良）	640-609
エホアハズ（悪）	609
エホヤキム（悪）	609-598
エホヤキン（悪）	598
ゼデキヤ（悪）	597-586

王たちと預言者たち





憶えておくべき大事な年代

紀元前７２３年はイスラエル王国とその首都サマリヤがアッシリヤに打ち負かされ、その民は連れ去られ、永遠にその地を失った年であることを憶えておきましょう。紀元前５８６年はユダ王国と首都エルサレムがバビロン人に侵略され７０年間に及ぶ捕囚が行なわれた年であると憶えておいてください。

クラスノート

下のスペースをノートとして使います。あなたの先生が列王記の各章を説明します。先生はもっとも特徴的な王をあげ、それらを良い王と悪い王に位置づけます。それらを書き留めましょう。

以下の出来事の章を憶えましょう。

列王記第一

ソロモンが知恵を求める　３

ソロモンが神殿を建てる　６

イスラエルの反逆者と王国の分裂　１２

エリヤ、からすに養われる　１７

列王記第二

アッシリヤ人、イスラエル王国を侵略　１７

バビロン帝国によりエルサレム陥落　２５

列王記の重要な箇所です。憶えましょう。

イスラエルの神、主。上は天、下は地にも、あなたのような神はほかにありません。あなたは、心を尽くして御前に歩むあなたのしもべたちに対し、契約と愛とを守られる方です。（第１列王記８：２３）

私たちの神、主は、私たちの先祖とともにおられたように、私たちとともにいて、私たちを見放さず、私たちを見捨てられませんように。（第１列王記８：５７）

列王記について、以下の質問に答えてください。

１．列王記は旧約聖書の歴史のなかでおよそ_____を網羅しています。

２．列王記はイスラエルの歴史が記されています。それは_____から始まり_____までの歴史です。

３．本書は列王記と呼ばれていますが、それは_____ _____だからです。

４．列王記に出て来る大預言者２人の名を挙げてください。

_____ _____

５．列王記第一と第二の３つのパートと章を書いてください。

Ａ．
Ｂ．
Ｃ．

６．ソロモンの一番重大な出来事一つを挙げてください。

７．何がソロモンを失脚させたのでしょう。

８．ソロモンは　　年間統治しました。

９．北の 10 部族の王国は_____です。

10．南の部族の王国は_____です。

11．北王国は　　年に敗北しました。

12．北王国の人民たちはどうなりましたか。

13．北王国を打ち破ったのは誰ですか。

14．ユダは____年に_____に打ち破られ、____年間_____ました。

15．以下の出来事の章を書いてください。
エリヤ、からすに養われる。
ソロモン、神殿を建てる
アッシリヤ人、イスラエル王国を打ち破る
イスラエルの反逆者と王国の分裂
バビロン帝国によりエルサレム陥落
ソロモン、知恵を求める

レッスン１３　第一と第二歴代誌（1&2 Chronicles）

歴代誌の概要

列王記と同様に、歴代誌も本来は１冊の書物でした。２巻に分けられたのは、七十人訳がおこなわれたときからです。歴代誌（Chronicles)というのは歴史録、年史という意味です。歴代誌は、アダムからバビロン捕囚の終わりまでの歴史を記録した書物ということになります。歴代誌の半分はダビデとソロモンの治世についてページを割されており、残りの部分に関してはユダの王たちについてページを割かれています。

歴代誌の著者は知られていません。ユダヤの言い伝えでは、預言者エズラが著者であるとしています。誰が著者であれ、歴代誌はバビロン捕囚の後の、紀元前４００年ごろに書かれたと思います。

歴代誌の目的と主題

バビロン捕囚後の人々は、過去からの教訓を得るために、自身の歴史を知る必要がありました。もしも彼らが神の喜ばれる新しい生活を築くとしたら、彼らは先祖たちが偶像崇拝を持ち込んだ悲劇や、神への信仰の恵みということを知らなくてはならなかったのです。歴代誌の歴史的教訓は、私たちの代になっても失われるものではありません。聖霊は私たちの心を邪悪なものから守るため、また神への信仰を試みるために霊感によって書かれた書物を残してくださったのです。（第１コリント 10:1-11 参照）

歴代誌の主題は歴代誌第二の 15 章 2 節のことばがそのまま引用できます。「**あなたが主とともにいる間は、主はあなたがたとともにおられます。もし、あなたがたがこの方を求めるなら、あなたがたにご自身を示してくださいます。もし、あなたがたがこの方を捨て去るなら、この方はあなたがたを捨ててしまわれます。**」（第１歴代誌２８：９－１０、マタイ１０：３２－３３参照）

列王記と歴代誌の比較

歴代誌の著者は、繰り返し列王記と第２サムエル記と同じ記録を用いています。しかし列王記と歴代誌には違いがあります。第一に、ダビデ王朝の時の歴代誌の著者は、ユダの王たちの系図のみをたどっています。そして北の王朝を無視しています。列王記は両王朝の系図がでてきます。第二に、歴代誌には列王記には記録されていない多くの詳細が記録されているのです。

歴代誌のあらすじ

１．アダムから追放後の系図　　（１歴代誌　１－９章）

２．ダビデ王の治世　　（１歴代誌　１０－２９章）

３．ソロモン王の治世　　（２歴代誌　１－９章）

４．ユダの歴史とその凋落（ちょうらく）　　（２歴代誌　１０－３６章）

１歴代誌は２９章から成っており、２歴代誌は３６章から成っています。

歴代誌の研究

先生は歴代誌をクラスであなたと一緒に調べて、おもな出来事を示してくれます。家での学習に大いに参考になると思います。あなたの聖書の見出しにしるしを付けてみましょう。以下のスペースを使って書き留めたいことをノートしてください。

歴代誌の重要な箇所です。憶えましょう。

あなたがたが主と共におる間は、主もあなたがたと共におられます。あなたがたが、もし彼を求めるならば、彼に会うでしょう。しかし、彼を捨てるならば、彼もあなたがたを捨てられるでしょう。（第２歴代誌１５：２後半）

主はその御目をもって、あまねく全地を見渡し、その心がご自分と全く一つになっている人々に御力をあらわしてくださるのです。（第２歴代誌１６：９）

以下の質問に答えてください。

１．英語の「Chronicles」とは＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿という意味です。

２．歴代誌の本当の著者は＿＿＿＿＿＿＿＿ですが、多分＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿が書いたと考えられています。

３．歴代誌は聖霊によって書かれました。それは＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿のためです。

４．歴代誌の主題に適していることばを書いてください。

５．歴代誌には＿＿＿＿＿＿と＿＿＿＿＿＿に記されていることと同じ事がたくさん記されています。

６．歴代誌と列王記の違いは何ですか。

７．歴代誌のあらすじと章を入れてください。

１．

２．

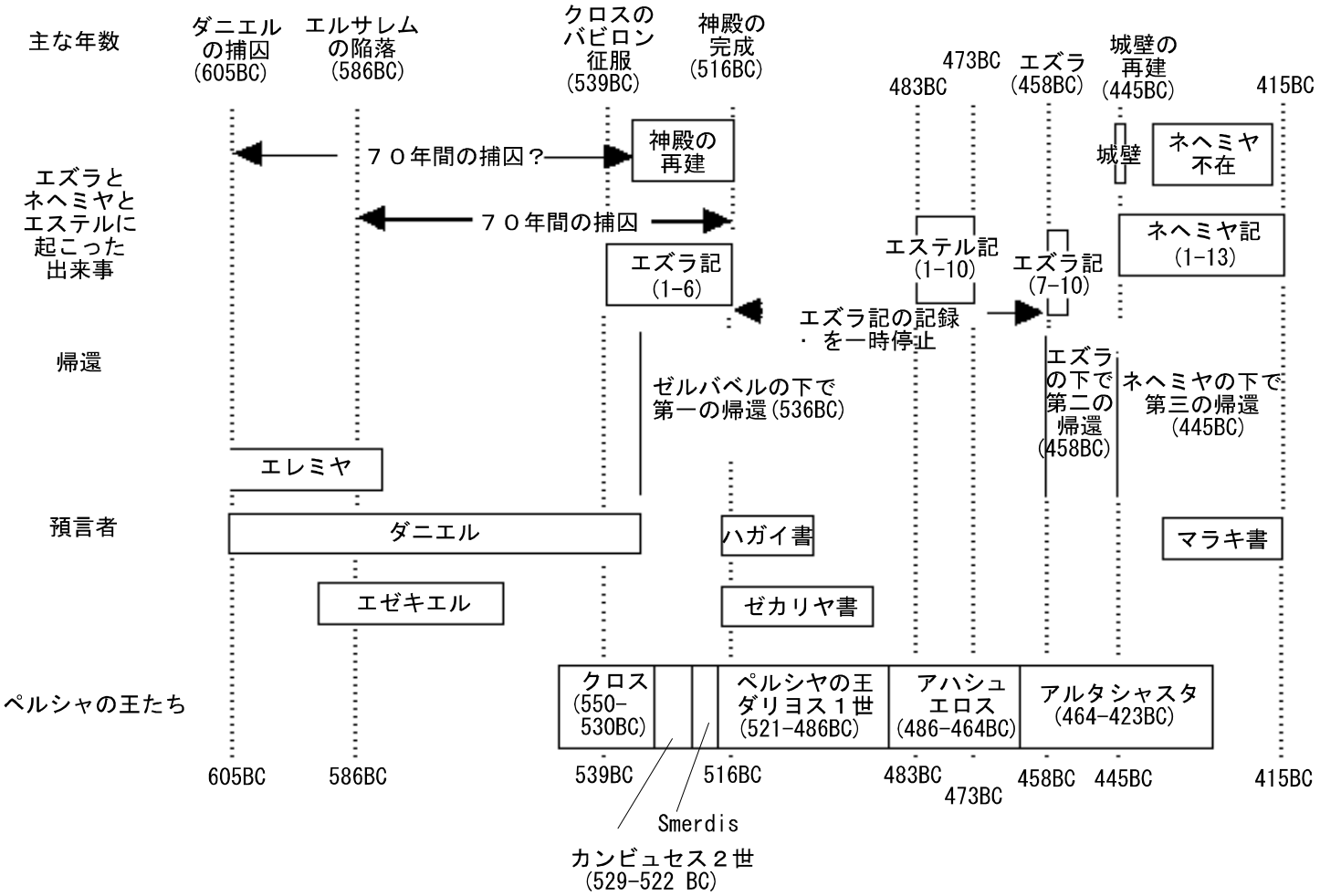
３．

４．

レッスン１４　エズラ記・ネヘミヤ記・エステル記
(Ezra, Nehemiah, Esther)

エズラ記、ネヘミヤ記、エステル記の３書で、旧約聖書の歴史の書は終わります。（レッスン１を参照）これら３冊は、旧約聖書のユダヤの最後１００年間の歴史を網羅しています。それらは 539BC－433BC までの出来事が書かれています。

歴代誌第二は紀元前 586 年の エルサレム陥落とネブカドネザル王のもと、バビロンに追放されるくだりで終わっています。エズラ記とネヘミヤ記はバビロンからユダヤ人が戻る三段階が記されています。１）紀元前 536 年、ユダヤ人のおもな集団がゼルバベルとともに帰還します。２）紀元前 458 年には第二陣がエズラとともに帰還しました。３）そして紀元前 445 年にはネヘミヤとともに第三陣が帰還を果たしました。エステル記はその舞台を、アハシュエロス王（ゼルゼス）が支配（486-464BC）するペルシャにとって替わります。



歴史をひも解くことによって、これら三冊の中の時代と出来事をもっと良く理解できると思います。ユダヤ人はバビロン王ネブカドネザルによって三度にわたり追放されました。それは紀元前 605 年、597 年、それに 586 年、最後のエルサレム破壊が行なわれたときのことです。ユダヤ人はバビロニアに植民されて移住しました。彼らはバビロン王に対し、静かな臣民である限りは虐待を受けるということはありませんでした。彼らユダヤ人の多くはバビロニアで繁栄しましたし、母国に帰還する許しを得た後も、彼らはそこに永久に暮らすことも出来ました。紀元前 539 年にペルシャの王クロスがバビロニアを打ち負かしたとき、大バビロニア帝国は終わりを迎えました。

エズラ記の冒頭の節で学ぶのは、クロス王がユダヤ人たちにユダへ帰還することを許可するくだりです。この事柄は１５０年前にイザヤによって預言されたことの驚くべき実現です。イザヤはクロスの名前と、150 年後にクロス王が発する２つの勅令についても言及しました。 (イザヤ 44:24-45:6)　追放から戻るということは、ユダヤ人たちが政治的に完全に解放されることを意味しませんでした。彼らはペルシャ帝国の一部に残留しましたが、おおむねは良好な待遇を受けていました。エズラ記、ネヘミヤ記、エステル記の出来事はすべて 539 年 BC からはじまり、ギリシャに征服される 331 年 BC までの、ペルシャ帝国の治世の間のことです。

（パートＡ：エズラ記）

著　者

エズラ記の名称は本書の主人公から取られています。エズラは祭司で筆写人であり、バビロン捕囚中に生まれ、のちにユダに帰還します。

言伝えによるとエズラは三冊すべての著者とされています。エズラはエズラ記の７－１０章を著わしたのは確かです。

エズラ記の目的

エズラ記はユダヤ人による約束の地の回復の経緯を示すために書かれました。本書で強調されているのは、自分たちの土地での信仰生活の回復についてです。エレミヤ書 29:10-12 で神はこのように約束されています。「**バビロンに七十年の満ちるころ、わたしはあなたがたを顧み、あなたがたにわたしの幸いな約束を果たして、あなたがたをこの所に帰らせる。・・・あなたがたがわたしを呼び求めて歩き、わたしに祈るなら、わたしはあなたがたに聞こう。**」エズラ記は、神がご自身の約束をメシアをもたらす民に果たすことを実証したのです。

エズラ記のあらすじ

１．追放からの最初の帰還　　（１－２）

２．エホバの礼拝の回復　　（３－６）

３．エズラの指導による帰還　（７－１０）

エズラ記の概要

ペルシャのクロス王は、ユダヤ人がユダに帰国し、エルサレムに主のための神殿を建設する許可を宣言しました。ユダヤ人たちはネブカドネザル王が持ち去った神殿の備品を持ち帰ることをゆるされました。紀元前 536 年、ゼルバベルとその他の指導者、42,360 人のユダヤ人が帰還し、エルサレムに到着します。（1-2 章）

最初にユダヤ人はエルサレムに祭壇を再建し、再び犠牲のささげ物をし、神の命じられた祭を行ないました。それから彼らは神殿を再び建設します。神殿の礎が築かれましたが敵たちはユダヤ人が建設を続けることを妨害します。ついには預言者ハガイとゼカリアの激励によって建設は開始され、そして完成します。紀元前５１６年に神殿は献納されました。建設作業が始まり 58 年後のことでした。（3-6 章）

ペルシャのアルタシャスタ王は、エズラに多くのユダヤ人と神殿に贈るものを携えて、エルサレムに向かう許可を与えます。これは紀元前 458 年のことです。ユダ

の多くのユダヤ人は、異教徒の妻と結婚していたので、エズラは彼ら自身の罪から離れるように、強く勧めました。（７－１０章）

レッスンの第一部の質問に答えましょう。

１．エズラ記、ネヘミヤ記、エステル記を旧約聖書の_____書と呼んでいます。

２．歴代誌Ⅱの終わりではどんな悲劇的な出来事がありましたか。_____
それは_____帝国の_____王の治世で_____年のことでした。

３．バビロン帝国は_____年に_____の王に征服されました。

４．ペルシャの王はユダヤ人が_____出来るように宣言しました。

５．エズラ記、ネヘミヤ記、エステル記の出来事は、_____年から_____までの出来事が記されています。

６．エズラは_____で_____でもありました。_____に生まれましたが、のちに_____に帰還しました。

７．エズラ記の著者は_____です。

８．エズラ記の目的は何ですか。

９．エズラ記のあらすじと章を書いてください。

10．最初の帰還は誰の指導で行なわれましたか。

第二陣は誰の指導ですか。

（パートＢ　ネヘミヤ記）

著　者

ネヘミヤ記の人間の著者は、ネヘミヤ自身です。これは、本書が一人称で書かれていることからも明白です。（私がシュシャンの城にいたとき、・・・。　私はこのことばを聞いたとき、すわって泣き、・・・などです。）

エズラとは違い、ネヘミヤは平信者でした。しかしながら神は、捕囚後のユダヤの国家再建の大事業へと彼を用いたのでした。

ネヘミヤ記の重要性

ネヘミヤ記は旧約聖書の時代のユダヤの歴史が書かれている最後の霊感の書として、私たちにとって重要です。外典の中には旧約聖書時代のユダヤ人の歴史を伝えたものはありますが、それらは神の霊感によって書かれたものではないので、完全に信頼に値するものではありません。聖書ではネヘミヤ記のあとにエステル記がありますが、そこに出てくる出来事は、ネヘミヤ記以前のものです。

ネヘミヤ記のあらすじ

１．ネヘミヤがエルサレムの城壁を修復をする　（１－７）

２．エズラ、ネヘミヤの宗教改革　（８－１３）

ネヘミヤ記の概略

ネヘミヤがペルシャの都市、シュシャにいたときに知らせが届きました。それはパレスチナのユダヤ人が困難に遭っているというものでした。それは、エルサレムの城壁が荒れ果ててしまっているというものでした。ネヘミヤはその悲しい知らせを聞き、泣きました。そして断食（神への悔い改めと献身のしるし）を行ない、神に祈りました。祈りの後、ネヘミヤはペルシャの王アルタシャスタの献酌官となりました。神の恵みにより、ネヘミヤにユダヤに対する祈りは聞かれ、アルタシャスタ王はネヘミヤがエルサレム修復に向かうことを許したのです。エルサレム到着の３日後、ネヘミヤは城壁の視察の旅に出かけたのです。（１－２）

城壁と門の修復作業が始まりました。第３章では建設作業に参加した、あらゆる人たちの名簿が示されています。やがてユダヤの敵は建設を妨害します。サムバラテはユダヤ人が城壁を修復しているのをあざけります。アモン人トビアは作業者たちをからかい、一匹のきつねが上っても、その城壁を崩してしまうだろう、とまで言いました。それでもネヘミヤは、神に助けを乞い願い、建設に参加している人たちを励ましました。ある者が建設をしている間は、ある者は見張りをしました。ついに城壁は 52 日後、大変な努力のすえに完成したのです。（３－６）

ネヘミヤは２人の男にエルサレムを治めさせました。そして彼らに安全のために城門をいつ開け閉めするのかを指導しました。第７章ののこりは、エルサレムとユダに帰還した人たちに名簿がでてきます。（７）

エズラは、エルサレムの水の門の前に人々を集め、モーセの律法を朗読しました。人々は自身の罪を神の前で告白し、神との契約を更新したのです。

第１１章は、エルサレムの居住者の名簿が含まれています。第１２章は、祭司とレビ人がともにエルサレムの城壁を奉献したくだりが記されています。１３章は、ネヘミヤがアルタシャスタ王のもとへ帰ってからの、２度目のエルサレム訪問が記されています。

（パートＣ：エステル記）

本書の名称

エステル記の名前は本書の主人公の名から取られています。エステルはペルシャに暮らした若い女性の名前で、のちにクセルクセス王の妃になった人物です。（485－465BC）　エステルは神に与えられた地位を利用して、同胞のユダヤ人を根絶しようという陰謀から彼らを救いました。

「エステル」とはペルシャ語で星のことです。エステルのユダヤ名はハダサで、その意味はミルトスの木という意味です。

著者は誰？

だれがエステル記を著わしたかは分かりません。ある人は本書の登場人物のモルデカイが著者であるとしています。著者はおそらくはペルシャに暮らしており、ペルシャ人の生活や習慣に精通している人物と思われます。

エステル記の目的

本書には３つの目的があるといえるでしょう。１）第一に本書は神の摂理はあらゆる物に働くということを示すためです。神は約束の地から遠く離れたペルシャのような所にいる自分の民ですら見守ってくださいました。２）第二に、神を信じる者は神が与えた機会を上手く利用するということを本書では示しています。エステル記 4:14 には「**あなたがこの王国に来たのは、もしかすると、この時のためであるかもしれない。**」と明確に書かれています。３）第三に、エステル記はユダヤのプリム祭の起原を示しています。

エステル記の不思議な点

不思議なことにエステル記のどこを見ても「神」という名前は出てきません。この事をもって本書が霊感によっては書かれていないということを意味するわけではないのです。たとえ神の名が直接書かれていないとしても、神の摂理が本書の重要な主題の一つであることは間違いありません。

ある人が指摘していることですが、神の名が記されていないのは、エステル記が自由にペルシャにいるユダヤ人たちの間で読まれるためでもあったということです。ユダヤ人の神に関する書物は、ペルシャでは禁止されていたと考えられています。他の推論では、もし神の名が本書に出ているならば、ペルシャ人たちは自分たちの神々の名前に置き換えてしまい、そのようなことで本書が堕落してしまうのではないか、というものです。しかし、エステル記で神の名が省略された本当の理由は分かりません。

エステル記のあらすじ

１．エステルが王妃となる　　（１－２）

２．ユダヤ人虐殺の陰謀　　（３－５）

３．ユダヤ人の解放　　（６－１０）

エステル記の概要

ペルシャのアハシュエロス王（クセルクセスとも言う　486-464BC 統治）はシュシャンで大宴会を催します。王妃ワシュティは宴会にあらわれることを拒んだのです。クセルクセスは怒り、王妃ワシュティを退位させてしまします。それで新しい妃を選ぶために、王国全土規模の美人コンテストを催すことになりました。エステルというなのユダヤ人の娘が（ハダサ、ヘブル語）新しい妃になりました。しかし彼女は自分がユダヤ人だということを明かしませんでした。それと同じ頃、エステルのいとこのモルデカイは王を暗殺する陰謀あばき、王の命を救いました。（１－２）

モルデカイはハマンのまえにひれ伏すことを拒みました。ハマンは政府の高位を手に入れた貴族です。ハマンはこのことに怒り、全てのユダヤ人を殺害することを決めたのです。モルデカイはエステルに、彼女の王妃としての地位を利用し、ユダヤ人を虐殺から救うように説得します。（４：１４）エステルはユダヤ人虐殺を阻止する手だてを考えます。（３－５）

クセルクセス王は、モルデカイがかつて王の命を救ったときに、一つも見返りをもらわなかったことを知りました。王はハマンをモルデカイのところに送り、栄誉を与えました。ハマンが心から憎んでいる男にです。エステルは王の前でユダヤ人の助命を懇願します。邪悪なハマンはモルデカイのために自分で準備した絞首台にかけられたのです。王はユダヤ人が彼らを攻撃するいかなる者からも自衛できるとの布告を出しました。ユダヤ人は守られたのです。そしてこのことを記念して、プリム祭が祝われました。モルデカイはクセルクセス王の次の位に就きました。（６－１０）

ネヘミヤ記とエステル記についての質問に答えなさい。

１．ネヘミヤ記の著者は誰ですか。

２．エズラは祭司でしたが、ネヘミヤは_____でした。

３．ネヘミヤ記は旧約聖書の時代の_____がかかれている最後の_____です。

４．ネヘミヤ記のあらすじを２つにして書きなさい。

１）

２）

５．ネヘミヤ記の初めでは、ネヘミヤは_____という国の_____に暮らしていました。

６．ネヘミヤはどのような知らせを聞いて泣きましたか。

７．ネヘミヤは_____王に_____として仕えていました。彼は王に

_____に行く許可をもらいます。それは_____をするためでした。

８．城壁の建設作業を困難にしていたことは何ですか。

９・城壁は_____日後に完成しました。

10．城壁の完成後、祭司と_____は人々を集め、律法を読みました。人々は_____し、そして_____を更新したのです。

11．エステルというのはペルシャ語で____のことです。ヘブル語の名は_____で_____という意味です。

12．エステル記の著者は誰ですか。

13. エステル記の目的を３つ挙げてください。

１）

２）

３）

14. エステル記のあらすじと章を書いてください。

１）

２）

３）

15. エステル記に出てくる王は_____です。在位期間は_____BC。

16. 王妃_____は退位させられました。それは_____
_____だからです。

17. 新しい王妃は_____です。

18. エステルのいとこの_____はかつて_____という陰謀を
暴き王の命を救いました。

19. 邪悪な貴族の_____は_____に怒りました。

20. ハマンは全ての_____することに決めました。

21. エステルは_____のために_____という地位を
利用しました。

22. ついにハマンは自分で_____のために用意した_____にかけら
れたのです。

23. ユダヤ人は_____、この出来事を記念して毎年_____祭として
祝うことになりました。

レッスン１５　ヘブル語の詩とヨブ記
(Hebrew Poetry & Job)

さて、私たちは旧約聖書の第３番目のセクションに入ります。このセクションは詩書と呼ばれています。もし必要であれば、レッスン１を参考して、詩書５巻を下に書き出しておきましょう。

_____　_____　_____　_____　_____

（パートＡ：ヘブル語の詩）

どんな言語でも、人が詩というものを考えるとき、行数が整い、リズムを持って、多彩な語法で、しかも音韻を踏むことがしばしばあります。以下には英語の詩でそのような例を挙げておきます。

Poems are made by fools like me,　ポエムス　アー　メイド　バイ　**フールス　ライク　ミー、**
But only God can make a tree.　バット　オンリー　ゴッド　キャン　**メイク　ア　トゥリー**
詩は私のような愚か者によって作られる、
しかし、木は神にしか造れない。（詩の訳）

上の詩では多彩な語法は見受けられませんが、たしかにリズムがあり音韻を踏んでおり、しかも行数が整っています。

聖書のヘブル語の詩においては、現代の詩と同じものを期待するわけには行きません。ヘブル語の詩には音韻はほとんど見られません。行数もいつも整っているわけではありませんし、時にはリズムですら伴っていないこともあるのです。しかしながらそれらの特徴点は、ヘブル語の詩を詩の最高レベルにし、読んだり聞いたりするのには心地よいものになっています。

並　行　法　(Parallelism)

ヘブル語の詩における最大の特徴は、並行法と呼ばれるものです。並行法とは反復、あるいは想いの繰り返しのことを意味します。詩篇の 83 篇 1 節でどのように同じ想いが反復、あるいは繰り返されているか見てみましょう。

"Oh God, do not keep silent;	神よ。沈黙を続けないで下さい。
be not quiet, O God, be not still."	黙っていないでください。 神よ。じっとしていないで下さい。

この節では表現したい思いはたったの一つであることが分かります。しかし３度にわたり、違う言葉で想いを表わしています。これが表現における並行法の意味するところなのです。

旧約聖書の詩書を読むとき、３種類の並行法があることに気付きます。

１．同義並行法　(SYNONYMOUS PARALLELISM)

この並行法は同じ想いをほぼ同じ言葉で繰り返すものです。（SYNONYM という言葉は同義語、類似語という意味です。）この同義並行法の良い一例が詩篇の 49 篇 1 節にあります。

「すべての国々の民よ。これを聞け。
世界に住むすべての者よ。耳を傾けよ。」

１行目と２行目では何か違ったことを言っているでしょうか。いいえ、ただ単に同じ事を違う言葉で繰り返しているだけです。想いを繰り返すことは、その想いを強め、明確にし、同時にその表現を詩的に美しくもするのです。

２．対比並行法（ANTITHETICAL PARALLELISM）

この並行法は何かを他のものと対比させるものです。対比並行法の１例は箴言の 15 章１節にあります。

「柔らかな答えは憤りを静める。
　しかし激しいことばは怒りを引き起こす。」

「柔らかな答え」は「激しいことば」と対比させていますし、「怒りを静める」は「怒りを引き起こす」と対比しています。

３．連句並行法（SYNTHETIC PARALLELISM）

この並行法は詩の第２句目に第１句の想いを加えることによって、詩が完結するものです。箴言４章 23 節の例を挙げておきます。

「力の限り、見張って、あなたの心を見守れ。
　いのちの泉はこれからわく。」

第２句目が第１句の想いに加えられていることが分かります。

折　句　（ACROSTIC CONSTRUCTION）

ヘブル語の詩のもう一つの特徴は折句とよばれる構造です。この種の詩は、アルファベットの文字が特別な役割を果たします。旧約聖書の折句詩の各行あるいは連句は、次のアルファベットで始まります。つまり、１行目が”Ａ”という文字で始まったら、２行目は”Ｂ”で始まり、そのようにアルファベット順で続いていくわけです。詩篇のかなりと箴言の一部、哀歌はヘブル語原典では折句法で書かれています。しかしながらこれを正確に表わすのはとても難しく、翻訳版はヘブル語原典にあるような折句法を保つことは難しかったのです。

詩篇の１１９篇は特別な折句詩です。あなたの聖書の脚注を見て、どのようにヘブル語が折句法で書かれているかを見てください。折句の詩編はほかにも２５、３４、３７、１１１、１１２それに１４５篇があります。詩篇１１９篇は折句の古典的詩です。８行から成る節は、それぞれ２２のヘブル語アルファベットで始まっています。最初はアレフ（第１文字）から始まり、タウ（最後の文字）で終わっているのです！

旧約聖書の詩と霊感

聖書の中の書物すべては、霊感によって書かれていることは周知のことです。詩書もこれに含まれます。では何故、聖霊はその言葉を詩という形で書かれたのでしょう。ひとつ考えられることは、神の言葉を美しくし、でき得る限り私たちがたびたび読みたくなるようにアピールするために、と神が望まれたからではないでしょうか。ヘブル語の折句詩はたしかに美しくそして訴えるものがあります。それにもう一つは、聖霊が、その御ことばを私たちがいつも覚えていられるように望まれたからでしょう。たいてい詩のほうが散文よりも覚えやすいものです。つまりは、このこともまた、真実であるのです。ユダヤ人にとり、折句法はどの行がどの文字で始まるのかを知るのに、格好の助けになったのです。

他の旧約聖書の詩について

　ヘブル語の詩は、あなたが初めに記した５巻だけとは限りません。私たちがすでに学んだ旧約聖書の巻のなかにも詩があることを覚えているでしょうか。出エジプト記の 15:1-18 のモーセの歌はどうでしょう。あるいはサウルとヨナタンに対するダビデの哀歌（２サム１:17-27）等です。ほかにも創世記 4:23 や士師記５章にも詩がでてきます。

このレッスンを習得し、以下の質問に答えましょう。
何も見ずに答え、それからテキストで正解を見て下さい。

１．旧約聖書の詩書は

２．ヘブル語の詩はたいていは音韻を伴う。　　正　　誤　（どちらかに〇）

３．ヘブル語の詩のおもな特徴は何と呼ばれていますか。

４．同義並行法は想いを＿＿＿＿＿＿＿＿ものです。

５．対比並行法は想いを＿＿＿＿＿＿＿＿ものです。

６．連句並行法は、第２句目に第１句の想いを＿＿＿＿＿＿＿＿ものです。

７．以下の詩はそれぞれ何の並行法で書かれていますか。答えてください。

詩篇２４：１ー地とそれに満ちているもの、世界とその中に住むものは主のものである。

詩篇２４：７ー門よ。おまえたちのかしらを上げよ。永遠の戸よ。上がれ。栄光の王がはいって来られる。

詩篇２５：１６ー私に御顔を向け、私をあわれんでください。私はただひとりで、悩んでいます。

詩篇１：６ーまことに、主は、正しい者の道を知っておられる。しかし、悪者の道は滅びうせる。

詩篇３３：１８ー見よ。主の目は主を恐れる者に注がれる。その恵みを待ち望む者に。

８．詩の形式で、それぞれの行の始まりが、次のアルファベットで書かれている

ものを何と呼ぶでしょう。

９．神がご自分のことばを詩にされた理由を２つ挙げてください。

10. 旧約聖書のなかで、詩書以外のところで詩が書かれているものを１つ挙げてください。

（パートＢ　ヨブ記）

ヨブ記の概要

ヨブ記は誰が記したのかは誰も知りません。いくつかの推測では、モーセ、あるいはヨブ自身、あるいはソロモンであるとしています。いずれにせよ、ヨブ記の出来事が起こったときのことは、私たちには知る由もありません。ヨブ記の中に記録された出来事は族長の時代に起こったことを指し示していると思われています。たとえば、ヨブは１４０年以上生きました。（ヨブ４２：１６）このことはヨブがアブラハムやイサクと同じかあるいはそれ以上生きたということを示しています。ヨブ記１５：１０もまたヨブの時代の人々の長命を支持する見解を示しています。「ケシタ」というのは銀の重さを表す単位として創世記３３:１９とヨブ記４２：１１で使われています。悪魔（Satan)という言葉もまたヨブ記で確立されています。これはヨブ記が書かれる前には、正式な名前がつけられてなかったということを指していると思われます。

本書の記述されていることは、族長時代の間の出来事だということを示していると思われます。ヨブ記の舞台となったところはウツという地で、現在のサウジアラビアの一部であったとされています。

第１章と第２章のヨブの紹介は散文体で書かれています。しかし、残りの部分は、叙事詩の形式で書かれています。聖書の霊感を受け入れない者でさえも、ヨブ記は通常、世界でも屈指の叙事詩の傑作であると評価しています。実は叙事詩のほとんどは空想上のことを語っているのではないのです。ヨブ記の出来事も他の聖書の書物の出来事も、歴史的事実であることは明白です。叙事詩は単にその主張と美しさを加えただけというのが真相です。

ヨブ記のヘブル語原典を翻訳する者は、本書が聖書中で最も翻訳が困難であると悟ります。私たちにはある言葉や表現の意味を推察するしか出来ないのです。ですが、聖霊が伝えたい思いは明確に伝わってきます。

ヨブ記の主題

ヨブ記の主題は古代人だけではなく、地上にいる者にとっての不変の関心事であるということです。問題が提起されます。以下が主題です。もし神が正義で善良であるならば、なぜ神はご自身の創られた人間を苦しめるのであろうか、ということです。これが、ヨブに大いなる苦しみに遭ったときの疑問でした。同じように、私たちの教会の中の信仰深いキリスト者が苦しみに遭ったり、災害が私たちを襲ったりしたときに私たちが抱く疑問でもあるのです。

苦しみの問題に対する明確な解答は、ヨブ記の中にはありません。ヨブの３人の友人は、何故ヨブが苦しみに遭うのかという疑問に、誤った答えをしばしば出

しています。彼らはあまりにも簡単に、ヨブの苦しみは彼の罪に対する神の罰であると決め付けてしまいました。すべての物事は、最後は神の手にあります。それは信じる者の苦痛を支配しているのも、なぜこんな苦しみがあるのだろう、という疑問の回答も神の手にあるということなのです。

新約聖書には、キリスト者が苦しみに遭ったとき、いつも慰めとなる確信が記されています。「**神を愛する人々、すなわち、神のご計画に従って召された人々のためには、神がすべてのことを働かせて益としてくださることを、私たちは知っています。**」（ロマ８：２８）また、「**主は、いつまでも見放してはおられない。たとい悩みを受けても、主は、その豊かな恵みによって、あわれんでくださる。主は人の子らを、ただ苦しめ悩まそうとは、思っておられない。**」（哀歌３:31-33）私たちはまた、神が私たちの信仰を成長させるため、より神への信頼を増すために、このような経験をさせてくださることを知っています。ヤコブはこう言っています。「**私の兄弟たち。さまざまな試練に会うときは、それをこの上もない喜びと思いなさい。信仰がためされると忍耐が生じるということを、あなたがたは知っているからです。その忍耐を完全に働かせなさい。そうすれば、あなたがたは、何一つ欠けたところのない、成長を遂げた、完全な者となります。**」（ヤコブ 1:2-4）

主題とあらすじ　　主題－神を信じる者の苦しみの問題

１．災難がヨブを襲う	（１－２）
２．３人のヨブの友人が彼の苦しみについて論争する	（３－３１）
３．エリフの演説	（３２－３７）
４．神がヨブに語り、全てをもとに戻す	（３８－４２）

ヨブ記の内容

ヨブは攻めどころのない、高潔な神を信じる者でした。神はそれを豊かな富と健康、そして素晴らしい家族で祝福されていました。神はサタンにヨブからすべての物を取り去ることをゆるされました。ヨブは富を失い、子ども達は殺され、頭からつま先までひどい腫れ物にさいなまれます。それでもヨブは信仰に立ってこのように言いました。「**主は与え、主は取られる。主の御名はほむべきかな。**」（1:21）

３人のヨブの友人、エリファズ、ビルダデ、ツォファルがヨブの苦しみについて議論するために来ました。３人は何故ヨブが苦しみに遭うのか、何をしなければならなのかという様々な論議を提示しました。ヨブは彼らに答えました。次にエリフが自分の意見を述べます。ヨブの信仰は、時としてその苦しみの中で弱まったかに見えますが、彼は信仰を捨てませんでした。神はヨブの信仰で耐えられない以上の苦しみはお与えになりませんでした。１９章２５節から２７節で、ヨブは来たるべき贖い主への信仰ついての美しい告白をしています。「**私は知っている。私を贖う方は生きておられ、後の日に、ちりの上にたたれることを。私の皮が、このようにはぎとられて後、私は、私の肉から神を見る。この方を私は自分自身で見る。私の目がこれを見る。ほかの者の目ではない。私の内なる思いは私のうちで絶え入るばかりだ。**」

ついに神はご自身でヨブに語られます。神はヨブに自分の小ささを示すような

一連の質問を尋ねられました。ヨブは神のなさることに疑問を抱いたことを後悔し、神の慈悲にその身を委ねたときに、満足を見出しました。最後に神はヨブを再び繁栄させ、彼が以前持っていた物の二倍をお与えになりました。

憶えておくべき聖書の箇所

「私は裸で母の胎から出てきた。また、裸で私はかしこに帰ろう。主は与え、主は取られる。主の御名はほむべきかな。」

「私は知っている。私を贖う方は生きておられ、後の日に、ちりの上にたたれることを。私の皮が、このようにはぎとられて後、私は、私の肉から神を見る。この方を私は自分自身で見る。私の目がこれを見る。ほかの者の目ではない。私の内なる思いは私のうちで絶え入るばかりだ。」

ヨブ記について以下の質問に答えなさい。

１．ヨブ記の出来事があったのはおそらくは_____時代のことです。

２．ヨブは_____というところに暮らしており、それはおそらく現在の_____の一部であったところです。

３．ヨブ記の大部分は_____という形式で書かれました。

４．ヨブ記中心的な主題である疑問とは何ですか。

_____

５．ヨブ記は現代の私たちにも意味深い物があります。それは何ですか。

_____

６．神が私たちに苦しみをお与えになることを知ることがなくても、知ることができたとしても、どうあるべきでしょう。ローマ人への手紙 8:28 で何とパウロは書いていますか。

７．ヨブ記の主題４つを書いてください。

１．

２．

３．

４．

８．ヨブの友人３人の名前は何ですか。＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

９．ヨブ記の終わりで神は＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿ということを学びました。

10. ヨブ記の 1:21、19:25-27 を何も見ないで書いてください。

11. 神はヨブを祝福し、彼に以前の２倍をお与えになったのに、子どもは以前と同じ人数をお与えになったのは何故ですか。

レッスン１６　詩　篇 (Psalms)

詩篇の概要

詩篇は旧約聖書時代の讃美歌集であり、祈祷書であり、式文でもありました。それらは神殿の祈祷者たちに常に使用されていました。彼らが神殿に上がり祈りを捧げるときに使用されていました。現代においても詩篇は賛美の一部であり、祈りの一部であり、式文の一部となっています。詩篇の多くは私たちの讃美歌の基礎となっていますし、個人の祈りにも詩篇は使われますし、私たちの式文も、詩篇から引用した部分があります。（参：集会のときの言葉や説教の後の歌、詩篇 51:10-12）

詩篇のヘブル語の名称は「Sepher Tehillim」(セファー・テヒリム)または賛美の書（The Book of Praises）英語の Psalms（詩篇）はギリシャ語から来ており、「弦楽器の伴奏によって唄われる歌」という意味です。

聖書の詩篇１５０篇は、実際は５巻に分けられています。それらは以下の通りです。
１．詩篇　１－４１　　２．詩篇　４２－７２　　３．詩篇　７３－８９
４．詩篇　９０－１０６　　５．詩篇１０７－１５０

これらの各巻は頌栄や賛美の言葉をもって区切られています。例えば、「ほむべきかな。イスラエルの神、主。とこしえから、とこしえまで。アーメン。アーメン。」といったようにです。詩篇１５０篇は詩篇全篇を頌栄するかたちで終わっています。古代ユダヤの言い伝えでは、詩篇が５巻に分けられたのはモーセ５書と対応させるためだったといわれています。モーセを通じての神の５書の概念と詩篇における人間の５つの姿と対応しているのです。

詩篇の表題・題名について

詩篇のうち１１６篇には、題名あるいは表題がそのはじめに記されています。（残り３４篇には題名はなく、それらは「孤児の詩篇」と呼ばれています。）詩篇の題名は以下のような情報を与えてくれます。１）だれが作者か、２）それが書かれたときの状況、３）誰に対して詠んだものか、４）指揮者のためのものか、ということが記されているからです。題名の中の幾つかの情報は、私たちには簡単には理解できません。何故なら、ヘブル語は私たちにとってはミステリアスであるからです。詩篇の３－６篇を見て下さい。そこには題名が様々な情報を与えてくれるのが分かるでしょう。

１００篇あまりの詩篇には著者の名が記されています。ダビデの名は、７３篇もの詩篇に記されており、これはダビデが７３の詩篇の実質的な著者であることを示すものであり、ある場合においては、その詩篇がダビデに対して捧げられたことを意味する場合もあります。表題から次の人物もまた、詩篇の著者であることが分かります。モーセ（１）、ソロモン（２）、アサフとアサフ族（１２）、コラの息子たち（１２）、ヘマン（１）、エドトン（１）

詩篇は集められたものだった

詩篇を書いた沢山の人たちは、それらを同時に書いたのではないことは明白です。それらはモーセの時代からバビロン捕囚の終わりにまでわたっています。（詩篇 90 篇はモーセが書きました。137 偏は捕囚のことが書かれています。)それらが意味することは、詩篇が 1000 年にわたって書かれたということです。聖霊が人間の著者それぞれに働きかけ、聖霊を通じて神の言葉をもたらすように取り計られたのでした。ユダヤの言い伝えによると、筆書者エズラが最終的に１５０篇すべての詩篇を集め、1 巻の書物にしたとされています。

詩篇の種類について

詩篇はその多様な様式のために、多くの分類が試みられてきました。私たちが詩篇を読むにあたり、それらの中には共通した主題があることに気付くでしょう。それらの主題が詩篇を種類なり様式なりに分けることを可能にするのです。以下には一般的な詩篇の分類を挙げ

ておきます。

ハレルヤ詩篇（HALLELUJAH　PSALMS）

　この種の詩篇の主題は、神への賛美です。「ハレルヤ」とはヘブル語で「神を褒め称えます」ということです。このことばは次の詩篇に何度も見受けられます。

（詩篇 106、111、112、113、117、135、146、147、149、150）

ざんげの詩篇（PENITENTIAL PSALMS）

　この種の詩篇では、罪を犯した者の悔い改めの気持ちを表わし、罪の告白と赦しを願うということがこれらの詩篇に流れている主題です。詩篇 51 篇はざんげの詩篇の秀逸な例です。読む前に題名を見ておいてください。

（詩篇６、32、38、51、102、130、143）

おしえの詩篇（DIDACTIC　PSALMS or TEACHING PSALMS）

　「didactic」という語は「教える」という意味です。これらの詩篇では信仰深い生活についての教えが見受けられます。詩篇１篇がその例です。

（詩篇１、５、７、15、50、73、94、101、１３９）

のろいの詩篇（IMPRECATORY PSALMS）

　この種の詩篇は、神に不信仰な敵に罰を願い、不善が止み、神が褒め称えられることを願うものです。「imprecatory」（訳者注：辞書では、人に災難が降りかかるように願うこと、となっています。)という語は「訴える」ということです。この詩篇の例では３５篇があることを記しておきます。

（詩篇 35、58、59、69、83、109、137）

メシヤ的詩篇(MESSIANIC PSALMS)

　この種の詩篇では、来るべき救世主についてが書かれています。新約聖書でも詩篇に救世主イエスのことが述べられていることがでてきます。例えば、詩篇２２篇は十字架上でのキリストの苦しみがありありと描写されています。まるでイエスの言葉を予言するかのようにです。

（詩篇 2、8、16、22、23、24、31、40、41、45、68、69、102、110、118）

すべての人が必要な書物

　幾世紀を越えた神を信じる者は、詩篇が神聖な言葉を持ち、ほとんどすべての人の要求に合致することを知っています。それゆえ詩篇は聖書のなかでも最も読まれ、愛されてきた書物であるのです。あなたが悔い改めの言葉を必要としていたら、ざんげの詩篇めくってください。あなたが特別な神の祝福のために、神を賛美したいのなら、ハレルヤ詩篇を読んでください。あなたが大きな不安におそわれ、神の慰めが必要なとき、詩篇の２３篇を読んでください。幾世紀にもわたり、キリスト者たちはその必要を表わすために詩篇をもちいてきたのです。あなたが喜びに踊り跳ねているときも、痛みに苦しんでいるときも、あなたの必要にぴったりの表現が詩篇にはあるのです。

このレッスンを終えたら、以下の質問に答えましょう。

１．詩篇は旧約聖書時代の＿＿＿＿＿であり＿＿＿＿＿＿、＿＿＿＿＿でもあった。

２．私たちの式文でも、詩篇の一つが_____されています。

３．詩篇「Psalm」という言葉はギリシャ語で_____
_____という意味です。

４．１５０篇から成る詩篇は、いくつの巻に分けられていたでしょう。

５．それぞれの巻は_____、_____の言葉で区切られています。

６．詩篇１５０篇のなかで、____篇は題名もしくは_____が付けられています。

題名が付けられていない３４篇は_____の詩篇と呼ばれることもあります。

７．詩篇の表題からわかる情報を４つ挙げてください。

１．

２．

３．

４．

８．７３篇の詩篇には_____の名が表題に記されており、その他の詩篇は_____

_____、_____、_____、_____、や_____が書きました。

９．詩篇は_____の時代から_____の時代の間に書かれました。
という事は詩篇は_____年にわたって書かれたということです。

10. 聖霊が詩篇を一つの書物にまとめさせた人物は誰ですか。

11. レッスンで学んだ、詩篇の種類を５つ挙げなさい。

12. 次に挙げる詩篇はどの種類の詩篇ですか。

詩篇１、詩篇５１、詩篇１５０、

詩篇２２、詩篇３５

２３篇を暗記しましょう。

レッスン１７　箴　言（Proverbs）

Rev 1-9-01

箴言の概要

箴言とは「短い格言」あるいは「短い言葉の中に知恵を盛り込んだもの」のことです。箴言とは格言を集めた書物ということになります。

箴言の目的は特に若い人たちに知恵を教えることです。知恵は神で始まり、永遠の命に至ることを銘記（めいき）しています。箴言の 1:7 には、「主を恐れることは知識の初めである。」とありますし、4:18 には「義人の道は、あけぼのの光のようだ。いよいよ輝きを増して真昼となる。」同じように、12：28 では「正義の道には命がある。その道筋には死がない。」とあります。箴言は、単にこの世でどうすれば成功するかについての格言であると考えてはなりません。それは神の前での罪と神聖についての道徳的な教えの書物です。箴言に書かれている律法を通じ、神は神の知恵と知識を拒む者に罰を下すとしています。（箴言 1:20-33）　箴言に書かれている福音を通して、神は罪人を慰め、罪人が感謝に満ちて生きるように励まし、神の栄光をもたらす正義の道に生きることによって、神の偉大な愛にこたえるのです。

個々の箴言を読んでいくと、箴言は一般的な真実を述べてはいますが、必ずしも不変的な真実を述べているのではないことを憶えておいてください。例えば、箴言の 22:6 は

「若者をその行く道にふさわしく教育せよ。
そうすれば、年老いても、それから離れない。」

これは確かに真実です。もし若者がすぐれた教育を受けたのちに、道をはずすこともあるわけで、この箴言はこのような例外も認めてはいるのです。箴言の教える真実は一般的真実なのです。別の言い方をするならば、箴言は私たちに、神の栄光に帰する生き方の原理原則を教えているのです。

箴言の著者

箴言は次のように始まっています。**「イスラエルの王、ダビデの子、ソロモンの箴言。」**ソロモンは箴言の大部分を著わしました。ソロモンは箴言の１章から２９章までを少なくとも語り、または著わしたとされています。また私たちはソロモンが箴言以外でももっと沢山の格言を著わしているのを知っています。第１列王記 4:32 に**「彼（ソロモン）は三千の箴言を語り、彼の歌は一千五首もあった。」**とあります。なぜソロモンの箴言のすべてが聖書に記されていないのでしょう。それは神が私たちの救いに必要な格言をもたらしたからなのです。

３０章と３１章の表題にでてくるアグルと王レムエルの２人によっても箴言がいくつか書かれました。22 章 17 節と 24 章 23 節は幾人かの読み人知らずの箴言が寄稿されています。

箴言の概要

箴言に記されている個々の格言は、一つの主題に沿っていないので、論理的に概略を付けるのは困難なのです。ですが以下に示した概要は、いくらかの参考になるはずです。

１．知恵に関する訓戒　　（1:1－9:18）

２．６つの箴言集　　（10:1－31:9）

３．完璧な妻についての折句詩（アルファベット詩）（31:10－31）

箴言に盛り込まれた幾つかの重要なテーマについて

１．知恵と愚かさ－賢者と愚か者（Wisdom and Folly – Wise man vs Fool）

箴言は神による賢い生き方と、人間の自分勝手な生き方とを対比させています。例えば、10:23、12:1、15:5 を参照してください。

２．正義と悪（The Righteous and the Wicked）

このテーマの箴言は正しく生きる事とその祝福、それに対して邪悪な滅びに至る生き方を対比しています。10:3、12:2-3、16:8 を参照のこと。

３．ことばと舌（Words and the Tongue）

箴言の多くはことばのふさわしい使い方と、不適切な使い方に関して助言が与えられています。次の箇所を記しておきます。11:11-14、27:2

４．家　族（The Family）

このテーマについての箴言は、幸せが続く家庭生活について、あるいは家庭生活を破滅させることについての助言が与えられています。10:1、13:1、12:4 参

５．子ども達を育てること（Raising Children）

聖書は最後の日には人々は「両親に従わない者」になると予言しています。（テモⅡ3:2）主な理由の一つには、両親が子ども達を訓練しないからです。（ヘブ 12:9）これは基本的な霊的原則であり、もし子どもらがこの世の両親を敬えないのであれば、天の父をも敬えないことになるからです。箴言は私たちに語っています。もし両親が子どもを愛するならば、子どもの訓練に失敗することはない、と。（13:24）　何故なら、両親はその訓練は子どもにとって永遠に良いことであるのを知っているからです。（23:13-14）当然のこととして、それらの訓練は愛をもって行なわなければなりません。（箴 3:11-12、エペ 6:4）子どもは産まれたときは愚かである（22:15）そして、私たちの愛と強い指導を必要としています。（22:6）私たち親は、子どもたちに対して主なる神への偉大な畏敬と尊敬の念を教える必要があります。それは子ども達が神からの真の知恵をいただくためにです。（9:10）

６．怠惰と勤勉（Laziness and Hard Work）

このことがテーマの箴言は次の箇所です。10:4-5、22:13、24:30-34

箴言についての以下の質問に答えてください。

１．箴言とは＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿です。

２．箴言の目的は＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿です。

３．箴言では真の知恵とは＿＿＿＿＿＿＿＿から始まると銘記しています。

４．箴言は_____的な真実を述べたものであることを憶えておくことは大切です。

５．箴言の主な著者は_____です。

６．箴言の中で、幾つかの格言を書いた２人は_____と_____です。

７．箴言の３つの部分からなる概要を書いてください。

８．箴言に盛り込まれた６つのテーマについて挙げてください。

９．箴言ではよく２つのことがら、例えば賢者と愚者、怠惰と勤勉などが対比されています。一方箴言ではどのような類似をしばしば見受けるでしょうか。

10. 箴言の 31:10-31 は折句詩形式です。ヘブル語原典ではこの詩はどのような方法で書かれていたものでしょうか。

レッスン１８　伝道者の書と雅歌（ソロモンの歌）
(Ecclesiastes & Song of Songs [Song of Solomon])

（パートＡ－伝道者の書）

名前の由来と著者

「Ecclesiastes」（伝道者の書）とはギリシャ語で「教師」あるいは「伝道者」を意味します。伝道者の書はこのように始まっています。「**エルサレムの王、ダビデの子、伝道者のことば。**」だれが教師、または伝道者なのでしょう。伝道者の書の著者は誰なのでしょうか。先の記述に当てはまるのはソロモンしかいません。ですから、ソロモンの名が直接的に書かれていなくとも、ダビデの息子でエルサレムの王ならば、ソロモンしかあり得ないのです。本書の内容は、ソロモンが老いた後、自分の人生を振り返って書いたものと思われます。

伝道者の書の主題

本書で一貫して繰り返されている主題は、人生とはこの世の物のためだけに生きたとしたらむなしい、ということです。ソロモンは知恵、快楽、苦労、富裕（ふゆう）のなかに満足を見出した後に伝道者の書を著わしました。彼がそれらのものに多少なりとも満足を見出しては見ても、ソロモンはそれらすべてを「空（くう）である！むなしい！」と言っています。ヘブル語で「むなしい」「meaningless」とは「空気」あるいは「息」という意味です。ちょうど私たちの息は実体がないのと同じように、この世のものもいつまでも実体を持ち続けるわけではありません。つまりはそれら自身は基本的には空っぽで意味のないものです。賢者ソロモンは、私たちに真の満足はこの世の物では得られないことを思い起こさせてくれたのです。（参照：ルカ９：２５、１２：１５）

ソロモンが読み手に対し、知識や快楽、苦労ということから心をとらわれないよう奨励しているとき、彼はこれらのことを押しのけるべきだとは言っていないのです。彼はそれらを神の手からのものとして受け入れ、それらが与えてくれる良い点は楽しむように勧めています。しかしこの世から出た物は「日の下にあるもの」です。私たちは地上で天国を見つけることを期待してはならないのです。

伝道者の書の終わりにソロモンは次のように語っています。

「結局のところ、もうすべてが聞かされていることだ。
神を恐れよ。神の命令を守れ。
これが人間にとってすべてである。」（12:13）

この世の物によるものは全く意味がなく、空虚なものです。しかし人が神を自分の中心に据えたときに、人生の意味を見出すのです。私たちが神との関係を思い出してみるとき、地上での命は生きがいのあるものというだけでなく、さらには喜びに満ち溢れてきます。しかし、憶えておかなくてはならないことは、完全な喜びと満足は、天国のみにあるということです。「日の下」での生活は、神の臨在する天国での完全な生活と比べると、いつも意味のないものに見えてしまうのです。

伝道者の書に反復されている節

「空の空。伝道者は言う。空の空。すべては空。」（１：２）

「日の下には新しいものは一つもない。」　　（１：９）

「天の下では、何事にも定まった時期があり、すべての営みには時がある。」
（３：１）

「また、人がみな、食べたり飲んだりし、すべての労苦のなかにしあわせを見いだすこともまた神の賜物であることを。」　（３：１３）

「ふたりはひとりよりも勝っている。ふたりが労苦すれば、良い報いがあるからだ。」　（４：９）
「神の宮へいくときは、自分の足に気をつけよ。近寄って聞くことは、愚かな者がいけにえをささげるのにまさる。」　（５：１）

「金銭を愛する者は金銭に満足しない」　（５：１０）

「母の胎から出て来たときのように、また裸でもとのところにかえる。」（５：15）

「この地上には、善を行ない、罪を犯さない正しい人はひとりもいないから。　（７：２０）

「あなたの若い日に、あなたの創造者を覚えよ。」（12：１）

「多くの本を作ることには、限りがない。多くのものに熱中すると、からだが疲れる。」　（１２：１２）

「神を恐れよ。神の命令を守れ。これが人間にとってすべてである。」（12：13）

（パートＢ　雅　歌）

愛の詩

雅歌、あるいはソロモンの雅歌と呼ばれているように、これは男と女の間の愛を主題にした詩です。この詩に出てくる情景の多くは田園の描写です。私たちはしばしばこの種の詩を「牧歌」と呼んでいます。これは牧草地について歌われることからこのように呼ばれているのです。（**「私はシャロンのサフラン、谷のゆりの花。私の愛する方は、かもしかや若い鹿のようです。」**）雅歌に登場する恋人らはお互いを愛するという喜びと、情熱に満たされています。

本書はすべて、女の恋人、男の恋人、彼らの友人のことばから構成されています。新改訳聖書では、「女の恋人」、「男の恋人」、「友よ」といった３人の語り部を配しています。雅歌の読み手はやがて、愛しい人と彼女の恋人が間に交わされる、肉体的な魅力の大胆な表現に驚かされることでしょう。雅歌に見られる表現には困惑させられます。そのような理由で、ユダヤの３０歳前の男達には、雅歌は読ませませんでした。しかし、私たちが忘れてはならないのは、神が２つの性の魅力をお造りになったのです。
それは男とその妻が一身同体として生きていく上で、お互いの魅力を楽しむことは、神のご計画なのです。夫と妻の間の魅力は、「とても良いもの」として神が造られたのです。男が持つ罪深い肉欲は、しばしば神からの良いものを汚いものへと変えてしまうのです。

寓話なのか文字通りか

ユダヤ教とキリスト教は、雅歌の描写は、神が神の民にしめす愛の寓話であると解釈しています。（寓話とは事実あるいは想像を用い、高度なことを教えようとするときに語られる話のことです。訳者：たとえ話のこと）この考えに従えば、キリストが詩の中の愛する方、ということになり教会が愛しい神の花嫁ということになります。確かにこれは根拠のある解釈かもしれません。しかし雅歌自身には寓話的な要素はないということを言っておかなくてはなりません。とはいえ聖書の別の箇所にもそのような描写が出てきます。（エペ５:25-27、黙 22:17、イザ 61:10、エゼ 16:1-32、ホセ 1:2、2:2、７、16）雅歌に述べられている男と女の愛について読むとき、私たちは当然すべての人間に対する愛、キリストの愛の贖いについて強く思い起こすでしょう。

著　者

雅歌のはじめの表題には「ソロモンの雅歌」と書かれています。この表題から、雅歌はソロモンの手によるもの、あるいはソロモンとシュラムの女である彼の花嫁との愛を示したものといえるでしょう。

私たちが雅歌についてどんなに著者についてや解釈を試みようと、聖霊が神聖なる著者であり、神が雅歌に聖霊を、「私たちを教えるのに」込められたことを忘れてはいけません。。雅歌の美しい詩において、聖霊は神の賜物である人間の愛、と同時に私たちに対する偉大な神の愛を教えてくださっているのです。
（あなたと先生で、新改訳の雅歌を通覧してみてください。）

レッスン 18 についての質問に答えてください。（テキストは見ずに）

１．「Ecclesiastes」というのは_____、あるいは_____という意味です。

２．伝道者の書の著者は_____です。

３．伝道者の書の主題はもし_____だけに生きたら_____

_____いということです。

４．ソロモンの生涯を通じ、次のようなものに満足を見出そうとしました。それらは
_____　_____　_____　_____といったものでした。

５．伝道者の書では、_____を人の中心においた生活にのみ満足を見出せるとしています。

６．伝道者の書の終わりで、神をおそれよ、_____
と書かれています。（12:13）

７．以下の箇所を完成させてください。

日の下には_____。

_____を愛する者は金銭に_____。

_____は_____よりも勝っている。

あなたの_____にあなたの_____を覚えよ。

この地上には_____、罪を_____。

８．雅歌の別の呼び名は_____。

９．雅歌の主題は_____。

10．雅歌の中の詩は_____と呼ばれており、それは_____についての描写があるためです。

11. 雅歌で語られる３人の人物は誰でしょう。

12. 寓話とは何ですか。

13. 雅歌が寓話の詩だとしたら、それはどのような寓話ですか。

14. 雅歌が寓話だとしたら、どのような危険性がありますか。

15. 男と女の愛について語られている雅歌に、私たちが当惑する必要がないのは何故ですか。

16. 雅歌の著者は、おそらくは_____です。

レッスン１９　大預言者とイザヤ書
(The Major Prophets and Isaiah)

（パートＡ-大預言者）

私たちは今までのところ、聖書の２２巻を学びました。５巻の律法書、１２巻の歴史書、５巻の詩です。これまでの２２巻と聖書の残りのページを比べてみるならば、もう聖書の半分以上をすでに勉強してきていることに気付くでしょう。

旧約聖書ではこれから学ぶべき２種類の巻があります。大預言者の書と小預言者の書です。レッスン１を参考にして、大預言者の名を下に書き出しましょう。

＿＿＿＿＿＿　＿＿＿＿＿　＿＿＿＿＿＿　＿＿＿＿＿＿　＿＿＿＿＿

４巻だけにのみ大預言者の名が付けられています。どの巻は預言者の名が付けられていないでしょうか。

預言者とは

預言者とは何でしょうか。預言者とは神のことばを人間に語る人のことです。預言者は神に召命された祭司であり、「主はこう言われる」といって人々に語りました。預言者の仕事の一部として、未来の事について語ることもあります。しかしそのことが預言者が行なう仕事の全てではないし、預言者の仕事の大部分でもないのです。そのことは単に、人々が預言者が確かに神のことばを語っているのを確認するために行なわれたのです。（申命記 18:21-22、第１列王記 22:28、エレミヤ書 28:9、第１サムエル記 9:6）新約聖書を書いた人々（使徒たちと仲間）また使徒たちと一緒に福音を宣べ伝えていた人々は、当時の人々に話した言葉が確かに神の言葉を認めるために旧約時代の預言者と同じように御言葉を証明するために奇跡を行いました。（出エジプト記 4:29-31、使徒 14:3、マルコ 16:20、第２コリント 12:12）

ある預言者らを「大預言者」と呼び、ある者たちは「小預言者」と呼ばれています。（大とは偉大さのこと、小はその下位という意味ではありません。）これらの呼び名で呼ばれるようになったのは、大預言者がより長い巻を書き、小預言者が短い巻を書いたからです。このことを確めるために様々な預言書の章数を見てみましょう。

預言者たちはユダやイスラエルの人々に、４００年にもわたり神の言葉を教え、書いてきました。次の頁の年表を学ぶと、様々な預言者たちが生きた正確な年代がわかると思います。大預言者の名前にはアンダーラインが引いてあります。あなたの先生が年表をもとに概説してくださると思います。

以下の質問に答えてください。

１．旧約聖書で私たちが学ぶのは、あと何巻でしょう。

２．私たちがこれから学ぶべき旧約聖書の２種類の巻とは何ですか。

３．預言者とは何ですか。

４．ほとんどの預言者の仕事には、未来を語ることが含まれています。

正（　　）　　誤（　　）

５．ある人たちは大預言者と呼ばれていますが、これは＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿からです。

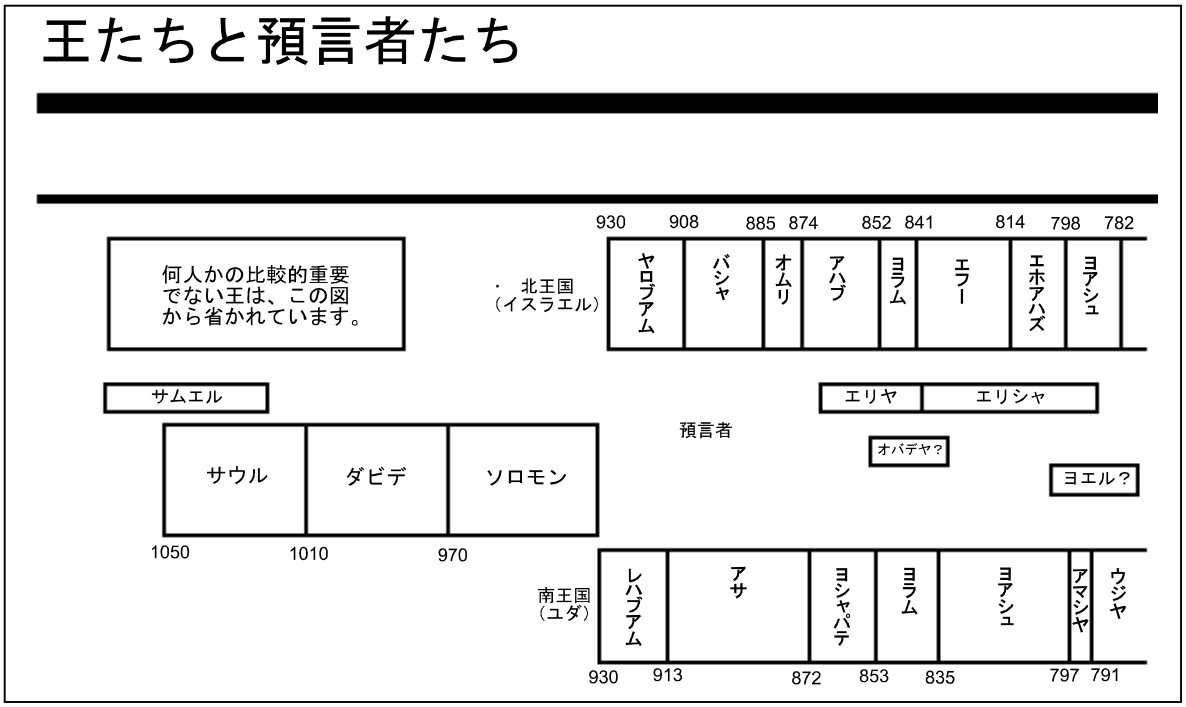
６．年表を見て、以下の質問に答えましょう。

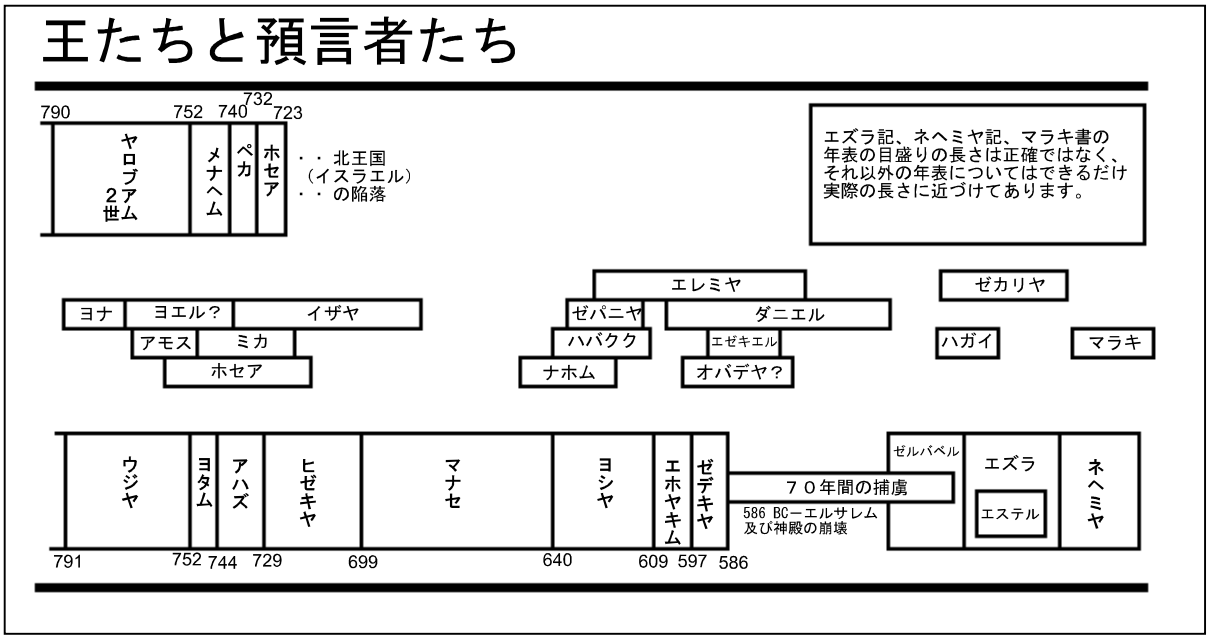
a. 正しい年代順に４人の大預言者の名前を書いてください。

b. ヨエルとイザヤではどちらが先に生きたでしょう。

c. ミカと同じ時代に生きた預言者は誰ですか。

d. 最後の小預言者は誰ですか。





王と預言者に関する年表

(B.C) 年　代	ユダの王	預言者	イスラエルの王	世界の覇権
９３０	レハブアム		ヤロブアム	
９１３	アビヤ			
９１０	ア　サ		ナダブ	
			バシャ	
			エ　ラ	
			ジムリ	
			オムリ	
８７２	ヨシャパテ	エリヤ	アハブ	シリア
		エリシャ	アハズヤ	
８５３	ヨラム		ヨラム	
８４１	アハズヤ		エフー	
８４１	アタルヤ			
８３５	ヨアシュ	ヨエル	エホアハズ	
		ヨ　ナ		
７９７	アマズヤ		ヨアシュ	
７９１	ウジヤ	アモス	ヤロブアムⅡ世	アッシリア
	（ｱｻﾞﾙﾔ）		ゼカリヤ	
			シャルム	
		ホセア	メナヘム	
			ペカフヤ	
７５２	ヨタム		ペ　カ	
７４４	アハズ		ホセア	
７２９	ヒゼキヤ	ミカ　<u>イザヤ</u>		
６９９	マナセ	ナホム		テーベの破壊
６４３	アモン			
６４０	ヨシヤ	ゼパニヤ		アッシリア崩壊
６０９	エホアハズ	ハバクク		
		<u>エレミヤ</u>		第一回バビロン侵攻
６０９	エホヤキム	オバデヤ		
５９８	エホヤキン			第二回バビロン侵攻
５９７	ゼデキヤ	<u>エゼキエル</u>		第三回バビロン侵攻
５８６	**バビロン**	<u>ダニエル</u>		ペルシャ
	の捕囚			シラス
５３８	ゼルバベル	ハガイ　ゼカリヤ		ダリヨス
４５７	エズラ			クゼルクセス
４４５	ネハミヤ			ダリヨスⅡ世
		マラキ		

（パートＢ　イザヤ書）

預言者イザヤ

イザヤの名は聖書の預言書の著者の中で最初にでてきます。これはまさに預言者の中で最も偉大だということを表わしています。年代的にはイザヤより前にも預言者は出てきますが、彼ほどは偉大ではなかったのです。

イザヤはユダ王国のエルサレムに住んでいました。私たちは彼の私生活については、アモズの息子で、結婚して２人の息子がいたということ以外はほとんど分かりません。イザヤは４人の王の治世の間預言をしました。ウジヤ（アザリア）、ヨタム、アハズ、それにヒゼキヤです。（イザ 1:1）第６章でイザヤは神から召命され、預言者として仕える話があります。彼は「ウジヤ王が死んだ年」に召命されました。（6:1）これはおよそ紀元前 739 年のことでした。イザヤが神の召命を受けることについて、第６章を読みましょう。

第６章の言葉が示すように、しばしばイザヤの言葉は心をかたくなにさせ、耳を傾けてもらえませんでした。彼は人々の罪が神の裁きにあうことを、律法の強い言葉を用いて説教しました。イザヤはまた、慈悲深い神の慰めの言葉も語っています。ゆるしを与え、人々を回復させる神のことです。イザヤの名前はそれ自体神の愛を表わしています。イザヤという名は「主は救いなり」あるいは「主の救い」という意味です。

イザヤ時代の世界の歴史

イザヤ書を読む上で、いくらかの歴史を覚えておくことは有用です。神の手におえない民に対する裁きとして、神はしばしば外国の勢力を使われました。イザヤの時代の強国はアッシリアでした。神がアッシリアに北の王国を破壊することをゆるすという神の裁きのことを聞いたとき、イザヤはすでに１８年間も説教をしていました。あなたは何年にアッシリア人が北王国の首都サマリアを破壊したのか覚えていますか。その年を書いてください。＿＿＿＿年アッシリア王は、のちにエルサレムも征服しようと試みますが、神はそれをお許しにはなりませんでした。イザヤがエルサレムにいるヒゼキヤ王に語ったとおりにです。

イザヤの特別な預言

神はイザヤの生涯中に起こることだけを説くのを、許されたわけではありませんでした。神はまたイザヤに対し、遠い未来に起こることを公布することをお許しになりました。預言の幻によれば、彼はバビロニアの手により紀元前６１２年にアッシリアの治世が終わることを”見た”のです。彼はまた、ユダヤ人のバビロン捕囚と 70 年後にユダに帰還することも”見た”のです。神からの預言の賜物によって、イザヤは２00 年にもわたる未来の出来事を見通し、書き記したのでした。

しかしイザヤには遠い未来のことを見るのを許されていた事より、もっと大切な事がありました。イザヤには、一人の処女がインマヌエルと呼ばれる息子を生むであろう、ローマ帝国許されていたのでした。（7:14）有名な５３章でイザヤは、ご自身の傷によって私たちを癒しに来られる平和の君の苦しみと復活を”見る”ことを許されたのでした。イザヤの見た明確な救い主とその御わざの幻により、彼は”旧約聖書の福音伝道者”と呼ばれることもあります。聖霊の奇跡により、イザヤを通じて旧約聖書の民は、神の御子によって準備された救済の明確な描写を得ることができたのです。

第５３章を必ず読んでください。そこに書かれたのは、キリストの御わざがなされた７００年以上も前のことだということを覚えておいてください。イザヤの時代の人たちは、次のように言えたでしょうか？「おれたちには救い主のことなんか、知る方法がなかったのさ！」と。

著者は一人

聖書の批評家の多くは、イザヤ書 66 章を一人で書けたはずがないと主張しています。ある者たちは、イザヤ書を書くのには少なくとも３人必要であるとしています。彼らが言うには、１－３９章までを一人が書き、40－54 章までを別の一人が書き、55－66 章はもう一人が書いたというのです。この見解を証明する試みとして、66 章中のさまざまな部分の文体の違いを指摘しています。彼らはまた、一人の人間がその死後 200 年後に何が起きるかを明確に話せるはずがないと主張しています。例えば、バビロニアからの解放に関してイザヤが語ったことなどです。

しかし神と共にある聖霊の導きがあれば、あらゆることが可能になります。聖霊による素晴らしい奇跡が、イザヤに２００年後の未来を見ることを許したばかりでなく、キリストの王国とその生涯をも見ることができたのです。イザヤ書の文体の違いについて言えば、人間は通常その状況によって文体を変えたりするものです。また、書き手が年を取るにしたがって文体は変化するものです。

イザヤ書６６章が一人の著者によるものであるということは、新約聖書の証明によっても明らかです。新約聖書はイザヤ書のあらゆる章から引用しています。それがなされたということは、イザヤは聖霊のもとで、全巻を著わす信頼を与えられていたということです。例えば、次の箇所を見て下さい。マタイ 13:14（イザ 6:9-10 引用）ヨハネ 1:23（イザ 40:3 引用）、ルカ 4:17 に続く（イザヤ 61:1-2）。これらの箇所がイザヤ書の３種類の”違った部分”とされる部分から引用されていることは特筆しておきます。それをもってしても、イザヤ書が３人あるいはそれ以上の人間により書かれたという暗示にはならないのです。あきらかに、イザヤ書の著者は一人なのです。

新約聖書の証拠一覧表（イザヤの名をあげて引用されているもの）

新約章節	引用法	引用章節	反説による、第一、第二、第三イザヤの区分
マタイ 3:3	預言者イザヤ	40:3	II
マタイ 8:17	預言者イザヤ	53:4	II
マタイ 12:17	預言者イザヤ	42:1	II
マタイ 13:14	イザヤの預言	6:9-10	I
マタイ 15:7	イザヤは預言せり	29:13	I
マルコ 1:2	預言者イザヤの書に	40:3	II
マルコ 7:6	イザヤは預言せり	29:13	I
ルカ 3:4	預言者イザヤの言葉の書に	40:3-5	II
ルカ 4:17	預言者イザヤの書	61:1-2	III
ヨハネ 1:23	預言者イザヤ	40:3	II
ヨハネ 12:38	預言者イザヤ	53:1	II (III)
ヨハネ 12:39	イザヤまた言えらく	6:9-10	I
ヨハネ 12:41	イザヤの言える、見し、語りし	53:1; 6:9-10	I, II
使徒 8:28	預言者イザヤの書を読み	53:7-8	II (III)
使徒 8:30	預言者イザヤの書を読む	53:7-8	II (III)
使徒 8:32	聖書の文	53:7-8	II (III)
使徒 28:25	うべなるかな聖霊は預言者イザヤによりて語りたまえり	6:9-10	I
ローマ 9:27	イザヤも叫べり	10:22-23	I
ローマ 9:29	またイザヤの預言せしが如し	1:9	I
ローマ 10:16	イザヤ言う	53:1	II (III)
ローマ 10:20	イザヤはばからずして言う	65:1	III

イザヤ書の概略

１．イザヤの時代に関する預言　（１－３５）

これらの章はユダ、エルサレム、敵国に関しての預言です。
こららの章には、美しい救世主に関する預言が散在しています。
（イザヤ書７：１４、９：６－７、１１：１－１０）

２．歴史の幕間劇　（３６－３９）

これら４章はアッシリアのセナケリブ王がヒゼキヤ王時代のエルサレムを脅かすという歴史のことが書かれています。

また、ヒゼキヤ王の病気と神の慈悲に祈った後の回復の話も書かれています。

３．バビロンからの解放に関する預言　（４０－６６）

これらは主に、ユダと神の救済のための全教会に対する慰めの章です。
神はユダヤ人をバビロンからお救いになりました。それに神の民すべてを、神の”**しもべ**”を通じて罪から救い出されるのです。

特に重要な章は４０、５３それに６１章です。

イザヤ書の覚えておくべき箇所

「処女がみごもっている。そして男の子を産み、その名を『インマヌエル』となづける。」（７:14）

「ひとりのみどりごが、私たちのために生まれる。ひとりの男の子が、私たちに与えられる。主権はその肩にあり、その名は「不思議な助言者、力ある神、永遠の父、平和の君」と呼ばれる。（９：６－７）

「私たちはみな、羊のようにさまよい、おのおの、自分かってな道に向かって行った。しかし、主は、私たちのすべての咎を彼に負わせた。」（５３：６）

イザヤ書について、以下の質問に答えましょう。

１．イザヤは＿＿＿＿＿＿＿に住んでいました。彼は次の王たちの治世の間の出来事を預言しました。＿＿＿＿＿＿＿，＿＿＿＿＿＿＿，＿＿＿＿＿＿＿，＿＿＿＿＿＿＿＿

預言を始めたのは＿＿＿＿＿年で＿＿＿＿＿＿＿王が死んだ年です。

２．イザヤという名前はヘブル語で＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿という意味です。

３．イザヤの時代の世界の強国は＿＿＿＿＿＿＿でした。

４．イザヤは 200 年も先の＿＿＿＿＿＿＿＿と解放を聖霊の力によって見通しました。

５．第５３章は何について書かれていますか。

６．第５３章の出来事は、イザヤの時代から_____年後に起こることでした。

７．イザヤは時に旧約聖書の_____と呼ばれていました。それはどのような幻を見たからなのでしょうか。

８．多くの聖書批評家はイザヤ書 66 章は、実際は少なくても____人によって書かれたとしています。それは_____にイザヤ書の各部分で違いがあるからだとしており、一人では_____だと主張しています。また、一人の人間がその死後_____の出来事を話せるはずがないと主張してもいます。

９．イザヤ書が一人によって書かれたという証明は何ですか。

10．イザヤ書の３つの部分の概要と章を書いてください。

11．以下の箇所を完成させてください。

イザヤ書７：１４

_____がみごもっている。そして_____を産み、その名を_____となづける。

イザヤ書９：６

ひとりのみどりごが、_____

_____と呼ばれる。

イザヤ書５３：６

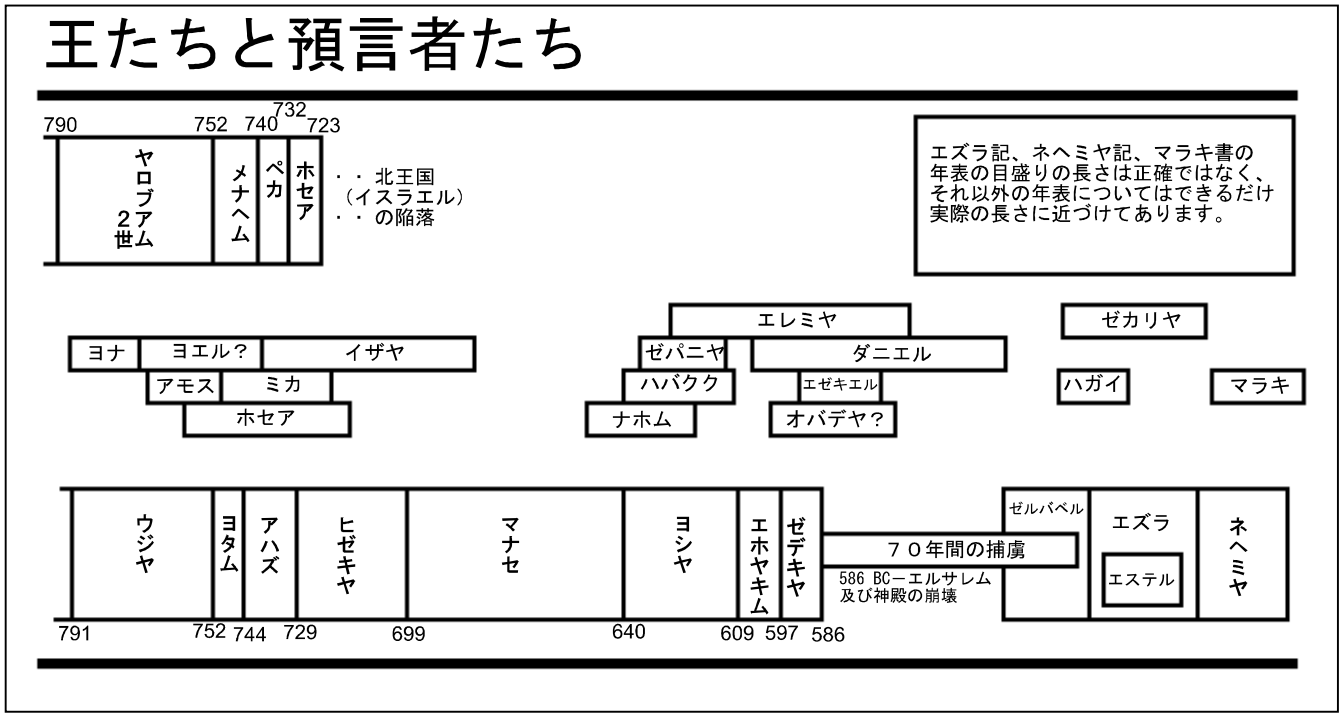
私たちはみな、_____。

しかし、主は、_____。

レッスン２０　エレミヤ書と哀歌
(Jeremiah & Lamentations)

預言者エレミヤ

エレミヤの生涯は、他の旧約聖書の預言者より知られています。彼はエルサレムの北東 6.5 キロのところにあるアナトテという村に生まれました。アナトテの祭司ヒルキヤの息子です。彼が預言者として神に召命されたのは、ユダ王国のヨシヤ王の治世１３年目のことで、それは紀元前６２７年のことです。このことはイザヤの後、１００年の預言を行なったということを意味しています。エレミヤは、神に召命を受けたときはほんの「子ども」であったと語っています。おそらくこの時エレミヤは２０歳くらいであったと思われます。彼の聖職在位は紀元前５８６年のエルサレム陥落まで続きました。さらに４０年以上にもわたりエレミヤは説教をしました。かれの聖職在位はユダの５人の王の治世の期間にわたりました。ヨシヤ、エホアハズ、エホヤキム、エホヤキン、それにゼデキヤ王の治世でした。エレミヤの生涯の大半はエルサレムで預言を行ないましたが、後にはエジプトに連れ去られ、おそらくそこで亡くなったとされています。



エレミヤ記の時代背景とメッセージ

エレミヤがユダの民に神のメッセージを伝道し始めた時、アッシリヤの権力は凋落していました。新しい強国はバビロンでした。イザヤの時代のイスラエルの北の王国を裁くのに、神がアッシリヤを用いたのと同じように、バビロンはエレミヤの時代に神の裁きを実行する神の代理人となりました。

エレミヤが預言をはじめた時、ユダには宗教改革の希望があるかのように見えました。ヨシヤ王は、ユダの偶像崇拝を止めさせようとした良き王でした。しかし彼の宗教改革は長くは続きませんでした。ヨシヤ王以降の４人はすべて悪王でした。偶像崇拝とあらゆる邪悪な事がはびこりました。人間のいけにえさえバアルやモレクに捧げられたのでした。（１９：５、３２：３５）

ユダの民の罪にもかかわらず、神はすぐには神の民を裁くことはなさいませんでした。神は預言者エレミヤを「**あるいは引き抜き、あるいは引き倒す**」だけではなく「**あるいは建て、また植えさせる**」ためにつかわしました。（1:10）強い律法的な意味で見ると、エレミヤはユダに対して悔い改めを行なわないのなら、ある種の破壊があるだろうと脅かしていますが、しかし美しい福音的な意味でみると、エレミヤは神の恵みと神の信仰を持ちつづけた者への救済を約束しました。彼はキリストを通じてなされる神の「新しい契約」を指し示したのでした。「わたしは彼らの咎を赦し、彼らの罪を二度と思い出さないからだ。」（３１：３４）

人々はどのようにエレミヤの言葉を受取ったのでしょう。かたくな心と悔りの民がです。エレミヤの故郷のアナトテの人々は言いました。「**主の名によって預言するな。われわれの手にかかってあなたが死なないように。**」（11:21） 司祭、他の預言者たち、その他のすべてのユダの人々は同様にエレミヤを脅しました。「**あなたは必ず死ななければならない。**」エレミヤは書記バルクを得た時に、神が与えたすべての預言の言葉を書き記しました。邪悪なエホアキム王は彼らが書いた巻き物を燃やしてしまったのです。エレミヤには神の言葉を忠実に語っているうちに、至る所敵だらけになっていました。しかしそれでも彼は神より与えられた預言者としての召しを続けたのでした。エレミヤは、すべての教会職者にとっては、いかに敵対するものがいても、信仰深くあるという素晴らしい手本となっています。神はエレミヤにこう語られました。「わたしのことばを忠実に語られなければならない。」そしてエレミヤはこのことを実行したのでした。

人々が神聖な預言に耳を貸さなくなるのがはっきりと分かった時、神はその裁きを「**岩を砕く金槌のように**」下しました。（23:29） バビロンのネブカドネザル王はユダを打ち砕き、エルサレムを破壊しました。そしてバビロンの捕囚が始まったのです。ネブカドネザル王はエレミヤを助命し、エルサレムにとどまる事を許しました。しかし彼の苦難は終わったわけではありませんでした。後にエレミヤは、神の裁きを物ともしない彼の民によってエジプトに連れ去られました。エレミヤはしばしば「嘆きの預言者」と呼ばれています。エレミヤは明らかに、ユダの歴史の中でも邪悪で不幸な時期に随分と嘆き悲しんだのでした。

エレミヤ書に関連した歴史の出来事

（エレミヤの生涯に統治の５人の王には下線を付けました。）

ヨシア王は紀元前６４０－６０８年まで治めました。彼は良き王でユダの改革を試みました。エレミヤが神の召命を受けたのが、ヨシヤの統治１３年目のことで、それは紀元前６２７年です。

アッシリヤの首都ニネベがバビロンに陥落したのが紀元前６１２年です。バビロンはアッシリヤに替わり、世界の強国になりました。

エホアハズ王はヨシヤ王の息子で、父の死に際し王位に就いたのが紀元前６０９年です。彼はわずか３ヶ月間治めましたが、パロのネコによってエジプトに追放されました。

エホヤキムはエホアハズの弟で紀元前６０９年に王位に就き、前５９８年まで治めました。とても邪悪な王でエレミヤと敵対し、彼の書巻を焼き捨てました。（エレミヤ書３６：２３、２７－３２、イザヤ書４０：６－８）

紀元前６０５年には、ネブカドネザル王のもとバビロンがカルケミシュの戦いでエジプトを打ち破りました。

同じく前６０５年にはエルサレムはネブカドネザルの手に落ち、ダニエルを含む少数のユダヤ人がバビロンに追放されました。

エホヤキン王はエホヤキムの息子で、前５９８年に王位に就きました。しかし、エレミヤの預言どおり３ヶ月後にはバビロンに連れ去られました。

ゼデキヤはネブカドネザルによりユダの王に指名されました。前５９７－５８６年まで治めました。ゼデキヤがバビロンに反抗すると、バビロン人はエルサレムを破壊しました。ゼデキヤは盲目となりバビロンに投獄されました。エレミヤはエルサレムにとどまる事を許されました。

ゲダルヤはエルサレムに残った少数のユダヤ人の総督になりました。ゲダルヤが暗殺された時、ユダヤ人はエジプトに逃れましたが、エレミヤも共に連れて行かれました。エレミヤはエジプトで亡くなっています。

エレミヤ書

エレミヤ書５２章には預言、説教、自叙伝（エレミヤの生涯）、それに歴史の内容が含まれています。

第３６章では預言者の教えがどのように書物の形になったのかという、興味深い情報が記されています。エレミヤはバルクという書記を得ました。エレミヤの預言を書き留めておく人物です。バルクが書き記したものは、疑いもなく現在の私たちのエレミヤ記の最初の部分になっています。エレミヤが後にこれを加えたからです。これなどは、人間が本書に関与した部分という事になります。全体のプロセスとしては、聖霊が指示しエレミヤに想起させ、その言葉を書き記させたのです。（第２ペテロ１：２０－２１、エレミヤ書３０：２）

エレミヤ書を読んでいく上で私たちが覚えておくべき事は、その様々な部分が出来事の順に正しく配置されてはいない、ということです。それはつまり、本書は年代記的な処理がなされていないということなのです。後代の王の生涯は、ときとして前代の王の時代の出来事に関係しているからです。

エレミヤ書の概要

１．ユダとエルサレムに敵対する預言　（１章－４５章）
　　（エレミヤの自叙伝に関する内容を含む）

２．外国に敵対する預言　（４６章－５１章）

３．歴史の付録　（５２章）（エルサレムの陥落のこと）

エレミヤ書の特別な区分

第１章を読んでエレミヤの召命を学ぶこと

ユダを恐れさせるエレミヤの預言	４：５－９を読むこと
偽善をあばくエレミヤの説教	７：１－１１を読むこと
「劇的なたとえ話」や「客観的な教訓」の例	１８：１－１２を読むこと
外国に対するエレミヤの預言の例	４６章を読むこと
エレミヤからの救世主に関する美しい預言の例	２３:5-6 と 31:31-34 を読む

哀　　歌

聖書の本文では哀歌の著者が誰かという事は語っておりません。ですが言い伝えではエレミヤが書いた事になっています。この伝統はエレミヤの性質に合います。ヨシア王が死んだ時にエレミヤは悲しみのあまりでヨシア王のために色々な哀歌を作りました。第２歴代誌３５：２５には次のように書かれています。「エレミヤはヨシヤのために哀歌を作った。そして、男女の歌うたいはみな、今日に至るまで、彼らの哀歌の中でヨシヤのことを語り、これをイスラエルのために慣例としている。これらは哀歌にまさしくしるされている。」古いギリシャ語訳、七十人訳聖書では、本書の序文に次のように書かれていました。「イスラエルが捕囚となり、エルサレムが荒廃（こうはい）させられた後、エレミヤは座して泣き、エルサレムのために哀歌を作って言った。」おそらくはエレミヤが著者であると思われますが、詳しい事は分かりません。

「哀歌」「Lamentations」とは深い悲しみの表現です。哀歌は５つの悲しみの詩と歌から構成されています。これら５つの詩はそれぞれ５８６B.C.に起きたエルサレムの崩壊に関したものです。これらの詩のトーンは葬儀のときに聞かれるような葬送（そうそう）曲のようです。それらは悲痛（ひつう）と涙で充満しています。哀歌の著者がそんなに深く悲嘆にくれるのは、愛するエルサレムの街が破壊されただけではなく、著者は人々のかたくなな罪の上に神の裁きがくだったための破壊である事を悲嘆したのでした。

読み手はみな最初の詩が示すような悲しみのしたたりを感じる事が出来るでしょう。

「ああ、人の群がっていたこの町は、
ひとり寂しくすわっている。
国々の中で大いなる者であったのに、
やもめのようになった。
諸州のうちの女王は、
苦役に服した。」（１：１）

現代のユダヤ人においても、エルサレムの崩壊を記念する哀歌の悲しい言葉の詠唱が行なわれています。旧エルサレムの旧寺院地区にある、いわゆる「嘆きの壁」に行ってごらんなさい。そこでは哀歌のなかのむせぶような嘆きが聞かれるはずです。現代のクリスチャンにとって本書は、神の罪に対する態度や誠実な悔い改めの必要を思い出させる重要なものになっています。

哀歌の５つの詩はそれぞれは分離した詩です。最初の４つの詩は折句形式になっています。

レッスン２０をよく復習して、以下の質問に答えましょう。

１．エレミヤは＿＿＿＿＿の町に生まれました。そこは、＿＿＿＿＿から

6.5 キロのところした。父の名は＿＿＿＿＿といい＿＿＿＿＿をしていました。

２．エレミヤが召命を受けたのは＿＿＿＿＿王の＿＿＿＿年目の治世の年で

紀元前＿＿＿＿年のことでした。イザヤの死後＿＿＿＿年を生きました。

３．エレミヤが預言をしたのは＿＿＿＿＿ですが、後に彼は＿＿＿＿＿に連れ

去られました。

４．エレミヤの時代の世界の強国は_____でした。

５．エレミヤの聖職在位中のユダの５人の王を挙げてください。

_____

６．神の預言者であるエレミヤはどのようなタイプの預言者でしたか。

７．エレミヤの教えに対し、人々はどのように反応したでしょう。

８．エレミヤの時代の、神を畏れる良き王は誰でしょう。

９．ネブカドネザルの最初のエルサレム侵略はいつでしたか。

10．ネブカドネザルがエルサレムを破壊したのはいつでしょうか。

11．エルサレムの破壊とバビロンの捕囚（ほしゅう）の原因は何ですか。

12．エレミヤ書に見られる３つの要素（ようそ）は何ですか。

13．エレミヤの書記は誰ですか。

14．エレミヤ書の３つの概要と章を挙げてください。

15．哀歌の著者は誰ですか。

16．哀歌「Lamentations」とは何ですか。

17．哀歌に表わされている大いなる悲しみとは、どのような場面ですか。

18．現代の私たちに哀歌が示している事は何ですか。

19．哀歌にはいくつの詩が書かれていますか。

20．哀歌に見られる、特別なアルファベット順の詩の形式の名を挙げて下さい。

レッスン２１ エゼキエル書とダニエル書
(Ezekiel & Daniel)

（パートＡ エゼキエル書）

預言者エゼキエル

エゼキエルの名前は「神に強められた」という意味です。彼はしばしば「人の子」とエゼキエル書では呼ばれていましたが、これは人間の弱さ、死すべき運命を暗に含んでいるのです。しかし彼の本来の名前の「エゼキエル」とは神からの強さを思い起こさせてくれます。エゼキエルの司祭職が完了したとき、人々は神の強い預言者が彼らの間にあったことを思い知りました。エゼキエルの名前が示すように、神に強められたのです。

エゼキエルはエレミヤと同じ時期に預言を行ないましたが、場所は違った所でした。エゼキエルはバビロンの地で預言を行ないました。彼は前６６２年にユダの地で祭司の家に生まれました。父の名前はブジといいました。エゼキエルが 25 歳になるまではユダに暮らしていました。それから前５９７年には、エホヤキンとおよそ１万人のユダヤ人と共にバビロンに連れて行かれました。（同様にダニエルも８年早い前６０５年にバビロンに連行されています。）バビロンでは捕囚となったユダヤ人たちと暮らしたのはケバル川という所で、チグリス川とユーフラテス川の運河が連結するところでした。私たちはエゼキエルの個人的な生涯については、前 588/587 年にエルサレムが包囲されたと同時期に、彼の妻を亡くしてしまった事以外にも周知の事があります。（第２４章）

バビロン捕囚で５年を過ごした後、神は**「第３０年に」**（１章）エゼキエルを召命しました。これはおそらくエゼキエルの生涯の３０年目を意味しているものと思われます。彼の祭司としての活動は捕囚者たちのなかでその後２０年以上続きました。

エゼキエルの名前が示唆（しさ）するように、彼は強い祭司でした。彼のメッセージは彼を召命した神からのものだったからです。彼のメッセージは自身のものではなく神のものであるということを指摘しておきます。エゼキエルは次のような表現を好んで用いました。**「主の御手が私の上にあった。」**（１：３）彼の説教が強く、明確で、面白く、神からのものであったのに、彼の言葉は依然として紛糾（ふんきゅう）され拒絶されたのでした。神がエゼキエルを召命したとき、神はエゼキエルのメッセージは、かたくなな心に直面するであろうと警告されました。しかし彼はそれでも神から頂いたメッセージを忠実に伝えなければなりませんでした。神は言われました。**「彼らは反逆の家だから、彼らが聞いても、聞かなくても、あなたはわたしのことばを彼らに語れ。」**（２：７）エレミヤのようにエゼキエルも、事態が困難でもあきらめない、信仰深い教会の働き手としての素晴らしい見本であります。

エゼキエルの信仰深い説教と、他の信仰深き預言者はついにある結果をもたらしたのでした。バビロン捕囚の後、ユダヤ人たちはあからさまな偶像礼拝を止（や）めました。神の御言葉が信仰深く説かれるとき、その御言葉は決して空の状態で神に還される事はありません。かならず神の望まれたように成し遂げられるのです。(ｲｻﾞ 55:10-11)

エゼキエルの預言者としての生涯は、論理的には２つの時期に分けられると思います。第１期は前 586 年のエルサレム陥落の時代です。この時期、彼は鋭い言葉で人々の罪を非難し、エルサレムの破壊が迫っている事を説きました。次の時期は、

前 586 年のエルサレム陥落以降の事です。エゼキエルのメッセージは、主として慰めとイスラエルの復興についてのものでした。

エゼキエル書について

本書 48 章すべては最初の人物によって書かれています。（私が捕囚の民とともに、私は神々しい幻をみた）このことからも、エゼキエル自身が本書の著者であり、彼の名前が付けられているのです。

エゼキエル書のあらすじ

１．エゼキエルの召命　（１－３）

預言者エゼキエルは特別な神の栄光の幻を与えられました。そしてエゼキエルはは彼が語るべき悲哀（ひあい）の言葉が書かれている巻き物を食べました。彼は捕囚の民の見張人として神に任命されました。それは邪悪な暮らしから、民の命を救うために警告を発するためでした。

２．エルサレムに対する預言　（４－２４）

エゼキエルはエルサレムの破壊を象徴的な行ないで預言します。（４－７参照）エルサレムで行なわれている罪を見るために、エゼキエルのうちに霊が入りました。彼はまた神殿から離れたところで神の栄光を見ます。これは神が神のかたくな民から離れるという描写を象徴しています。（８－１１参照）12-24 章では、エルサレム陥落に関する、エゼキエルの象徴的な説教と行ないが見受けられます。24 章は特に悲しい章です。そこには預言者の妻の死と、彼が喪に服すことを禁じる話が出てきます。彼女が死んだその日、エルサレムの包囲が開始されたのです。このことは捕囚についての象徴的な描写です。妻の死という形でエゼキエルとの関係が終わったように、神とエルサレムとの特別な関係は終わり、破壊へと続くのでした。

３．国々に対しての預言　（２５－３２）

４．エルサレム復興についての預言（３３－４８）

これらの預言にはきたるキリストの王国についての美しい預言があります。（34:23 参照）

37 章では枯骨（がれほね）についての幻のくだり、それは聖書では特によく知られている章です。枯骨が大きな軍勢に生き返ったように、希望の失われていたイスラエルは、復興へと向かうのです。

（パートＢ－ダニエル書）

ダニエルはバビロン捕囚時代の三番目の大預言者です。すでに学んだように、エレミヤは捕囚とならず、エルサレムに留まり、残されたユダヤ人たちを教えました。エゼキエルはバビロン捕囚の中にあってユダヤ人たちを教えたのです。エゼキエルと同様、ダニエルもバビロンに連れて行かれました。しかし彼の預言のわざはユダヤ人に対してなされたわけではありませんでした。むしろそれはバビロンやペルシャの王たちの宮殿でなされたのでした。

ダニエルは前 620 年頃にユダヤの貴族の家に生れました。前 605 年、彼が少年のときに王宮に仕えるため、ネブカデネザルによってバビロンに連れてこられました。ダニエルと同様に、他のユダヤ人の少年たちも共に連れてこられました。彼は美しく、高い教養を持っていました。ダニエルはこの特別な職務のために、三年間にわたり特別な訓練がほどこされ、またベルテシャツァルという新しい名も与えられました。

ダニエルとユダヤ人の同僚らが異教徒のなかに暮らし、主から顔を背けるように圧力をかけられていながら、彼らは依然として堅い信仰を持ちつづけたのです。神は彼らを大いなる知恵と悟りで祝福されました。それは王が「**国中のどんな呪法師、呪文師よりも十倍もまさっている**」（1:20）ことを分からせるためでした。

神はまたダニエルに、幻と夢の解き明かしの特別な能力をお与えになりました。ダニエルが、ネブカデネザル王の不思議な夢の解き明かしをしたので、王は「**ダニエルを高い位につけ、彼に多くのすばらしい贈り物を与えて、彼にバビロン全州を治めさせ、また、バビロンのすべての知者たちをつかさどる長官とした。**」（2:48）

ダニエルの預言はベルシャツァル王、メディアのダリヨス王、ペルシャの大王クロスの治世のあいだも続けられました。しかるに彼の職務が、およそ 70 年にわたって続けられたように思われます。

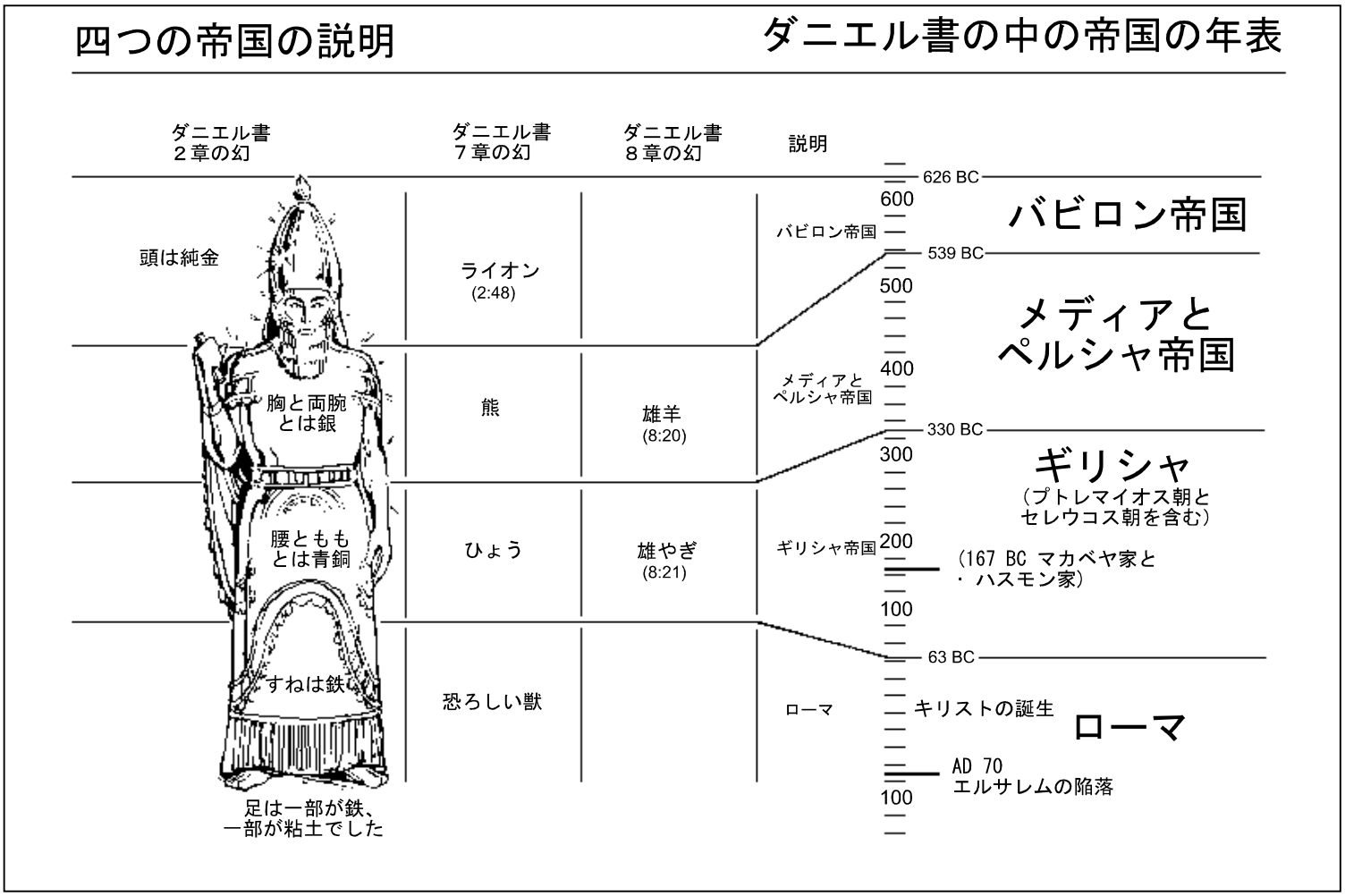
私たちがダニエルの事を思うとき、おそらくは生ける神への熱烈な信仰者としての彼が思い浮かぶでしょう。彼は公然と神より与えられた信仰を実践しました。かつてそのような事は、飢えたライオンの中に投げ入れられる事を意味していたのにもかかわらずにです。神は大いにダニエルの信仰に報い、彼を守り、大いなる栄誉のうちに晩年を過ごす事を許されたのでした。

ダニエル書について

本書の名前がそうであるように、ダニエル自身が本書の著者です。このことはマタイ書の 24:15 でイエスが言明しています。ダニエル書の一部を引用し、イエスは「**預言者ダニエルによって語られた・・・**」といわれました。多くの聖書の批評書では、ダニエルが本書の著者である事を否定するのが一般的です。それによると本当の著者は、ダニエル書の最初に記された出来事の 400 年後に生きたに違いないと主張するのです。ということは、ダニエルはそんなに遠い将来の事を明確に書けたはずがない、と言っているのです。ダニエルが本書の著者であることを否定する者は、神が選んだ預言者を通して未来を予言する力を与えた聖霊を信じていない事が明白になります。

ダニエル書は２つの異なった言語で書かれています。それはヘブル語とアラム語です。２章７節から７章２８節まではアラム語で書かれています。アラム語はバビロン帝国時代とその後集百年にわたって話されていた、「国際語」だったのです。ダニエルがバビロンの王宮に仕えたので、アラム語を良く知るようになりました。ユダヤで育っているのでヘブル語も良く分かりました。ヘブル語とアラム語はとても良く似た言語です。これらは同じ言語系の「西方セム語」として知られる言語から来ています。

ダニエル書には特別な種類の預言が含まれています。私たちはそれをしばしば「終末預言」(apocalyptic prophecy) と呼んでいます。新約聖書の黙示録も終末に関するものです。「apocalyptic」(黙示)ということばは「revealing」隠されたものを見せる、あるいは「uncovering」覆いをはずすという意味があります。終末に関する神の思慮深いご計画は、大いなる悪の時代に生きる人々のために覆いを解かれるのです。終末預言の目的は、神の導きの啓示の困難さに安らぎを与え、神の王国の最後の大勝利を約束するものなのです。夢と幻は聖書の終末に関する記述にとっては大きな部分を占めています。



ダニエル書のあらすじ

１．ダニエル、バビロンの官吏として王につかえる　（１－６）

これら６章までにはダニエルがバビロンで昇進する話が含まれています。ネブカデネザル王の夢の解き明かし、燃える炉の話、ベルテシャツァル時代に塗り壁に書かれた文字のこと、ダニエルが獅子の穴に入れられる話が出てきます。

２．ダニエルが見た来るべき王国に関する預言の幻　（７－１２）

９章 24 節には、「油注ぎされた者」すなわち救世主に関する特別な預言が含まれています。

11 章ではこれから興る世界の国々についての話が出てきます。

大預言者のそれぞれの呼び名

イザヤ　－　最も偉大な預言者
エレミヤ　－　嘆きの預言者
エゼキエル－　捕囚の預言者
ダニエル　－　宮殿の預言者

エゼキエル書とダニエル書についての質問に答えなさい。

１．エゼキエルの名前の意味は＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿です。彼は前＿＿＿＿＿年に生れ、前＿＿＿＿年にユダの＿＿＿＿＿＿＿王によって＿＿＿＿＿＿＿に連れ去られました。エゼキエルの職務は＿＿＿＿＿に説教する事でした。

２．祭司としてのエゼキエルについて述べなさい。

３．人々はエゼキエルのメッセージをどのように受け止めたでしょうか。

４．エゼキエル書の４つの部分と章を書いてください。

５．ダニエルは前＿＿＿＿年に生れました。彼は＿＿＿＿の家の出身です。前＿＿＿＿年に＿＿＿＿＿＿＿＿王によって＿＿＿＿＿＿＿に連れ去られました。

６．ダニエルの名前の意味は＿＿＿＿＿＿＿＿＿で、バビロンで付けられた名前は

＿＿＿＿＿＿＿＿＿です。

７．ダニエルの性格、信仰、業績について簡単に述べなさい。

８．ダニエル書はヘブル語だけではなく、＿＿＿＿＿＿＿語でも書かれていました。

この言葉は当時は＿＿＿＿＿＿＿だったのです。

９．何故、ある人たちはダニエルがダニエル書を書けなかったといっているのでしょうか。

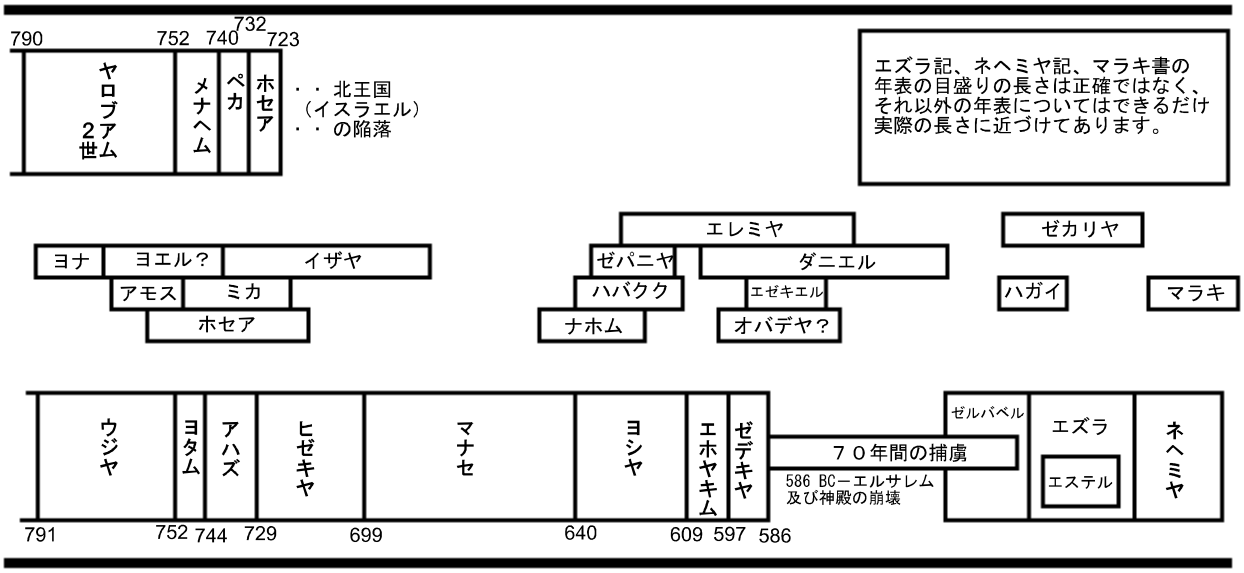
10．私たちには、何をダニエルが著者であるという証拠として挙げられるでしょう。

11．ダニエルの預言には何か特別なものがありますか。

また、この特別な預言には＿＿＿＿＿と＿＿＿＿＿が大部分を占めています。

12. ダニエル書のあらすじと章を書きなさい。

王たちと預言者たち



レッスン 22 – ホセア書、ヨエル書、アモス書
(Hosea, Joel, Amos)

小預言者

さて、私たちは旧約聖書の最後の部分、小預言書という部分にさしかかりました。それではここに 12 人の小預言者の名前を書きましょう。

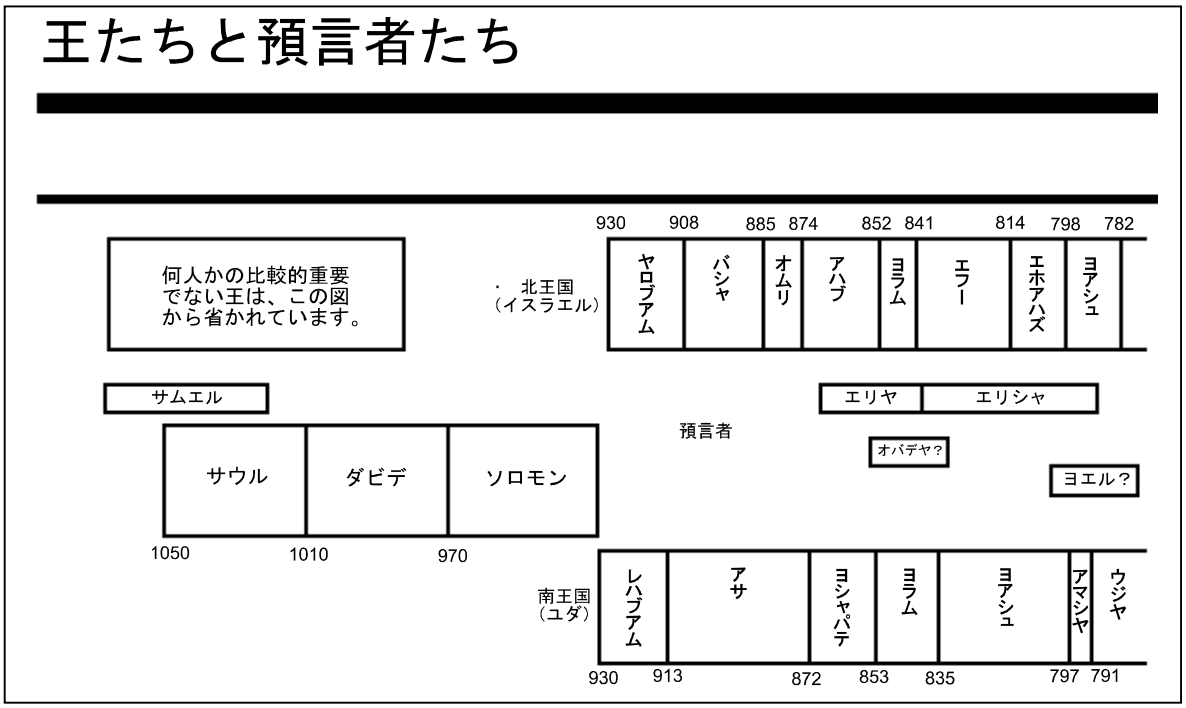
_____ _____ _____ _____

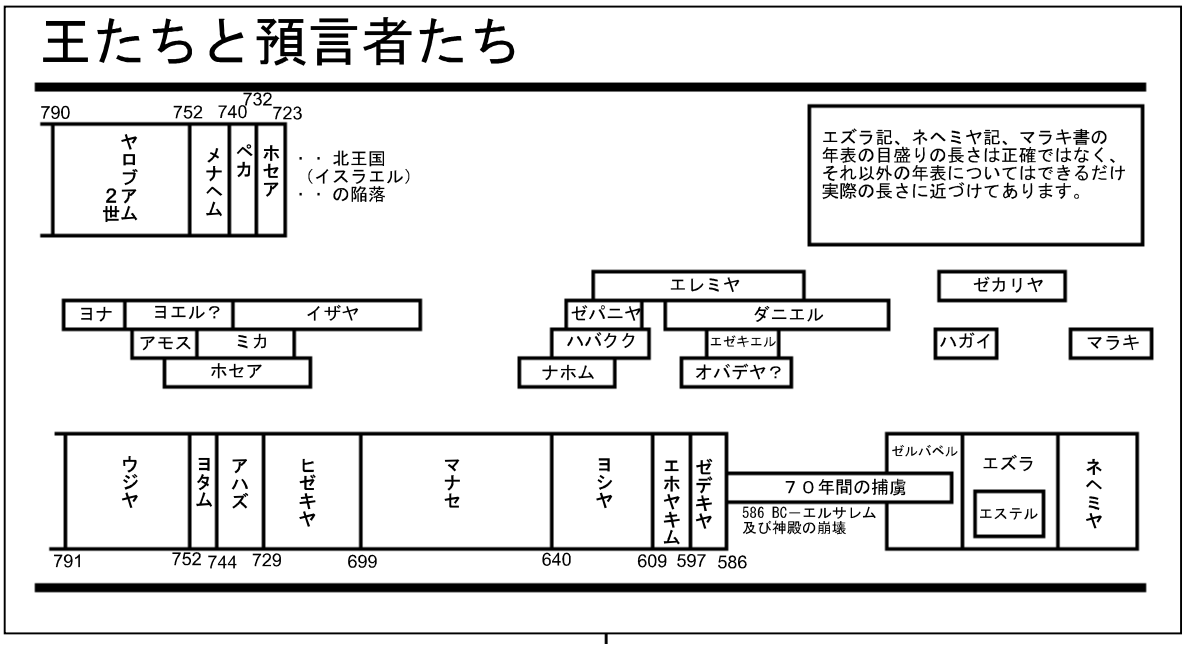
_____ _____ _____ _____

_____ _____ _____ _____

小預言者を学ぶとき、あなたは彼らが 400 年にわたって預言をしていた事に気付くでしょう。彼らのうちの幾人かは北王国イスラエルの民に教えました。またある者たちは南王国ユダの民に教えたのでした。彼らは基本的には「小預言者」と呼ばれています。それは彼らの預言書が大預言者のそれよりも短いからです。

歴史年表で小預言者の活躍した頃を見てみましょう。





小預言者の中で誰が一番最初の預言者でしょうか。＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿そして誰が最後の預言者でしたか。＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿ これらの預言者たちを学ぼうとすると、それこそ「あっちこっち」に飛び回ることになるでしょう。私たちは聖書のなかの小預言書を見るときに、これら小預言書は年代的な配置はなされていない事に気が付くでしょう。

ホセア書、その時代とメッセージ

ホセアの名前の意味は「救い」とか「解放」という意味です。預言者ホセアはイザヤとほぼ同時代に生きました。イザヤがユダで教えた一方、ホセアはイスラエルで教えていました。ホセアが預言者になったのは、イスラエル最後の強い王ヤロブアムⅡ世の治世の終わりの頃です。（紀元前 795-754）彼の預言はユダのヒゼキヤ王の時まで続けられました。（紀元前 729-700）ということは、彼は 50 年以上も預言を行なっていた事になります。ホセアは、イスラエルを悔い改めに導こうとした最後の預言者でした。悔い改めざる国がアッシリヤの手に落ちたときも、彼は生きていました。それは何年の事でしょうか。紀元前＿＿＿＿＿＿＿年

ホセアの時代、イスラエルは哀れなくらい混乱していました。国家は宗教的、道徳的に堕落しており、やがて政治も堕落しました。政治の堕落はヤロブアムⅡ世のあと 20 年間に６人の王が交代していますし、そのうちの４人は王位につく前に暗殺されました。（王の名前と統治年はレッスン１２を参照） 宗教的、道徳的な堕落については、大っぴらな偶像礼拝がこの地にもたらされた事、また罪もそれと同じくもたらされたのです。**「わたしの民は木に伺いを立て、その杖は彼らに事を告げる。」（4:12）「ただ、のろいと、欺きと、人殺しと、盗みと、姦通がはびこり、流血に流血が続いている。」（4:2） 「この地には真実がなく、誠実がなく、神を知ることがないからだ。」（4:1）**

この諸々の混乱の根本的な原因は、イスラエルの偶像崇拝です。このことを私たちはイスラエルの「霊的姦通」と呼べるでしょう。神の民は他の神々のために神を捨てたのです。まるで不実な妻が、他の男のために誠実な夫を捨て、娼婦（しょうふ）のような暮らしをするのと同じようにです。本書でホセアは、イスラエルの「霊的姦通」を明らかにするために、語られたことを実行します。彼はゴメルという女と結婚しました。彼女は姦通し、彼を見捨てるのです。あたかも不誠実なイスラエルが誠実な神を見捨てたようにです。

ホセアの愛情と慈悲の心は、その教えの中にも明白にされています。神の愛を捨てたイスラエルの民に彼の心は痛みました。ホセアの愛と慈悲とが明白になる一方でまた、彼の教えはイスラエルの罪を暴くことを恐れているものではないことが明らかにもなります。愛と厳しい律法は相反するものではないからです。彼の愛の預言は、イスラエルを悔い改めに導き、民を誠実な夫たる神に返すことを望んだものでした。このことは 14 章にはっきりと書かれています。**「イスラエルよ。あなたの神、主に立ち返れ。あなたの不義がつまずきのもとであったからだ。あなたがたはことばを用意して、主に立ち返り、そしえ言え。「すべての不義を赦して、良いものを受け入れてください。」（14:1-2）**

ホセア書のあらすじ

１．不貞な妻のようなイスラエル　（１－３章）

２．愛と慈悲が込められた裁きのメッセージを聞くイスラエル（4-12 章）

第１章を読むと、不信仰なイスラエルがホセアの不貞の妻として描かれています。第４章では、イスラエルへの神の訓戒が聞かれます。第 11 章では、民への神の燃えるような愛が注ぎ続けられるのが見受けられます。

新約聖書では、ホセアがキリストと新約聖書の王国について預言している箇所が明示されています。ローマ書 9:24-26 を読んでみてください。どの箇所ををパウロはホセア書から引用したでしょうか。＿＿＿＿節と＿＿＿＿節。パウロが述べた神が呼ばれた「わが民」とは誰のことですか。＿＿＿＿＿。マタイ書 2:14-15 を読んでください。マタイはホセア書のどの箇所を引用していますか。＿＿＿。マタイ書によれば、エジプトから呼び出された「わたしの子」とは誰を意味していますか。＿＿＿＿＿。第Ｉコリントを読んでください。ここでパウロがホセア書のどの箇所を参照しているでしょうか。ホセアはこの箇所で、救い主が私たちを＿＿＿＿から救うと預言しています。

（ホセア書を読む上で、ホセアが良く使うエフライムという名は、イスラエルの同義語であることを知っておくと良いでしょう。エフライムはイスラエルの代りに使われ始めていました。北王国の指導者的立場はエフライム族であったからです。長子ではなかったのに、エフライムは長子の祝福をヤコブからいただきました。創世記 48:1-20, エレミヤ書 31:9, ヨシュア記 17:1.　このことはコロサイ１：１５－１８の意味を理解するのにどのように助けとなるでしょうか？

ホセア書について以下の質問に答えてください。

１．小預言者のある者は＿＿＿で預言をし、またある者は＿＿＿＿＿で預言を行ないました。

２．小預言者と呼ばれたのは、彼らが＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿。

３．ホセアの名前の意味は＿＿＿＿＿。彼はユダの大預言者＿＿＿＿と同時代に生きました。ホセアは＿＿＿＿＿で預言を行ないました。

４．ホセアの預言はイスラエルの王＿＿＿＿＿のときに始められ、ユダの王＿＿＿＿＿のときまで続きました。

５．ホセアの時代の、イスラエルの根本的な問題とは何でしょうか。

＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

６．イスラエルは神への不貞の妻のようだとすると、イスラエルはどのように呼べるでしょうか。霊的＿＿＿＿＿

７．イスラエルの神に対する不義は、ホセアが＿＿＿＿という＿＿＿＿だった女性と結婚することに象徴されています。

８．ホセア書の概要を書いてください。

９．ホセア書にある、イスラエルのもう一つの名は何でしょうか。

10．ホセア書にキリストとその教会について書かれています。ホセア書には＿＿＿＿＿＿についての預言が含まれているといえます。このことは＿＿＿＿＿からも分かります。

預言者ヨエル

預言者ヨエルについては、たった２つのことしか分かっていません。彼の名前の意味は「主は神」ということと、彼はペトエルの子ということです。（1:1）この他に彼について言えることは、推測の域を出ません。おそらくヨエルはユダの人たちへの預言を行なったと思われます。それは彼が神の家、シオンの山とエルサレムについて言及しているからです。学者たちはどこであるにせよ、ヨエルが預言を行なったのは 800BC から 400BC の間であったと推測しました。（次のような理由で、保守的な学者たちにはもう少し早い年代が好まれています。ユダヤ人は本書をホセアやアモスのような前の預言書の次に配置している。ユダヤ人の敵としてヨエルが述べているのは、エジプト、ペリシテ、フェニキヤ、エドムである。）ヨエルが霊感を受けたメッセージが重要なのであって、人物が重要なわけではないのです。

ヨエルは国が謙遜と悔い改め、そして「主の日」になされる、裁きを警告するために預言を行ないました。それと同時にヨエルは来るべき神の救済、神の約束された敵の壊滅を国の民に思い起こさせることによって、彼らの信仰を保とうとしたのでした。

ヨエル書が書かれた直接の出来事は、イナゴの大群の侵略でした。それによって国土は完全に破壊されてしまいます。ヨエルはイナゴの侵略の中に、「主の日」の神の裁き、神の恐ろしい裁きの日の象徴を見ます。彼は「主の日」の前に悔い改めがなされれば、神は憐れみを示してくださると訴えます。ヨエル書には**「この地に住むすべての者は、わななけ。主の日が来るからだ。その日は近い。闇と暗黒の日・・・・主の日は偉大で、非常に恐ろしい。だれがこの日に耐えられよう。・・・あなたがたの神、主に立ち返れ。主は情け深く、あわれみ深く、怒るのにおそく、恵み豊かで、わざわいを思い直してくださるからだ。」**（第 2 章より）

ヨエルの預言には、救世主の時代についての預言が含まれています。ヨエル書 2:28-32 を読んでください。そして使徒 2:14-21 を読んでください。ペテロによると、救世主の王国はいつのことであると、ヨエルは預言していますか。私たちが銘記しておくべきは、このヨエルの預言はペンテコステですでに果たされたということです。現在、私たちは「終わりの時」にあるのです。私たち全員が裁かれる「主の日」に近づきつつあるのです。私たちは今、ペンテコステで注がれた聖霊のうちに生きることに真剣にならなければいけません。それはひそかにキリストを通してやってくる「主の日」に直面するためなのです。

ヨエル書の概要

１．「主の日」を象徴するイナゴの侵略　（1-2:27）

２．　神が預言された祝福と裁き　　（2:28－3:21）

アモス書、その時代とメッセージ

預言者アモスを覚えるのに、彼に「農夫の預言者」という名を与えると良いでしょう。神がアモスを召命する以前は、彼は牧者であり、いちじくの桑の木を栽培していたからです。アモスは、ユダのテコアというイスラエルから数キロのところの町の出身でした。しかし預言者としてのアモスの働きは、北王国のイスラエルでなされました。アモスの預言は、イスラエルの王ヤロブアムⅡ世の治世に

行なわれました。（793-753B.C）アモスの活動した時代は、イスラエルの繁栄の時代でした。国は物質的に裕福で、外国からの脅威もありませんでした。しかしイスラエルは道徳的には腐敗していました。富裕階層は貧困層を利用し、彼らを支配しました。裁判官に正義はなく、人々の礼拝には多くの偽善がありました。そしてそこには、はばかることのない偶像礼拝が行なわれていました。

アモスの神による召命は、これら宗教的、社会的堕落に対して教えるためだったのです。ヨエルのように、彼は神がその悔い改めなき民を裁く、「主の日」の到来を警告したのです。エレミヤのごとく、アモスは脅されたときも、勇敢に神のメッセージを説いたのでした。「あなたに語られた、主の言葉を聞きなさい」と彼は言い、それから恐れることなくイスラエルと諸国の罪をあばきました。イスラエルを出てユダに戻り、預言を行なうように命じられたときも、アモスは断固として拒否しました。彼は神から「わたしの民イスラエルに預言せよ」と召されていたからでした。アモスが説いたとき、かたくなな心と聞く耳を持たぬ民を見たので、ヤロブアムⅡ世の死後 30 年の後、アッシリヤに国を破壊されたとき、イスラエルは裁かれたのでした。イスラエルは神の預言の言葉を見くびったので、やがて神は彼らに飢饉をもたらしました。それは食べ物や水の飢饉ではなく、神の言葉を聞くことの飢饉だったのです。（8:11-12 参照）

アモス書について

アモス書の概要
１．イスラエル近隣国に対する神の審判

２．イスラエルの悲痛の預言

３．５つの裁きの幻

４．修復の約束

以下の箇所を読みましょう。

2:6-8 と 6:4-7 でアモスの罪を暴く恐れなき教え

4:1-3 と 5:18-27、悲痛に関する預言の例

8:1-6 では来るべき裁きの幻が聞かれます。

9:11-15、異邦人が王国の一部となったときのメシヤの日々の約束
（使徒書と比較すること 15:14-17）

ヨエル書とアモス書についての質問に答えてください。

１．預言者ヨエルについてわかっていることは何ですか。

_____

２．ヨエルがしばしば書いている特別な日は_____といいます。この日のことは一般的には_____と呼ばれています。

３．ヨエルが預言をしたのは、民を_____と_____に導き、_____を警告するためでした。

４．救世主についての預言で、ヨエルは新約聖書の時代について語っています。
彼がこの日について書いたことは＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿。

５．ヨエル書の概要を書いてください。

６．アモスは預言者になる前は何をしていましたか。

７．アモスをニックネームで呼ぶとしたら？

８．アモスは＿＿＿王国の＿＿＿＿という町の出身でしたが、預言を行なったのは＿＿＿＿＿＿でした。アモスは＿＿＿＿＿＿＿の治世の間生きました。
その年代は＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿B.Cです。

９．アモスが預言をした時代について述べなさい。

10. アモスの預言者としての働きを述べなさい。

11. アモス書の概要を書いてください。

(Add map of where Tekoa is)

レッスン 23 － オバデヤ書、ヨナ書、ミカ書
(Obadiah, Jonah, Micah)

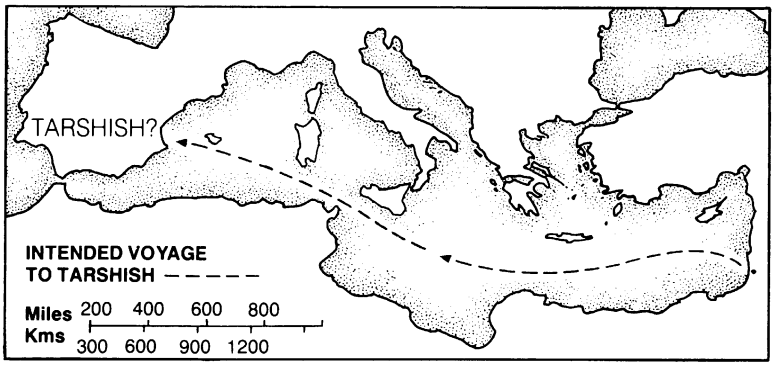
オバデヤとその預言書

オバデヤについて私たちが知っていることは、その名前の意味が「主のしもべ」という意味であるということだけです。ある人たちは、オバデヤが一番始めの小預言者だと推測している一方、別の人たちはバビロンによるエルサレム破壊ののちに生きたとしています。

オバデヤ書は、旧約聖書全書のなかで一番短い書物です。２１節からなる１章しかありません。本書はエドムの地に対する預言が綴られています。エドムは、死海のあるアカバ湾に程近い、死海の南東にある土地の名前です。エドムの別名はヤコブの兄であるエサウです。それはエサウの子孫がエドムの地に居住していたからです。エドム人がユダヤ人とは近い親戚であるとはいえ、お互いは憎しみあう敵同士でした。岩山の地からきたエドム人は、ユダに侵入します。ユダが他の敵に脅かされているとき、エドムはその敵国に味方をしました。

この裏切りによって、預言者オバデヤはエドムに対し、破滅の言葉を語りました。彼はエドムが必ずや罰を下され、ユダは解放されるであろうと預言しました。その彼の預言は「主の日はすべての国々の上に近づいている。」ということを私たちに思い起こさせてくれるのです。

オバデヤ書の主題は「エドムへの神のさばき」です。



ヨナとその預言書

預言者ヨナについては第２列王記 14:25 で登場しています。そこでは「ガテ・ヘフェルの出の預言者アミタイの子」として語られています。ガテ・ヘフェルの街はガリラヤのナザレの近くに位置していました。第２列王記 14 章でも、ヨナがイスラエルのヤロブアムⅡ世の治世のとき（793-753B.C）、預言者として仕えていたことが記されています。ほかにどの預言者が同時代に活躍していましたか。

神はヨナを外国での特別な宣教を命じられました。神はヨナを、大アッシリア帝国の首都ニネベで教えるように召命しました。始めの頃は、ヨナは不服従の預言者でしたが、ついにはニネベで伝道しました。神に与えられたメッセージに従ったのでした。ニネベは悔い改めました。ヨナ書では、神の言葉の力は説教者の効力やそれを快く進んで行なう気持ちに左右されるものではないことが明確に示されています。

もっと重要なことは、ヨナ書では神はユダヤ人の救済だけを目論んでいたのではなく、この地上の全ての人間の救済に執心されていたことが明確に示されています。神は皆すべてが救われることを望んでおられます。もちろんニネベの人々もです。ヨナのニネベ宣教の成功は、私たちに宣教活動は決してムダではないことを思い起こさせてくれるのです。

ヨナ書 1:17 では印象的な救世主の描写が与えられています。マタイ 12:40-41 でイエスは、ヨナが魚に呑み込まれ三日三晩その中にいたことは、イエスそのご自身の死、埋葬、そして復活を描写したものだと語っておられます。

ヨナ書の概要

１．ヨナが主を避ける　（１）

２．ヨナの祈り　（２）

３．ヨナがニネベに向かう　（３）

４．神の憐れみに対するヨナの怒り　（４）

ミカとミカ書

ミカの名前の意味は「誰が主のようであろうか。」です。ミカ書の最初の節は預言者ミカについての他の情報も収集できます。ミカ書 1:1 で「**ユダの王ヨタム、アハズ、ヒゼキヤの時代に、モレシェテ人ミカにあった主のことば。これは彼がサマリヤとエルサレムについて見た幻である。**」とあります。

この節により、ミカがエルサレムの南東 36 ㌔のペリシテという街の出身であったことが伺えます。モレシェテ　ガテ、彼の生まれ故郷は 1:14 にその名がでてきます。ミカは 1:1 で述べられていたように、三人の王の治世のあいだ預言をしていましたから、イザヤと同時代に活動していたことになります。ミカはサマリヤとイスラエル両方について預言をしました。ということは北王国と南王国の両方の預言をしていたことになります。サマリヤはミカの時代は北王国の首都だったのです。

ミカ書から明確になることは、ミカがイスラエルとユダの罪を暴露したことです。彼は両王国の批判的な権力者や偽預言者、祭司それにすべての利己的で偽善的な人々を恐れませんでした。ミカはサマリヤをその罪のゆえに「野原の廃虚」としエルサレムの門にわざわいが下る、と預言しました。

しかしここでは、ミカの預言の言葉のほとんどは、約束と希望であることを忘れてはなりません。彼の代表的な預言に、キリストの誕生の地についてのものがあります。５章２節を読んでください。ミカ書の４:１-５の救世主に関する預言は、彼と同時代の預言者イザヤの預言とほぼ同一であるのです。イザヤ 2:2-4.

ミカ書の概要

１．イスラエルとユダに対しての裁き　（１－３）

２．救世主についての預言　（４－５）

３．神のイスラエルに対する論争　（６－７）

オバデヤ書、ヨナ書、ミカ書についての質問に答えなさい。

１．旧約聖書でもっとも短い書物は、＿＿＿＿＿＿書です。

本書は＿＿＿＿＿の地についての預言が記されています。その地は＿＿＿＿＿＿＿＿＿に位置していました。そこには＿＿＿＿の子孫が住んでいました。彼らはユダヤ人とは＿＿＿＿＿＿＿であったものの、両者は＿＿＿＿＿＿でした。

本書の主題は＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿です。

２．預言者ヨナは＿＿＿＿＿＿＿の出身です。そこはガリラヤの＿＿＿＿の街の近くでした。彼は＿＿＿＿＿＿王の治世の間、預言を行ないました。神はヨナを＿＿＿＿＿の街を悔い改めさせるために召命しました。始めはヨナは＿＿＿＿でした。彼が神の言葉を教えると、街は＿＿＿＿＿＿ました。ヨナ書で印象的なキリストの描写は、＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿です。

ヨナ書の概要を書いてください。

３．ミカの名前の意味は＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿です。彼は預言者＿＿＿＿＿＿と

同時代に活動しました。ミカは＿＿＿＿＿と＿＿＿＿＿＿について預言しました。

ミカの預言のメッセージの大部分は＿＿＿＿＿＿＿＿です。しかし、おそらく私たちが一番覚えているのは、＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿についての預言です。

ミカ書の概要を書いてください。

レッスン２４　ナホム書、ハバクク書、ゼパニヤ書
(Nahum, Habakkuk, Zephaniah)

ナホムとナホム書

ナホムの名は「慰める人」という意味です。ナホムは1:1で「エルコシュ人」と呼ばれており、おそらくはナホムが、エルコシュという名の町の出身であったからだと思われます。私たちにはエルコシュがどこにあったのかは、確かではありません。ある人は、エルコシュはガリラヤの北部にあったとし、またある者はユダではないかとしています。興味深いことには、イエスはガリラヤではなくカペナウムを宣教活動の拠点にしました。カペナウムとは「ナホムの村」という意味です。

その名が示すように、ナホムはユダヤ人にとってはたしかに慰めでした。しかしナホムは、アッシリヤの首都ニネベに対する苦しみと破壊を預言しました。本書全三章では、ニネベに起こる破壊のことについて書かれています。ナホムは本書を、紀元前663年から紀元前612年の間に書いたにちがいありません。ナホムはアッシリヤによる、エジプトのテーベ征服を引き合いに出しています。この事が起きたのは紀元前663年のことでした。(参3:8)実際のニネベの破壊は紀元前612年のことで、バビロニヤの手によるものでした。ナホム書が書かれた時点では、まだニネベの破壊が起きていなかったことは明白です。

北の超大国、アッシリヤからの日々の恐怖の中に暮らしていたユダヤ人にとって、ナホム書とはたしかにユダの慰めとなりました。　彼らは同胞ユダヤ人のイスラエルが紀元前722年に、強国アッシリヤの手によってその王朝を破壊されたのを知っていたからです。ですから彼らユダの民は、アッシリヤからの絶えない脅威の中に暮らしていました。ナホムから、近々神がアッシリヤの首都ニネベをさばかれることを聞いたとき、解放の安堵感をユダにもたらしたことでしょう。

ナホム書の第一章では、ニネベの破壊はニネベの罪に対する神のさばきによって、もたらされることがはっきりと書かれています。そのさばきとは単に説明のつかない政治的な出来事のことではなかったのです。１章の３節において、ニネベとほかの邪悪な都市や国々にも必ずや神のさばきが下されることを、思い起こさせます。**「主は怒るのにおそく、力強い。主は決して罰せずにおくことはしない方。」**そして１：９の言葉がそのことを確信させます。**「あなたがたは主に対して何をたくらむのか。主はすべてを滅ぼし尽くす。」**ヨナの時代にニネベが悔い改めたことは、はかなくも短期間で終わってしまったことを、私達は悲しみと共に学ばなくてはなりません。

霊感によって書かれたナホムの詩は、聖書中で最も写実的で生き生きとしています。ニネベにもたらされる災いについて、ナホムは明確で写実的な描写をしました。その例として3:1-4、3:12を挙げておきます。

ナホム書の主題は「アッシリヤの首都ニネベに対する神のさばき」です。

本書の目的は、「アッシリヤ時代のユダを慰める」ことでした。

☆☆☆☆☆

ハバククとハバクク書

ハバククの名はヘブル語で「embrace」（抱き締める）という意味です。しかしこの預言者の生涯について私たちが知ることはほとんどありません。ハバクク書は、バビロンがユダにとっての脅威になり始めた頃に、ハバククがユダの人々に対して書いたものであることが分かります。（参1:6）このことから、ハバククはエレミヤと同時代の人物であった事が言えるでしょう。おそらく彼は紀元前610年頃、つまりユダ王朝のヨシヤ王の治世の間に本書を書きました。

ハバククのことを「神に問いかける預言者」というふうに呼ぶことができるでしょう。1:2-4では「問いかける預言者」ハバククが、神がユダの不義をどのようにご覧になっているのか、また不義に対して何もなさってくれない、と問いかけます。1:5-11では、ユダをさばくためにバビロンを向かわせるところである、と神がハバククに答えます。この答えはハバククにさらに厄介な疑問をもたらしました。正義の神がどうして不義の民であるバビロンを使い、ユダをさばくことができるのだろうか、ということです。（1:12-2:1参**『悪者が自分より正しい者をのみこむとき、なぜ黙っておられるのですか。』**）これに対する神の答えとは、バビロン自身もやがてはさばかれる、と言うものでした。（参2:2-20）

この神の二度目の答えは、とても重要なものです。2:4で神は「**正しい人はその信仰によって生きる。**」と言われました。神に人生の比重を置く、つまり神の救い、神の力と知恵に頼る人達はまことのいのちを得る、ということです。高慢さ尊大さを得意がり、自分自身だけ信頼する人は皆、破滅と永遠の死を見出すのです。このことはバビロン人やユダヤ人についても真実です。新約聖書でパウロはこのことを、どの時代のどの人にも真実であることを明らかにしています。「**義人は信仰によって生きる。**」（参ロマ1:16-17;ガラ3:10-11;ヘブル10:35-38）

ハバクク書最終章の第３章は、神へのハバククの祈りで構成されています。ハバククは美しい信仰の告白をし、そして何が起ころうと大丈夫だと言います。エルサレムの破壊、捕囚、何が起ころうともです。ハバククは神を信頼するのです。特に３:16-19を読み、ハバククの祈りに満ちた信仰告白を見てください。預言者ハバククは救い主である神への信仰によって生き、義人とされたのです。このようにして私達も私達の救い主である神への信仰によって義人とされるのです。

ハバクク書のあらすじ

１．バビロンを通してユダをさばくことを神が告知する（１）

２．神がバビロン人をさばく（２）

３．ハバククの祈りと信仰の告白（３）

ゼパニヤとゼパニヤ書

ゼパニヤの意味は『神は隠される』です。ゼパニヤ書の最初の節で、ゼパニヤはユダの良きヒゼキヤ王の四代目の孫であることが分かります。また同じ節から分かることは、ゼパニヤはユダの良き王ヨシヤの治世のときに預言をおこなったと言うことです。（紀元前640-608）ヨシヤが紀元前622に宗教改革を指導し始めたので、ゼパニヤはヨシヤ王治世の初期に預言をおこなったに違いないと見られています。ゼパニヤ書は、宗教改革が行われなかった時を述べています。
彼はユダのバアルとモレク崇拝やそれらの傲慢な預言者たち、教師ぶる人々、不道徳な祭司に対しての預言をおこなっています。

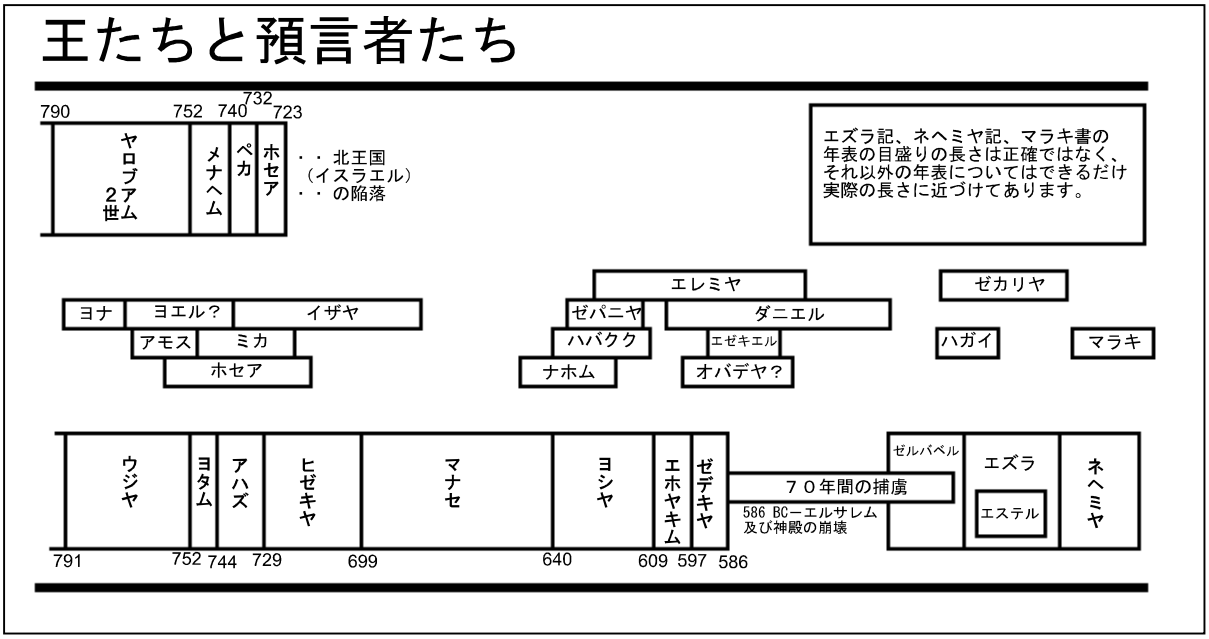
「主の日」あるいは来たるべき「さばきの日」というのがゼパニヤ書の主な主題です。1:14-18で彼がユダに語った主の大いなる日の内容を見てください。ゼパニヤの目的は明らかに来たるべき神のさばきについて、ユダに警告をすることでした。2:1-3を見ると、ゼパニヤが緊急に悔い改めを懇願するくだりがあります。彼はさばきが下されたときに悔い改めの教えを止めたのではありませんでした。ゼパニヤはまた、恵み深い慰めのメッセージを来たるべきメシヤを通して示しました。 3:9-20ではゼパニヤの福音の教を聞くことができます。

ゼパニヤ書のあらすじ

１．ユダの破壊がもたらされる（１）

２．周辺国に対するさばき　　（２）

３．将来のエルサレムの苦難と祝福が語られる（３）



次の質問に答えましょう。

１．ナホムの名前の意味は＿＿＿＿＿＿＿です。ですがナホムはさばきが＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿の都市にもたらされると説きました。そこは以前に預言者＿＿＿＿＿＿が教えたところでした。ナホムのメッセージは＿＿＿＿＿＿への慰めとなりました。

ナホム書の主題は＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿です。

２．ハバククがユダに預言を書いた時は、＿＿＿＿＿＿＿になったときでした。

ハバククのことを、＿＿＿＿＿＿＿＿＿預言者と呼べるでしょう。

彼にとっての最も厄介な問題とは＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿でした。

２：４から引用して、人間が正しくあり、永遠の命を持つ唯一の方法とは何ですか？

＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

ハバクク書のあらすじを書いてください。

１．

２．

３．

３．ゼパニヤは＿＿＿＿王の子孫でした。ゼパニヤは＿＿＿＿＿王の治世のときに仕えました。ゼパニヤはその王の治世の以前に預言をしたと考えられます。なぜなら、＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿行われているからです。ゼパニヤ書の主題は＿＿＿＿＿＿＿＿＿です。しかしゼパニヤ書の終わりには＿＿＿＿＿＿＿のことが書かれています。

ゼパニヤ書のあらすじを書いてください。

１．

２．

３．

レッスン２５　ハガイ書、ゼカリヤ書、マラキ書

これら旧約聖書のおわりの３巻は、*すべてバビロン捕囚の後に書かれたものです。*
それらの出来事は、故郷ユダに戻ってきてからのものです。ハガイ、ゼカリヤ、マラキの３人の預言者のメッセージは、エズラとネヘミヤの時代に与えられたものです。

ハガイとハガイ書

ユダヤ人が最初に捕囚から戻ったのは紀元前５３８年のことで、ゼルバベルの指導のもとに行われました。彼らはエルサレムの神殿再建に向けて、好調な始まりを見せていました。ですが、やがて彼らは神殿の建設計画に挫折してしまい、作業は完全に停止してしまいました。（参エズラ４:4-5）そのとき預言者ハガイとゼカリヤが、説教を用いて人々を奮起させ、励まし始めました。（参エズラ 5:1-２）紀元前５２０年、ダリヨス王の治世２年目の年に、ハガイは説教を始めました。（参ハガイ 1:1）預言者の説教を通して、人々は神殿再建計画を再び開始するようになったのです。紀元前５１６年、神殿の復旧は完成したのです。（エズラ 6:14-15）紀元前５８６年に最初の神殿がバビロン人に破壊されてから、７０年後のことでした。（聖書ではしばしばダリヨス王の治世中の出来事や預言者の年代が記されています。ダリヨス王の治世期間は紀元前５２１－４８６と記憶しておくと良いでしょう。）

預言者ハガイの個人的なことについては、聖書中には何も情報が与えられていません。ハガイは捕囚のさなかバビロンに生まれ、最初の帰還者と同じグループでユダに戻ってきました。それは紀元前５３８年のこととされています。彼について一つだけ言えることは、ハガイという名は festive という意味で、それは「祭礼や祝祭に関したもの」ということです。

ハガイ書は２章から成っており、ハガイはユダの民に対して４つのメッセージあるいは説教をもたらしています。ハガイのメッセージには懲らしめと励ましの両者が含まれています。それは律法と福音を指します。始めに民が必要としたのは懲らしめでした。彼らが大切にしたものが間違っていたからです。彼らは霊的なものに重きを置かなかったのでした。神と神殿は脇に追いやられ、民は自分たちの物質的な快楽のことだけを思ったのでした。民らが霊的なものを第一にしていなかったので、神は民が欲して止まない物を遠ざけました。食べ物、良い服、貯金、作物、油、などです。
ハガイは人々の良心に訴え、そして請いました。**「この宮が廃墟となっているのに、あなただけが板張りの家に住むべき時であろうか。」**（1:４）

民は聞き入れ、神殿の再建計画がふたたび始まりました。建設が始まると、ハガイは人々を励まし、慰めました。彼は建設のときも神がともにおられると約束したのです。新しい神殿がソロモンの神殿ほど美しくないことに落胆した者たちにも、ハガイはメシヤ王国の約束で彼らを慰めました。キリストを通し、神は新しい神殿の所で世界に平和を与えることをされたのです。**「この宮のこれから後の栄光は、先のものよりまさろう。万軍の主は仰せられる。わたしはまた、この所に平和を与える。・・万軍の主の御告げ。・・」（２:9）**２章の６節から９節までが救世主の預言の全体です。

ハガイ書の主題は、ハガイは神殿の再建を励ました。

ゼカリヤとゼカリヤ書

ゼカリヤという名前は「主は憶えておられる」という意味です。この名前は、主が決して主の民と主の約束とを忘れない、ということを思い出させるのです。主はその民が囚われていることを憶えておられ、主がゼカリヤを含む彼らを、約束の地にお戻しになりました。預言主はメシヤを遣わすという約束を憶えておられました。多くのゼカリヤのメシヤ預言を通して、主はそのお約束を憶え続けてくださることを示されたのです。ゼカリヤはレビ人の司祭でした。ゼカリヤは父ベレクヤと祖父のイドと共に捕囚から戻っていました。ゼカリヤが預言を始めたのは、ハガイが伝道を始めた２ヶ月後で、ダリヨス王の治世２年目の紀元前 520 年のことです。

ハガイのようにゼカリヤも、主の神殿を建設する人々を励ましました。ゼカリヤ書はハガイ書に比べ、長巻で内容にも富んでいます。ゼカリヤ書は強烈な象徴を伴う幻、散文はもとより韻文（訳注：詩文）も、さらにはおおくのメシヤ預言が含まれています。ゼカリヤ書は旧約聖書中で「最もメシヤ的」といわれています。

ゼカリヤ書のあらすじ

１．ゼカリヤの見た八つの幻　（１－６）
（各章の見出しをみてください）

２．断食についての質問　　（７－８）
（エルサレムと神殿が破壊されたことを記念する断食を続けるべきか、という民の質問にゼカリヤが答えます。ゼカリヤの答えとは、神は心からの従順を求めておられる。神は形式だけの断食を欲しているのではない。）

３．世界の列強と神の王国についての預言
（このセクションには多くのメシヤ預言が含まれています。）

我々がゼカリヤ書を読む上でのアドヴァイスがあります。ゼカリヤ書には理解するのに困難な箇所がいくつかあります。*ですから、理解が困難な箇所には、聖書の他の箇所を用いると理解できると思います。*それに私達が本当に理解し得た以上に理解したと装わないこと。またあらゆる種類のおかしな解釈をしないということです。
聖書解釈の基本原則は、「聖書の記述は記述どおり解釈せよ」ということです。

ゼカリヤ書に出てくるメシヤ預言です。

９：９－１０　　（マタイ 21:1-5 と比較のこと）

11：12-13　　（マタイ２:15；27:9-10 と比較。マタイがエレミヤとこの預言を信じたとき、エレミヤの名を旧約聖書の預言者を代表するとい意味で用いました。ユダヤ人の間では預言者に言及する際は一般的な方法でした。

12:10　　（ヨハね 19:34－37 と比較のこと）

13：7　　（マタイ 26：31 と比較のこと）

14 章

マラキとマラキ書

マラキという名前の意味は「私の使者」ということです。マラキが旧約聖書をの一巻を書いた最後の神の使者でないとしても、少なくとも彼は旧約聖書の終わりの神の使者の中の一人である、といえそうです。（歴史書の幾つかはマラキ書以降に書かれた。例：ネヘミヤ書　詳しいことは分かりませんが・・・）　旧約聖書時代で、マラキがメシヤの来臨を告げている最後の預言者であることは確かです。マラキの時代の後、400 年にもおよぶ神の沈黙が始まり、それはメシヤがその王国を制定するまで続きました。何故なのでしょうか。神はその民が罪からの救世主の来臨を知り、その方を待ち望むのに必要なことすべてを話されました。現代の私達も同じような状況にあるのです！神はわたしたちが御言葉を知るのに必要なことすべてを語って下さいました。それは私達がキリストの再臨に備えるためなのです。

私達はマラキという人物自身について、何も語ってはいません。彼がいつ生きたのか、正確には分からないのです。しかし、神殿は再建され、ペルシャの総督がエルサレムを統治した、とマラキが書いていることから、彼はハガイとゼカリヤの時代以降の人物であったに違いありません。おそらくマラキ書を書いたのは紀元前 450 年から 430 年ごろのことであると思います。

マラキ書から当時の状況をうかがい知ることが出来ます。当時の民は繁栄を欠き、つらい時期を過ごしました。人々は神が彼らをそのような状況にしたと考えました。司祭と民の両者も自分達の霊的な生活において、おそろしく無頓着になっていきました。司祭は神殿の中で神に盲目や足なえ、病気の動物を捧げ物としたのでした。このことは、彼らがペルシャ総督に対して挑むのではなく、全能の神に挑んだということになります。平信者は神を欺き十分の一や自分達が捧げるべきものから掠め取りました。男たちは妻と離婚し、異邦人の若い女と結婚したのでした。人々は常々このように言いました。「神に仕えるのは時間のムダだ。」（３：14）

これがマラキが司祭と民に対して預言したことでした。マラキは彼らの罪を彼ら自身の目の前で明らかにしました。そして民の前でメシヤの約束をしたのでした。

マラキ書のあらすじ

１．マラキが司祭と民に対し、彼らの罪をさとす　（１－２）

２．マラキが希望と警告のメッセージを差し出す　（３－４）

マラキ書は短編なので、全書を読むのは容易でしょう。特に 3:1 でメシヤを「契約の使者」と呼んでいることに注意してください。イエス　キリストは神の預言者（使者）であり、その血によって新しい契約を結べる唯一の方でもあるからです。バプテスマのヨハネがメシヤの前に道を整えるという預言が、3:1 と４:5 の２ヶ所あるということに注目してください。マラキ書の最後の三節は、旧約聖書を締めくくるのにふさわしいものとなっています。４:5 は、私達の注意を神の霊感の書に書かれたものに向けさせます。４:5 は私達の注意を、やがてこれから起こること、そして長い間待ち望んだメシヤが来臨し、新約聖書に記録されることに向けさせるのです。

以下の質問に答えてください。

１．旧約聖書の終わりの三巻は、すべて＿＿＿＿＿＿の後に書かれたものです。

ハガイは　　に生まれ、＿＿＿＿＿＿＿＿とともにユダに帰りました。

それは＿＿＿＿年のことです。

ハガイが指摘したユダヤ人の問題点とは、＿＿＿＿＿＿＿＿な事に重きを置かなかったからでした。彼らは＿＿＿＿＿＿＿な生活を送る一方、神の神殿は＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿。　ハガイの説教を通して人々は＿＿＿＿＿＿に励み、その計画が完了したのが、＿＿＿＿＿年のことでした。人々は新しい＿＿＿＿＿が、ソロモンのそれと比べて立派でないと落胆したとき、ハガイは何と言って民を励ましたでしょうか。

２．ゼカリヤは＿＿＿＿＿＿でした。彼の名前の意味は＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿です。

ハガイと同様、ゼカリヤが伝道を開始したのは＿＿＿＿＿＿年のことで、それはペルシャの＿＿＿＿＿＿王の治世２年目のことでした。ゼカリヤもまた、＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿を行う人々を励ましました。ゼカリヤ書は「最も＿＿＿＿＿＿＿＿」と呼ばれています。本書には多くの＿＿＿＿＿が含まれているからです。

ゼカリヤ書を読む上で、その一部は＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿ということを憶えておくべきです。

ゼカリヤ書のあらすじを書いてください。

３．マラキという名前の由来は＿＿＿＿＿＿＿＿です。彼は、旧約聖書時代で＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿の預言者です。マラキ書が書かれたのは＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿の時代の後のことです。

マラキの時代の司祭と人々の信仰の状況を挙げてください。

マラキ書の中でメシヤは　　の使者と呼ばれています。（3:1）キリストの来臨のほかにも、マラキは＿＿＿＿＿＿のことも預言しています。マラキ書ののち、さらなる霊感によって本が書かれるまで　　年間待たなくてはなりませんでした。

マラキ書のあらすじを書いてください。

小預言者の概略

1．ホセア　「姦淫の妻を持つ預言者」イスラエルのヤロブアムⅡ世の治世に預言を行なった。後にイスラエルの霊的な姦淫について預言する。（偶像崇拝と罪への同調）

2．ヨエル　「主の日の預言者」おそらくはユダに対しての預言を行なったとされる。活動時代は不詳。「主の日」の前に悔い改めをすることを奨励。ペンテコステの日の預言をした。

3．アモス　「農夫の預言者」ヤロブアムⅡ世の時代、イスラエルについて預言をした。イスラエルの一般世間の不道徳について預言。

4．オバデヤ　「エドムに対する預言者」ユダについて預言した。時代は不詳。神がエドムをさばかれる事を預言。旧約聖書中最も短い巻。

5．ヨ　ナ　「不本意の預言者」ニネベについて預言。ヤロブアムⅡ世の時代。ニネベを悔い改めさせるために召命される。

6．ミ　カ　「サマリヤとエルサレムの預言者」ユダとイスラエルの両王国を預言。ユダ王国のヨタム、アハズ、ヒゼキヤ王の時代。ベツレヘムにメシヤが誕生するという預言をした。

7．ナホム　「ニネベの滅亡の預言者」ニネベの破壊の前の時代にユダを慰めるための預言をした。ニネベの破壊の預言を書くことでユダを慰めた。

8．ハバクク　「神に問いかける預言者」ユダに関しての預言をした。恐らくはヨシヤ王治世の後期に活動した。最も有名な箇所は 2:4 で「**正しい人はその信仰によって生きる**」

9．ゼパニヤ　「王家の血を引く預言者」ユダについての預言を行なう。ヨシヤ王の時代。偶像崇拝と罪への同調を預言

10．ハガイ　「神殿建設の預言者」紀元前 520 年にユダについての預言を開始。神殿の完成を励ました。

11．ゼカリヤ　「最もメシヤ的な小預言者」紀元前 520 年、ユダについての預言を開始。ハガイと共に神殿の完成を激励。しゅろの主日の出来事を預言。（訳者註：しゅろの主日：復活祭直前の日曜日『ヨハネ書 12:13』）

12．マラキ　「旧約聖書最後の預言者」紀元前 400 年後期のユダについて預言。バプテスマのヨハネについて二回預言している。